



XL シリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ

XL-9440D/9440E/9380E/9440/9380

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」(→ P.10) をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パソコン用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラス 1」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

クラス1レーザ製品

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因になることがあります。表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。

矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があるので、接続しないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ハードウェアガイドに従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

本製品は、日本工業規格 (JIS C 6950) の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOC の拡散については、エコマーク No.122 「プリンタ version2」 の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。

トナーは本製品にて推奨しておりますプロセスカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録2に基づき試験を実施しております。

推奨プロセスカートリッジについては、「サプライ品一覧」(→ P.203) をご覧ください。

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧になり、プリンタを使用するための準備を行ってください。

第1章 お使いになる前に

本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1

第2章 プリンタを設置・接続する

本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

2

第3章 オプションを取り付ける

本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。これらのオプションの取り付け方法を説明します。

3

第4章 日常の操作

本製品を使って印刷するときに必要となる、用紙のセットやプロセスカートリッジの交換などの日常的な操作について説明します。

4

第5章 オペレータパネルの操作

液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

5

第6章 使用できる用紙と保管方法

本製品で使用できる用紙、使用できない用紙、用紙保管上のご注意について説明します。

6

第7章 こんなときには

故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

7

第8章 付録

本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

8

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください | 5 |
| 製品に関する注意事項 | 5 |
| このマニュアルの表記について | 7 |
| 安全上のご注意 | 10 |

セットアップ編

第1章 お使いになる前に

| | |
|------------|----|
| 1 本製品の特長 | 18 |
| 2 各部の名称と機能 | 20 |

第2章 プリンタを設置・接続する

| | |
|--------------------|----|
| 1 設置時の注意事項 | 26 |
| 本製品のサイズ | 26 |
| 設置～動作確認までの注意事項 | 27 |
| 2 パソコンやネットワークに接続する | 30 |
| LAN ケーブル接続の場合 | 30 |
| パラレルケーブル接続の場合 | 33 |
| プリンタ USB ケーブル接続の場合 | 36 |

第3章 オプションを取り付ける

| | |
|-----------------------|----|
| 1 取り付け可能なオプションとご注意 | 38 |
| 取り付け可能なオプション | 38 |
| 取り付け時のご注意 | 41 |
| 2 プリンタ RAM モジュールの取り付け | 42 |
| 取り付け | 42 |
| 取り外し | 46 |
| 3 両面ユニットの取り付け | 47 |
| 取り付け | 47 |
| 取り外し | 50 |
| 4 拡張給紙ユニットの取り付け | 52 |
| 取り付け | 52 |
| 取り外し | 59 |

運用編

第4章 日常の操作

| | |
|---------------------------------|----|
| 1 用紙をセットする | 62 |
| 用紙をセットする向きについて | 62 |
| 給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする | 64 |
| 給紙トレイにセットする | 73 |
| 2 印刷する | 76 |
| プリンタの状態確認（ポップアップ） | 78 |
| 3 印刷を中止する | 79 |
| パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき） | 79 |
| オペレータパネルから中止する | 80 |
| 4 プロセスカートリッジの交換と注意事項 | 82 |
| プロセスカートリッジを交換する | 82 |
| プロセスカートリッジの取り扱いと保管 | 87 |

| | |
|--------------------------------|-----|
| 5 プリンタを清掃する | 88 |
| プリンタ外部を清掃する | 88 |
| プリンタ内部を清掃する | 89 |
| 6 プリンタを長時間使用しないとき | 96 |
| 7 プリンタを移動するとき | 97 |
| 近くに移動する | 97 |
| 梱包して運搬する | 100 |

第 5 章 オペレータパネルの操作

| | |
|---|-----|
| 1 各部の名称と機能 | 104 |
| 2 液晶ディスプレイの表示内容 | 108 |
| 電源を入れたときの表示内容 | 108 |
| オンライン（印刷できる状態）時の表示内容 | 108 |
| 節電時の表示内容（XL-9440D/9440E/9380E のみ） | 111 |
| 3 操作方法 | 112 |
| 基本的な操作方法 | 112 |
| 設定項目一覧 | 114 |
| 4 代表的な設定項目とその操作方法 | 122 |
| 設定の一覧印刷 | 122 |
| テスト印刷（印字率約 5% サンプル） | 123 |
| IP アドレスの設定 | 123 |
| TCP/IP の動作確認 | 125 |
| セキュリティに関する設定 | 127 |

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

| | |
|--------------------------|-----|
| 1 使用できる用紙 | 132 |
| 給紙方法と用紙のサイズ | 132 |
| 使用できる用紙の種類 | 134 |
| 2 使用できない用紙 | 138 |
| 3 用紙保管上のご注意 | 140 |

第 7 章 こんなときには

| | |
|-------------------------------|-----|
| 1 紙詰まりになったとき | 142 |
| 紙詰まり発生時の状態と発生場所 | 142 |
| 給紙カセット付近で詰まつた用紙を取り除く | 145 |
| 給紙トレイで詰まつた用紙を取り除く | 147 |
| 定着器付近で詰まつた用紙を取り除く | 150 |
| プリンタ内部に詰まつた用紙を取り除く | 154 |
| 両面ユニットに詰まつた用紙を取り除く | 160 |
| 2 故障かなと思ったとき | 162 |
| 3 印刷品質が低下したとき | 166 |
| 4 メッセージ一覧 | 174 |
| オペレータパネルに表示されるメッセージ | 174 |
| Windows 画面に表示されるメッセージ一覧 | 184 |

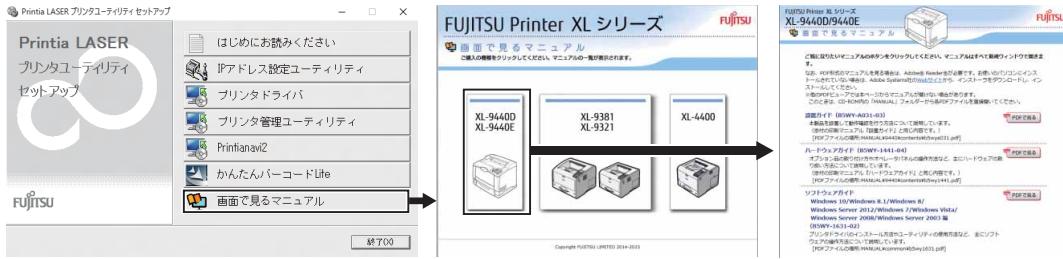
第 8 章 付録

| | |
|---|-----|
| 1 仕様 | 194 |
| 本体仕様 | 194 |
| インターフェース仕様 | 198 |
| 2 オプション品一覧 | 200 |
| 3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について | 201 |
| 4 サプライ品一覧 | 203 |
| 5 印刷確認済みの用紙 | 204 |

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について | 206 |
| 印刷方向 | 206 |
| 印刷可能領域 | 207 |
| 7 アフターサービスについて | 209 |
| 本製品の廃棄について | 210 |
| 8 安全データシート | 211 |
| LB318 シリーズ 感光体（トナー・現像剤） | 211 |
| LB318 シリーズ トナー（ブラック）（トナー・現像剤） | 214 |
| 索引 | 220 |

このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。添付の◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」画面で、「画面で見るマニュアル」をクリックすると次の画面が表示されます。



「XL-9440D/XL-9440E」を選択後、ご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルが表示されます。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について

本製品の耐用期間（寿命）は、次のいずれか早いほうです。

- 120万ページ印刷（A4 サイズ横送り（□LEF））
「LEF」については、「用紙をセットする向きについて」（→ P.62）をご覧ください。
- 5年（8時間/日）

詳しくは、「本体仕様」（→ P.194）をご覧ください。

重要

- 耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- A4 LEF より長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。
- 600K 交換キット（定期交換部品）を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が 60 万ページ印刷になります。

サプライ品（消耗品）について

プロセスカートリッジや用紙などは、本製品専用の純正サプライ品をお使いください。

非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.203）をご覧ください。

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

表：定期交換部品の交換時期の目安

| 定期交換部品 | 交換時期の目安 |
|-------------------------------|---|
| 定着器 | 10万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット（テイキコウカンキット）」で交換 |
| 用紙搬送ロールキット (給紙トレイ・給紙カセット用) | |
| 転写ロール | |
| ROS ASSY | 60万ページ印刷を目安に「600K 交換キット（600K コウカンキット）」で1回だけ交換 |
| ドライブギア ASSY | |
| レジシート ASSY | |
| MSI フィーダ ASSY | |
| リアカバーシート UPPER | |

[注] 上記は、A4 サイズ横送り（□LEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。
A4 LEF より長い用紙を使用した場合、寿命は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

XL-9440D/9440E/9380E の画面上での機種名表記について

XL-9440D/9440E/9380E では、プリンタドライバの画面や、「Printia LASER Internet Service」の画面などに表示される機種名が、「XL-9440」のように末尾に「D」、「E」が付かない状態で表記されます。画面表示を確認する場合は、末尾に「D」、「E」を付けて読み替えてください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンをお聞きする場合があります。

プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。



プリンタドライバのバージョンを確認する方法については、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

表：安全にお使いいただくための絵記号

| 記号 | 内容 |
|---|---|
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

表：危害や損害の内容を示す絵記号

| 記号 | 内容 |
|---|--|
|  | △で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。 |
|  | ○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。 |
|  | ●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。 |

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例のIPアドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OSによっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

| 記号 | 内容 |
|--|---|
|  重要 | お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
|  POINT | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |
| → | 参照先を記述しています。 |
|  | 印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。 |
|  | 画面で見るマニュアルを表しています。起動方法は、「このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください」（→ P.5）をご覧ください。 |
|  | CD-ROM/DVD-ROM を表しています。 |

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

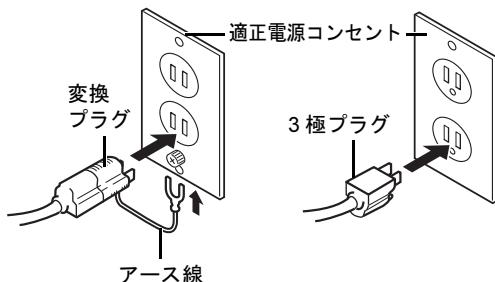
表：製品名称の表記

| 製品名称 | このマニュアルでの表記 |
|--------------------------------|-------------|
| Windows 10 Home 64 ビット版 | Windows 10 |
| Windows 10 Pro 64 ビット版 | |
| Windows 10 Enterprise 64 ビット版 | |
| Windows 10 Education 64 ビット版 | |
| Windows 10 Home 32 ビット版 | |
| Windows 10 Pro 32 ビット版 | |
| Windows 10 Enterprise 32 ビット版 | |
| Windows 10 Education 32 ビット版 | |
| Windows 8.1 64 ビット版 | Windows 8.1 |
| Windows 8.1 Pro 64 ビット版 | |
| Windows 8.1 Enterprise 64 ビット版 | |
| Windows 8.1 32 ビット版 | |
| Windows 8.1 Pro 32 ビット版 | |
| Windows 8.1 Enterprise 32 ビット版 | |
| Windows 8 64 ビット版 | |
| Windows 8 Pro 64 ビット版 | |
| Windows 8 Enterprise 64 ビット版 | Windows 8 |
| Windows 8 32 ビット版 | |
| Windows 8 Pro 32 ビット版 | |
| Windows 8 Enterprise 32 ビット版 | |

表：製品名称の表記

| 製品名称 | このマニュアルでの表記 | | |
|--|--------------------------------|--------------------------------|--|
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter | Windows Server 2012 R2 | Windows Server 2012 | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Standard | | Windows Server 2012 (R2 以外) | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation | | | |
| Windows 7 Ultimate 64 ビット版 | | | |
| Windows 7 Enterprise 4 ビット版 | | | |
| Windows 7 Professional 64 ビット版 | Windows 7 | Windows | |
| Windows 7 Home Premium 64 ビット版 | | | |
| Windows 7 Ultimate 32 ビット版 | | | |
| Windows 7 Enterprise 32 ビット版 | | | |
| Windows 7 Professional 32 ビット版 | | | |
| Windows 7 Home Premium 32 ビット版 | | | |
| Windows 7 Starter | | | |
| Windows Vista Ultimate 64 ビット版 | | | |
| Windows Vista Enterprise 64 ビット版 | | | |
| Windows Vista Business 64 ビット版 | | | |
| Windows Vista Home Premium 64 ビット版 | Windows Vista | Windows | |
| Windows Vista Home Basic 64 ビット版 | | | |
| Windows Vista Ultimate 32 ビット版 | | | |
| Windows Vista Enterprise 32 ビット版 | | | |
| Windows Vista Business 32 ビット版 | | | |
| Windows Vista Home Premium 32 ビット版 | | | |
| Windows Vista Home Basic 32 ビット版 | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard | Windows Server 2008 R2 | Windows Server 2008 | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (64-bit) | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (64-bit) | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit) | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (64-bit) | Windows Server 2008 (R2 以外) | Windows | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit) | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (32-bit) | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit) | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (32-bit) | | | |

電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「3極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

平行2極接地極付プラグ(125V15A)への変換プラグも添付されていますので、コンセント形状に合わせて使用してください。

なお、標準添付の変換プラグ以外は使用しないでください。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

⚠️ 警告

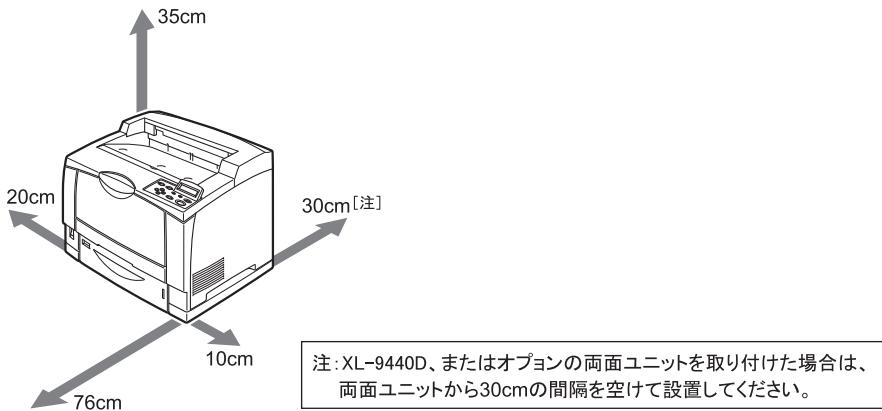


- 次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になります。
火気のある場所
ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、高温になる場所
アルコール、シンナー、ガソリンなどの揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物に近い場所
ふろ場、シャワー室などの水場、水気のある場所
湿気・ほこり・油煙の多い場所
通気性の悪い場所
直射日光の当たる場所
振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
温泉地など、硫黄の影響を受ける場所
- プリンタの上に次のような物を置かないでください。感電・火災の原因になります。
花瓶、植木鉢、コップなどの水や液体の入った容器
クリップ、アクセサリーなどの金属物

⚠ 注意

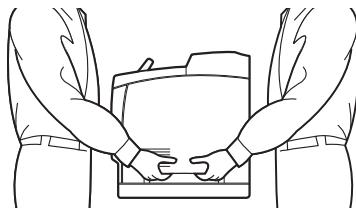


- ・プリンタの吸気口、および排気口をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



- ・本製品は、オプションや消耗品、用紙がない状態で XL-9440D は約 26kg、その他は約 23kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

また、移動するときは足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。



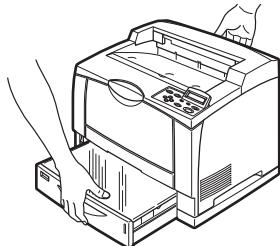
- ・プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
本製品は本体のみで XL-9440D は約 26kg、その他は約 23kg、最大で約 69kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。



- ・次の場所には設置しないでください。感電・火災、けがの原因になります。
湿気・ほこり・油煙の多い場所
通気性の悪い場所
直射日光の当たる場所
振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所
温泉地など、硫黄の影響を受ける場所
- ・プリンタの上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
- ・プリンタを移動する場合は、10° 以上傾けないでください。
転倒などによりけがの原因になることがあります。



- ・プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業中は、足元に充分注意してください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- ・給紙カセットを伸ばした状態 (A3 用紙などをセットした状態) で、プリンタの前後を持って移動しないでください。落下によるけがの原因となったり、カセットが破損するおそれがあります。



電源に関するご注意



- ・本プリンタには、添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・電源プラグは、交流 100V、15A 以外のコンセントには差し込まないでください。本製品の定格電源は 100V、14A 以下です。また、タコ足配線はしないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・延長コードは、定格 (125V、15A) 未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があるので接続しないでください。



- ・電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると火災の原因になります。
- ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。



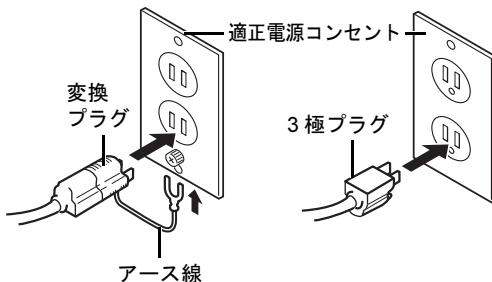
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



- ・次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。
ガス管 (引火や爆発の危険があります)
電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。)



- ・変換プラグを使用する場合は、変換プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに接続してください。
電源コンセントのアース線端子
銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子
- ・アース接続は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「富士通ハードウェア修理相談センター」（→P.209）にご連絡ください。



アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に感電・火災の原因になります。

・本製品は漏電ブレーカーを内蔵していますが、アース接続ないと有効に働きません。



- ・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因になります。
- ・近くで落雷が聞こえたら、電源プラグをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠ 注意



- ・プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因になることがあります。



- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因になることがあります。

- ・1ヶ月に一度は、次のようなことを点検してください。
電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
電源プラグに異常な発熱およびさび、変形などはありませんか？
電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？
電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？
アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？
なお異常があるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→P.209）にご連絡ください。



- ・長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、劣化により感電・火災の原因になることがあります。
- ・プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

⚠ 警告



- ・プリンタに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・吸気口や排気口などの開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。
感電・火災の原因になります。
- ・プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。
- ・次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
 - ・異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
 - ・プリンタを落としたり、カバーなどを破損したときその後「富士通ハードウェア修理相談センター」（→ P.209）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、感電・火災の原因になります。
- ・プリンタ、オプション品、サプライ品（プロセスカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明するおそれがあります。
- ・プロセスカートリッジを火中に投じないでください。
トナー粉が跳ねてやけどや粉塵爆発の原因になります。使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
詳しくは、「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（→ P.209）をご覧ください。

⚠ 注意



- ・「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。
- ・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。
- ・詰まった用紙を取り除くときは次の点に注意してください。
このマニュアル内の「紙詰まりになったとき」（→ P.142）をよくお読みください。
ネクタイやネックレスなどを身に着けている場合は、プリンタ内部に巻き込まれないように、外してから操作してください。
鋭利部に触れないよう注意してください。
プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると故障や火災の原因になることがあります。
定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→ P.209）にご連絡ください。



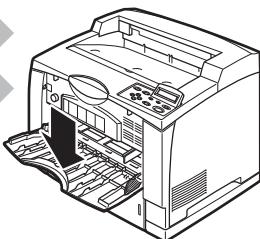
- ・ 使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- ・ プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因になることがあります。
- ・ プロセスカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- ・ 換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、充分な換気を行ってください。



- ・ 用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。
指をはさみ、けがをする原因になることがあります。



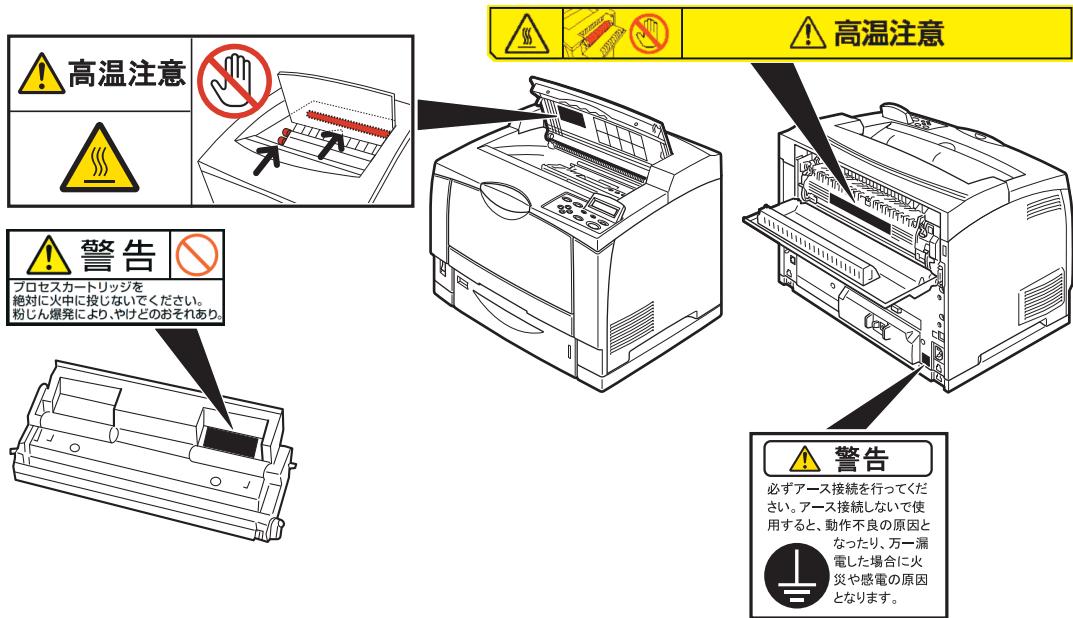
- ・ トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに水で洗い落してください。
万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・ プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。
万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



警告ラベル/注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。

なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



商標および著作権について

ウイングアーク テクノロジーズ、SVF、Super Visual Formade、RDE、Report Director Enterprise は、ウイングアーク テクノロジーズ株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2008-2016

1 セットアップ編

第1章

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

| | |
|------------------|----|
| 1 本製品の特長 | 18 |
| 2 各部の名称と機能 | 20 |

1 本製品の特長

本製品の特長は次のとおりです。

■高速で高品位な印刷

300dpi/600dpi での片面印刷時、XL-9440D/9440E/9440 は最大 44 ページ / 分、XL-9380E/9380 は最大 38 ページ / 分の高速での印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。

■3 つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応) の 3 つのポートを標準搭載しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

■高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

- ・プリンタドライバの設定により、ヘッダー／フッター、スタンプ機能、N-up 印刷、拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。
- ・双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を利用することにより、Printia LASER XL シリーズプリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などの統合的な管理をパソコンで行うことができます。
- ・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

■さまざまな用紙サイズに対応

- ・給紙トレイ（標準）を使用することで、簡単に用紙サイズを変更できます。
- ・定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズ（長尺紙を含む）、厚紙 (91g/ m² ~ 216g/ m²) といった、さまざまな種類の用紙へ印刷することも可能です。

■便利な機能

- ・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です（定形サイズ印刷時のみ）。
- ・給紙カセットからのユーザ定義サイズ（長尺紙除く）の用紙への印刷が可能です。

■優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境にあわせて機能を拡張することができます。

重要

XL-9440D は、両面ユニットを標準搭載しています。

- ・両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
- ・給紙カセット（標準 1 段 + オプションの拡張給紙ユニットを最大 3 段）、給紙トレイを合わせ最大 2400 枚の用紙をセットすることができます。

■セキュリティ機能の充実

- ・ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザーがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなど、セキュリティ面でも優れた機能をもっています。

■Eメール送信機能

消耗品や定期交換部品の交換要求やハードエラーが発生したときに、設定した E メールアドレスに、E メールを送信してお知らせします。E メールの送信先は 3 つまで設定できます。

■ユーザビリティへの配慮

用紙搬送経路に透明な部材を使用しているため、紙詰まりが発生したときに、詰まった用紙をみつけやすくなっています。

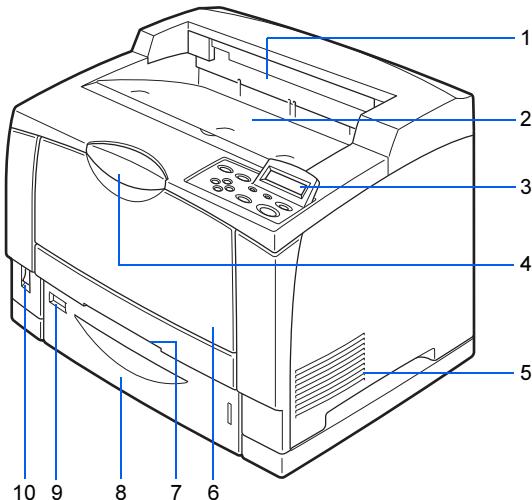
■SVF 帳票基盤ソリューションと連携

ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタの「機種」を「EPSON ESC/Page」にすることで、本製品への印刷が可能です。

2 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能は、次のとおりです。

前面



1 排紙口

印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。

2 排紙トレイ（上部カバー）

排紙口から排出された用紙が、おもて面を下にして積み重なっていきます。

3 オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。
「オペレータパネルの操作」(→ P.103) をご覧ください。

4 排紙延長トレイ

A4 サイズより大きな用紙を印刷するときに引き出します。

5 吸気口

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。吸気口をふさがないでください。

6 給紙トレイ

はがき～A3 サイズの用紙（普通紙）を 200 枚までセットします。

7 給紙トレイ引き抜き用取っ手

閉じた状態の給紙トレイを、引き抜くときに使用します。

8 給紙カセット

A5～A3 サイズの用紙（普通紙）を 550 枚までセットします。

9 用紙サイズカード

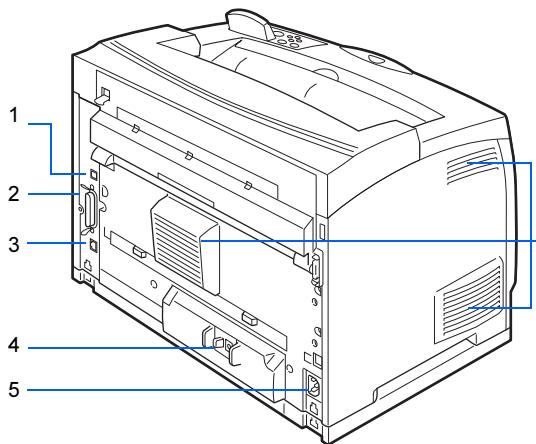
セットした用紙のサイズに合わせて、差し替えます。

10 電源スイッチ

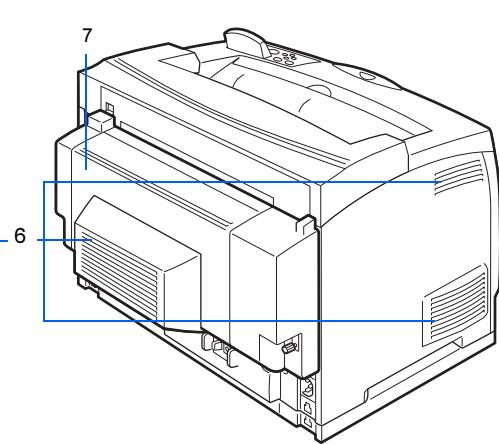
電源を入／切します。

背面

XL-9440E/9380E/9440/9380



XL-9440D



1 USB ケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをプリンタ USB ケーブルで接続するためのコネクタです。

2 パラレルケーブルコネクタ

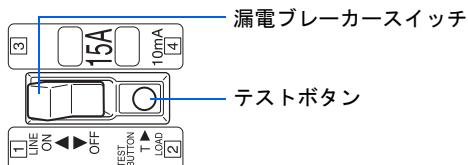
プリンタとパソコンをパラレルケーブルで接続するためのコネクタです。

3 LAN ケーブルコネクタ

プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。

4 漏電ブレーカースイッチ／テストボタン

漏電を検知すると、自動的に電源を切れます。プリンタ運用時は「ON」の状態から変更しないでください。なお、漏電ブレーカーはアース接続しないと有効に働きませんので、アース接続できるコンセントに接続してください。



重要

漏電ブレーカーの定期動作テストについて

- 1ヶ月に1度は次の操作を行い、漏電ブレーカーが正常に動作することを確認してください。
 - 漏電ブレーカースイッチが「ON」の状態になっていることを確認し、テストボタンを押します。
漏電ブレーカースイッチが切れ、「OFF」の状態になります（正常に動作しています）。
 - 手動で漏電ブレーカーを「ON」の状態に戻します。
- 漏電ブレーカーが正常に動作しない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) にご連絡ください。

5 電源コードコネクタ

電源コードを差し込むコネクタです。

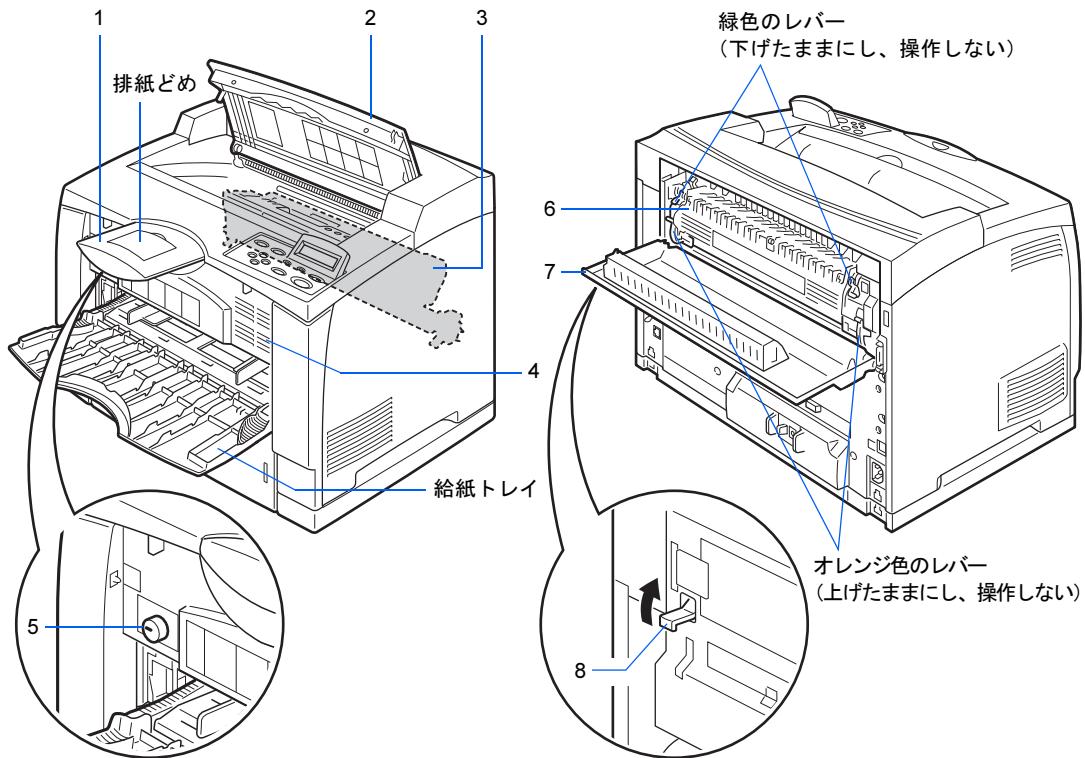
6 排気口

プリンタ内部の熱を排気します。排気口をふさがないでください。

7 両面ユニット

両面印刷をするためのユニットです。

内部



1 排紙延長トレイ

A4 サイズより大きな用紙に印刷する場合に引き出します。排出された用紙が落ちないよう、排紙どめを立てて使用してください。

2 上部カバー (排紙トレイ)

プロセスカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開きます。

3 プロセスカートリッジ

感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成されるユニットです。

4 吸気口

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。吸気口をふさがないでください。
なお、給紙トレイを閉じて使用しても問題ありません。

5 給紙トレイダイヤル

給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するダイヤルです。



「パネルで設定」の位置に設定すると、プリンタ ドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。

6 定着器

用紙にトナーを定着させるユニットです。プリンタ使用時は、高温になっているので手を触れないように注意してください。

※重要

- ・定着器左右の緑色のレバーは、下げた状態で使用してください。
- ・定着器左右下部のオレンジ色のレバーは定着器を固定するものです。通常は操作せず、上げたままの状態で使用してください。

7 背面カバー

詰まった用紙を取り除くときに開きます。

8 背面カバーを開くレバー

背面カバーを開くときに上げます（閉じるときは、背面カバー中央を押します）。

Memo

2

第2章 プリンタを設置・接続する

この章では、本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

| | |
|--------------------------|----|
| 1 設置時の注意事項 | 26 |
| 2 パソコンやネットワークに接続する | 30 |

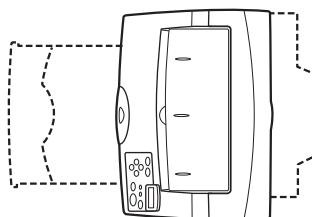
1 設置時の注意事項

本製品を設置し、単体で動作確認する手順については、『設置ガイド』をご覧ください。ここでは、設置時に注意していただきたいことや、補足情報を記載します。

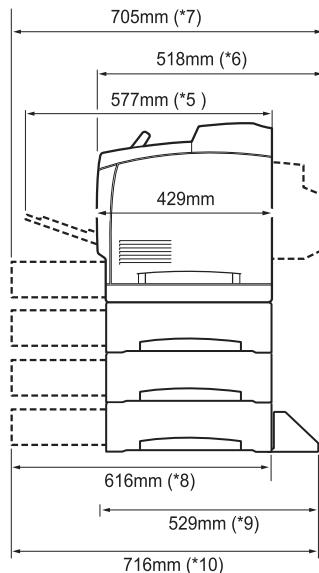
本製品のサイズ

本製品のサイズは次のとおりです。設置時のスペース確認にご利用ください。
また、設置スペースについては、「安全上のご注意」(→P.10)をご覧ください。

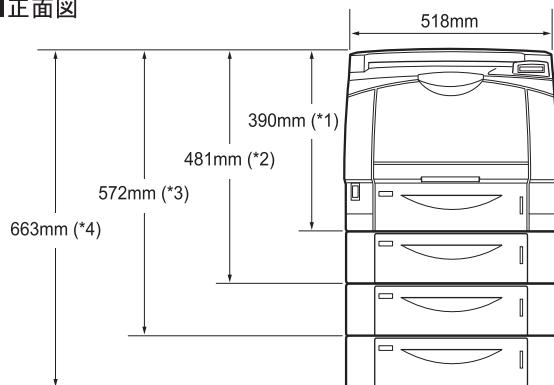
■上面図



■側面図



■正面図



*1: 標準構成時

*2: 拡張給紙ユニットを1段搭載時

*3: 拡張給紙ユニットを2段搭載時

*4: 拡張給紙ユニットを3段搭載時

*5: 紙トレイを開いて使用したとき

*6: XL-9440D、または両面ユニットを搭載時

*7: 紙カセットを延長、両面ユニットを搭載時

*8: 紙カセットを延長時

*9: 転倒防止部品を装着時

*10: 紙カセットを延長、転倒防止部品を装着時

設置～動作確認までの注意事項

設置時

安全に快適に本製品をご利用いただくために、「安全上のご注意」(→ P.10) と共に、次の点に注意して設置してください。

- ・ご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度：10～32℃、湿度：15～85%RH

また、いつも良い状態でご使用いただける温度・湿度（推奨温度／推奨湿度）は、温度：18～27℃、湿度：20～65%RHです。

温度32℃以上のときは湿度70%RH以下、湿度が85%RH前後のときは温度28℃以下でご使用ください（ただし、結露しないこと）。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

- ・サーバー接続などにより本製品の24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。

また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

- ・本製品を前後左右に5°以上傾けないでください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

- ・本製品は凹凸のない、平らな場所に設置してください。

斜行などにより印字ずれが大きくなったり、故障の原因となったりします。

- ・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなどの電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。

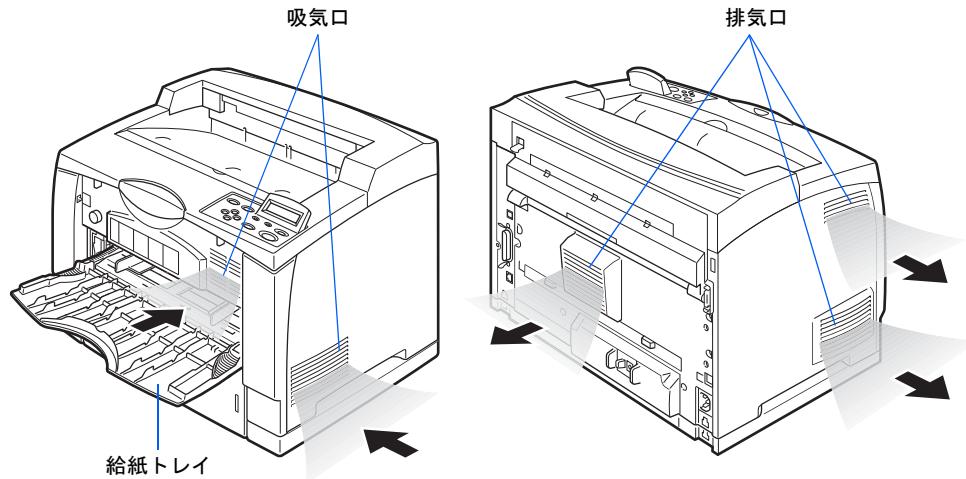
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。

- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

- ・化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。

- ・プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。

- 本製品の右側面および前面内部には吸気口、左側面および背面には排気口があります。吸気口、排気口をふさがないよう、壁から充分離して設置してください。設置スペースについては、「安全上のご注意」(→ P.10) をご覧ください。なお、装置前面の吸気口は、給紙トレイを閉じて使用しても問題ありません。



- 本製品を設置する台は、本製品の底面全体が充分載る大きさのものを準備してください。
- 移転など、本製品を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

☞ 重要

超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、故障や画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プロセスカートリッジ取り付け時

⚠ 注意

- 🚫
 - プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となるおそれがあります。

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- プロセスカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに水で洗い流してください。
- 感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。
- トナーシールは水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えるとトナーがこぼれます。

電源コード接続時・電源投入時

⚠️ 警告



- ・電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「O」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。



- ・変換プラグを使用する場合は、変換プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに接続してください。

電源コンセントのアース線端子

銅片などを650mm以上地中に埋めたもの

D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子

- ・危険ですので、次の箇所にアース線を接続しないでください。

ガス管（引火や爆発の危険があります。）

電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）

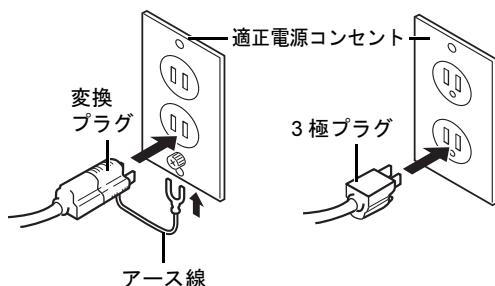
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）



- ・プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

本製品の電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。



2 パソコンやネットワークに接続する

本製品をパソコンやネットワークに接続する方法を説明します。お使いの環境に合わせて接続方法を選択してください。

POINT

- 接続、運用形態は、次の基準を目安に選択してください。
 - LAN ケーブルで接続
プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
 - パラレルケーブル／プリンタ USB ケーブルで接続
1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。より速く印刷したい場合は、プリンタ USB ケーブルによる接続をお勧めします。
 - サーバー経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本製品は、パラレル／USB／LAN ケーブルを同時に接続できます。
接続時は、「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(→ P.32) もあわせてご覧ください。

LAN ケーブル接続の場合

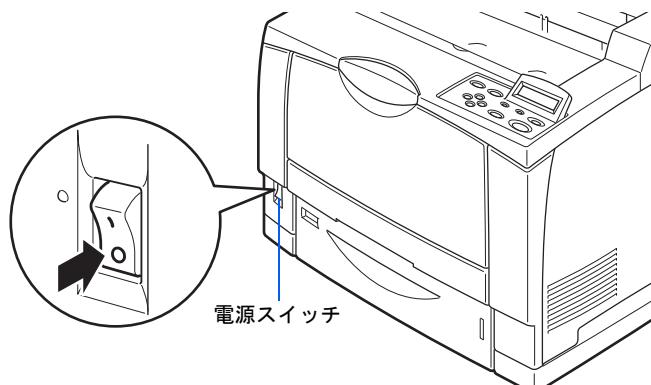
本製品をネットワーク経由で接続するときは、ハブユニットとツイストペアケーブルで接続します。通信速度に応じた適切なケーブルを選択してください。

表：利用できる LAN ケーブル

| 通信速度 | 利用できる LAN ケーブル |
|------------|---------------------------------|
| 1000Base-T | エンハンスドカテゴリー 5 以上に対応したツイストペアケーブル |
| 100Base-TX | カテゴリー 5 以上に対応したツイストペアケーブル |
| 10Base-T | カテゴリー 3 以上に対応したシールドツイストペアケーブル |

また、「LAN 接続時の注意事項」(→ P.32) もあわせてお読みください。

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切ります。

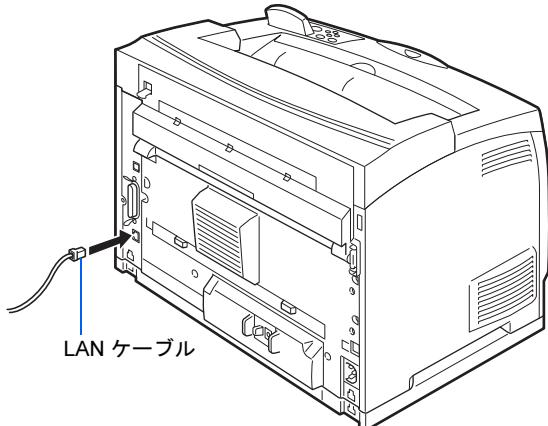


重要

- ・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.174) をご覧ください。

2 LAN ケーブルを背面の LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

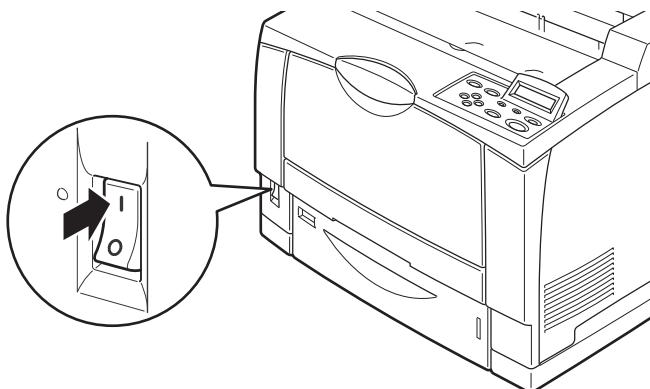
ハブユニット側の接続は、ハブユニットのマニュアルをご覧ください。



2

3 電源スイッチを「|」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.141) をご覧ください。



この後は、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

POINT

- ・LAN ケーブルで接続した場合は、本製品に IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスは、⑩「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されている「IP アドレス設定ユーティリティ 2」から設定するか、オペレータパネルから直接設定することができます。「IP アドレス設定ユーティリティ 2」については、『ソフトウェアガイド』を、オペレータパネルの操作方法については「オペレータパネルの操作」(→ P.103) をご覧ください。

LAN 接続時の注意事項

- ・ LAN ケーブルをハブユニットに接続しても、ハブユニット側や本製品のリンクランプが点灯せず、ネットワークサーバーなどに接続できなかったり、印刷速度が低下したりすることがあります。
このようなときは、プリンタの Ethernet タイプの設定を変更してください。本製品では Ethernet タイプとして「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選択できます（本製品の「10Mbps」は「10Mbps Half」を意味します）。本製品のオペレータパネルのメニュー mode で、「ショキセッティ」→「LAN セッティ」→「Ethernet タイプ」を選択し、値を変更してください。オペレータパネルの操作方法については、「操作方法」（→ P.112）をご覧ください。プリンタの Ethernet タイプを変更しても改善されない場合は、プリンタを接続しているハブユニットの設定も変更してみてください。ハブユニットの Ethernet タイプの設定方法については、お使いのハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ・ ハブユニットに STP（スペニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。また、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ・ ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
 - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバーなどに接続できないことがあります。
 - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→ P.209）にご相談ください。
ラベルはハブユニットの底面に貼られており、次のように表記されています。



該当するものに消し線 (=) が付けられます。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバプリンタとして動作すると共に、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。

複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ・ ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- ・ 使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- ・ 「Printianavi2」または「Printianavi」、および「Printianavi ネットワークポートモニタ」を使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、複数台のうちの 1 台が印刷中のときは、残りのパソコンには「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージが表示されます。
- ・ 使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

- ポートの切り替え時間については、「設定項目一覧」(→ P.114) の「ポート セッティ」の「タイムアウト ジカン」をご覧ください。

☞ 重要

- 印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

パラレルケーブル接続の場合

⚠ 警告

-  パラレルケーブルを接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠ 注意

-  接続時はこのマニュアルをよく読み、間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因になることがあります。

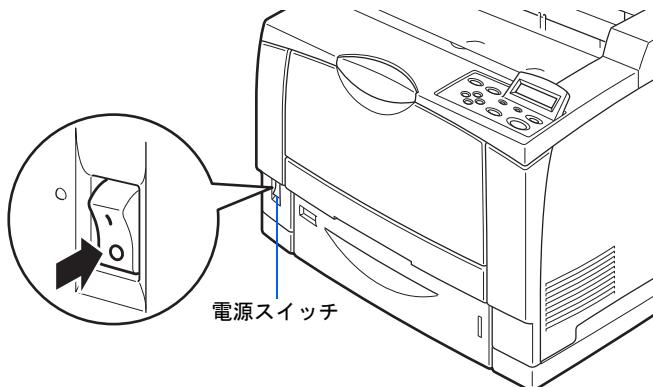
☞ 重要

- お使いの OS により、パラレルケーブルの接続を先に行うか、プリンタ ドライバのインストールを先に行うかが異なります。
- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
 - 『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタ ドライバをインストールしてから、パラレルケーブルを接続してください。
- Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
 - パラレルケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタ ドライバをインストールしてください。
- パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。

POINT

- パラレルケーブル接続時の環境は、双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機です。
- 本製品には、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタケーブル」(→ P.40) をご覧ください。

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切ります。また、パソコンの電源も切ります。

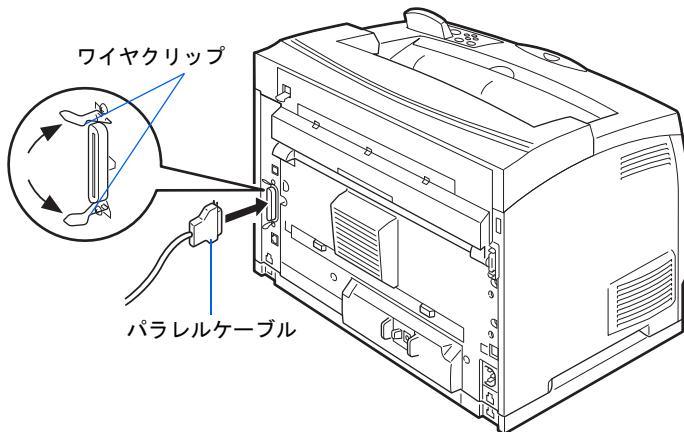


※重要

- ・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.174)をご覧ください。

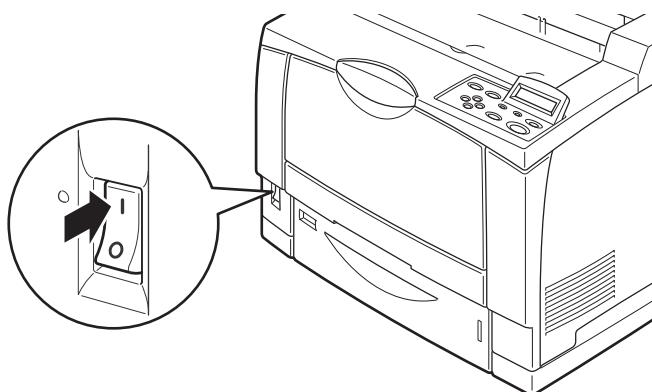
2 パラレルケーブルを背面のパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



3 電源スイッチを「|」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.141) をご覧ください。



4 パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。

プリンタ USB ケーブル接続の場合

USB インターフェースをサポートする PC/AT 互換機に接続できます。

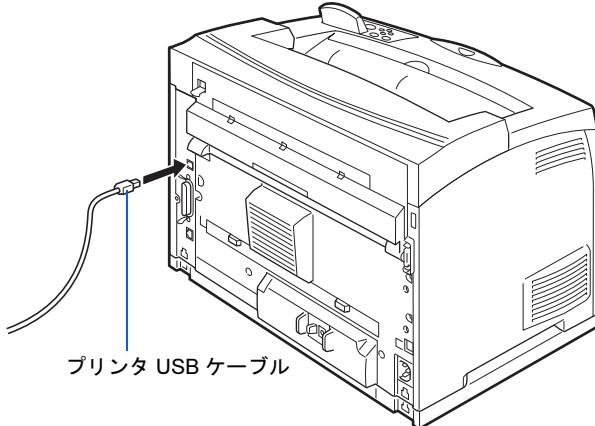
なお、本製品にプリンタ USB ケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタ USB ケーブル」(→ P.41) をご覧ください。

重要

- お使いの OS により、プリンタ USB ケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを行いうかが異なります。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続してください。
 - Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
プリンタ USB ケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
- パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタ USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中にプリンタ USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本製品と接続したプリンタ USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワー・タイプ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプ）の USB ハブのコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- USB2.0 でお使いになるには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。

1 プリンタ USB ケーブルを、背面の USB ケーブルコネクタに差し込みます。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



3

第3章 オプションを取り付ける

本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。この章では、これらのオプションの取り付け方法を説明します。

| | |
|-----------------------------|----|
| 1 取り付け可能なオプションとご注意 | 38 |
| 2 プリンタ RAM モジュールの取り付け | 42 |
| 3 両面ユニットの取り付け | 47 |
| 4 拡張給紙ユニットの取り付け | 52 |

本製品に取り付け可能なオプションと、取り付け時に注意していただきたいことを説明します。

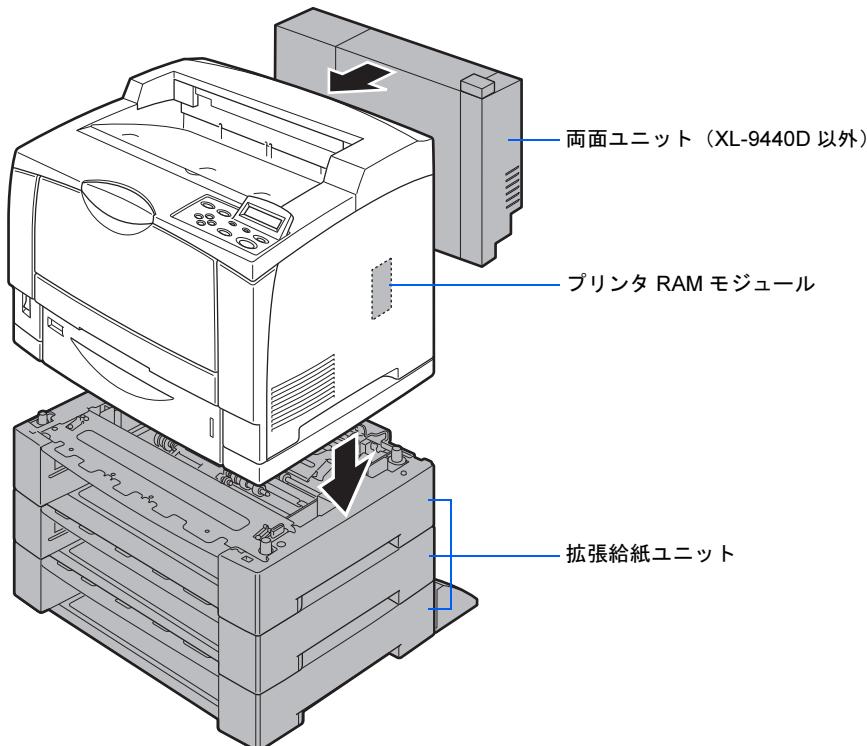
取り付け可能なオプション

本製品には、次のオプションを取り付け可能です。必要に応じてご購入ください。

なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。最新情報は富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>) でご確認ください。

POINT

XL-9440D は、両面ユニットを標準搭載しています。



拡張給紙ユニット

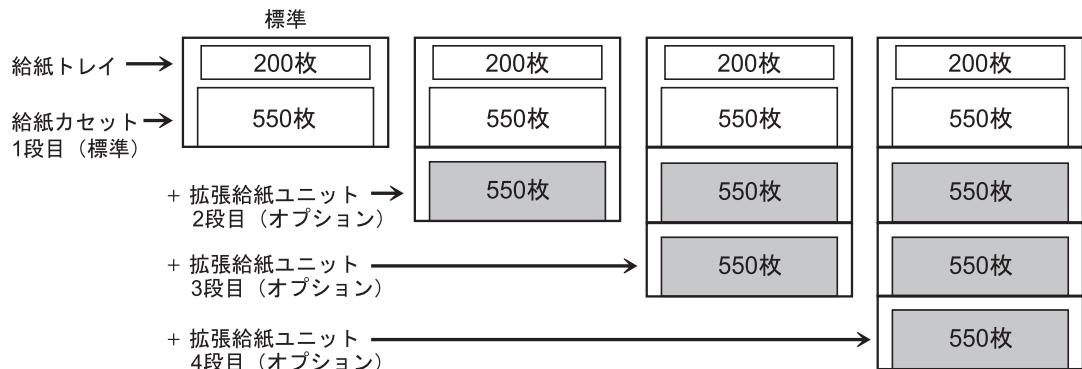
2段目、3段目、4段目の給紙ユニットとして使用できます。大量文書の印刷時にご利用ください。

表：拡張給紙ユニット

| 品名 | 型名 | 内容 |
|----------|-----------|---|
| 拡張給紙ユニット | XL-EF55MC | 収容枚数は約550枚(64g/m ² の用紙の場合)です。 (LB315 紙カセット(550枚) A3U添付) |

■取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1段目(標準)の給紙カセットとあわせて、次の取り付け形態を選択できます。



POINT

- 異なるサイズの用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、使用していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

重要

- 拡張給紙ユニットを取り付ける場合は、一番下の段の拡張給紙ユニットに、転倒防止部品を必ず取り付けてください。
- 転倒防止部品の取り付け方については、拡張給紙ユニットの「取り付け」(→P.52)の手順4をご覧ください。

両面ユニット

本製品背面に取り付けることで、A3、A4横(LEF)、A4縦(SEF)、A5横、B4、B5横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

表：両面ユニット

| 品名 | 型名 | 内容 |
|-------------|----------|---------------|
| 両面ユニット [注1] | XL-DUPMC | 両面印刷用のユニットです。 |

注1：XL-9440Dは、両面ユニットを標準搭載しています。

プリンタ RAM モジュール

本製品に内蔵します。プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、サポートするすべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。

表：プリンタ RAM モジュール

| 品名 | 型名 | 内容 |
|------------------------|------------|-----------------------------|
| プリンタ RAM モジュール - 256MB | XL-EM256MC | RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。 |

■プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

プリンタ RAM モジュールの有無により、印刷できる用紙サイズが異なります。搭載量と印刷可能範囲の対応は、次の表のとおりです。

表：プリンタ RAM モジュール搭載量と印刷可能範囲の対応

| 用紙サイズ / 解像度 (dpi) | 64MB (プリンタ RAM モジュールなし) | | | | | | 320MB (プリンタ RAM モジュールあり : 256MB) | | | | | |
|-------------------|----------------------------|-----|------|-----|-----|------|-------------------------------------|-----|------|-----|-----|------|
| | 片面 | | | 両面 | | | 片面 | | | 両面 | | |
| | 300 | 600 | 1200 | 300 | 600 | 1200 | 300 | 600 | 1200 | 300 | 600 | 1200 |
| A3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| B4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Legal | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Letter | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| B5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| はがき | ○ | ○ | ○ | — | — | — | ○ | ○ | ○ | — | — | — |
| ユーザ定義サイズ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | ○ | ○ | ○ | — | — | — |
| 長尺紙 | ○ | — | — | — | — | — | ○ | — | — | — | — | — |

○：どのデータも確実に印刷できます。

▲：データの内容によっては、印刷できない場合があります（プロテクトモード使用時は印刷できません）。

—：印刷できません。

解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。詳しくは、プリンタドライバのヘルプ、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

プリンタケーブル

本製品とパソコンを接続します。

接続インターフェースに応じて、パラレルケーブル、またはプリンタ USB ケーブルを使用できます。本製品にはプリンタケーブルは添付されていませんので、次の別売ケーブルをお使いください。

■パラレルケーブル

表：パラレルケーブル

| 品名 | 型名 | 内容 |
|----------|------------|-------------------------------|
| プリンタケーブル | FMV-CBL716 | 富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。 |

■プリンタ USB ケーブル

表：プリンタ USB ケーブル

| 品名 | 型名 | 内容 |
|-------------|-----------|-------------------------|
| プリンタUSBケーブル | XL-CBLU2G | 本ケーブルは USB2.0 に対応しています。 |

☞ 重要

- ・プリンタケーブルは、次の長さのシールドタイプのケーブルをお使いください。
 - ・パラレルケーブル：1.5m 以下
 - ・プリンタ USB ケーブル：5m 以下

3

取り付け時のご注意

オプションを取り付けるときは、次の点をお守りください。

⚠ 警告

-  ① オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

-  ② オプション類の取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

☞ 重要

- ・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源を切った状態で作業してください。

41

2 プリンタ RAM モジュールの取り付け

プリンタ RAM モジュールの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

なお、本作業にはプラスのドライバーが必要です。あらかじめ用意しておいてください。

⚠ 警告



- ・プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 重要

- ・静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
 - ・本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
 - ・モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
 - ・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分には、手を触れないでください。

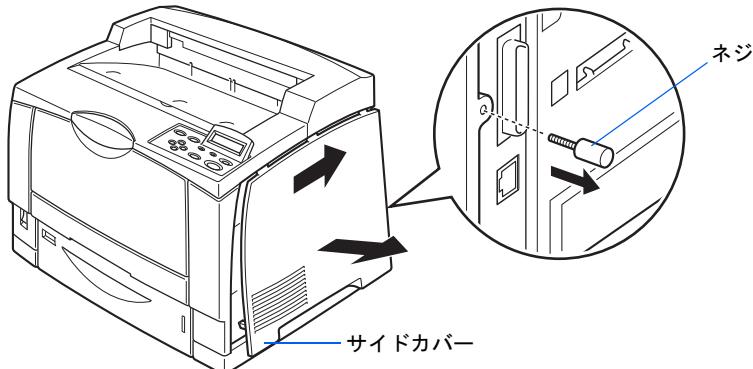
取り付け

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- ・電源スイッチを「○」側に倒します。
- ・電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- ・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 サイドカバーを取り外します。

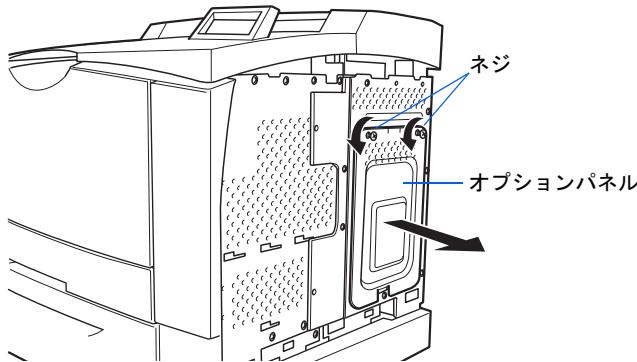
背面のネジを外した後、サイドカバーをプリンタ本体に沿って背面側へスライドし、カバーの下部を外側にずらすようにして外します。



POINT

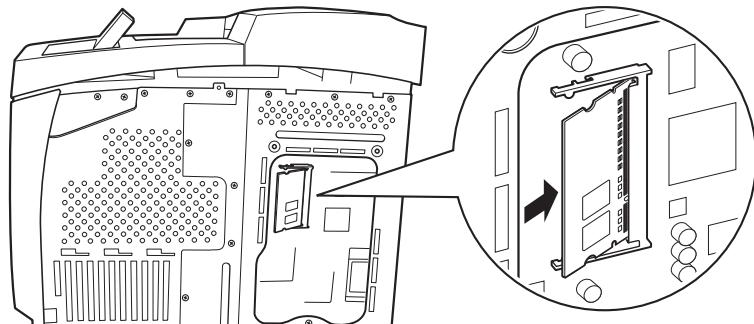
- ・ネジを完全に取り外さなくても、サイドカバーを取り外すことができます。

3 ネジ(2ヶ所)をコインなどでゆるめてから、オプションパネルを外します。



4 コネクタの溝に合わせてプリンタ RAM モジュールをゆっくりと差し込みます。

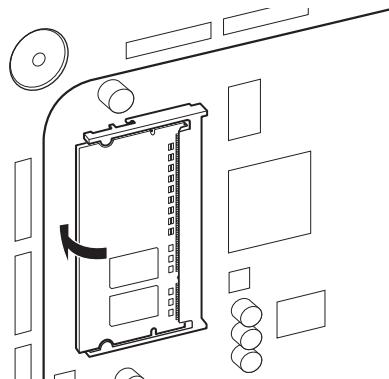
向きに注意して差し込みます。プリンタ RAM モジュールの金色の端子がほとんど見えなくなるまで押し込んでください。



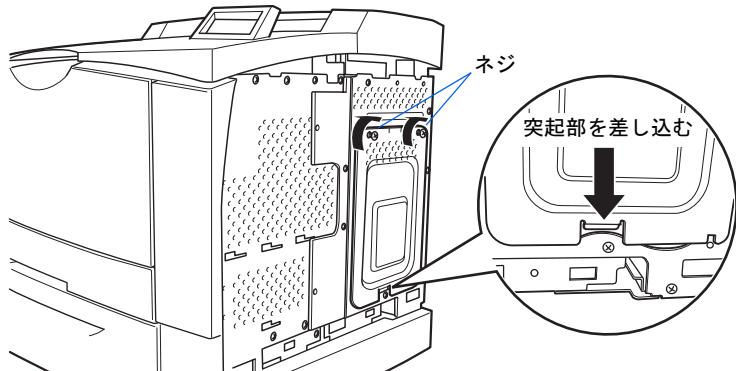
重要

・プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには充分注意してください。

5 プリンタ RAM モジュールをカチッと音がするまで押し倒し、固定します。

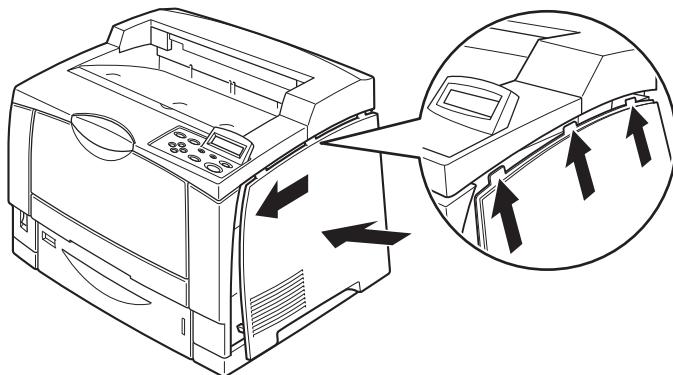


- 6** パネル下部の突起部をプリンタ本体内部に差し込んでから、コインなどでネジ（2ヶ所）を固定します。



- 7** サイドカバーのすべてのツメ（計 9ヶ所）をプリンタ本体の穴に差し込んでから、プリンタ本体に沿って前面側にスライドさせて取り付けます。

サイドカバーの 9ヶ所のツメは、装置内部／前面／上面にそれぞれ 3ヶ所あります。



- 8** プリンタ背面のネジを締めます。

動作確認

次の操作でプリンタ RAM モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認してください。

- 1 電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。
- 2 オペレータパネルの「リセット」スイッチを押しながら、電源スイッチをオン（「|」側）に倒して電源を入れます。

RAM モジュールのチェックが開始されます。

3

POINT

- ・「RAM1 チェック」と表示されたら、「リセット」スイッチを放してもかまいません。

- 3 オペレータパネルの表示が次のように変化することを確認します。

1. 標準 RAM (RAM1) のチェックが開始された後、増設した RAM モジュール (RAM2) のチェックが開始されます。

■標準 RAM のチェック開始

RAM1 チェック 00%

■増設 RAM モジュールのチェック開始

RAM2 チェック 00%

2. RAM モジュールチェック後、増設した RAM 容量 (320MB) が表示されることを確認します。

X L - X X X X
Ver x x. x x x x x x x x MB

3. フームがロードされ、「オンライン」と表示されることを確認します。

ファーム ロード チュウ
x x x x x x x x x x x x x x

オンライン

「オンライン」と表示されれば、RAM モジュールに問題はありません。

次のメッセージが表示された場合は、増設したプリンタ RAM モジュールが正常に取り付けられているか確認してください。

9 1 0 1 カクチョウ メモリエラー
メモリ ヲ コウカン

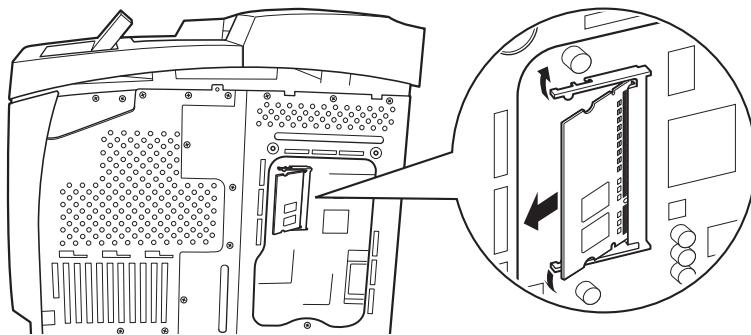
その他のメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.174) をご覧ください。

重要

- ・プリンタ RAM モジュールを増設した場合は、必ずプリンタ ドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は『ソフトウェアガイド』の「プリンタ ドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

取り外し

- 1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。**
 - ・電源スイッチを「○」側に倒します。
 - ・電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
 - ・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。
- 2 上下のレバーを開いてロックを外し、プリンタ RAM モジュールを手前に引き抜きます。**



サイドカバー、オプションパネルの取り外し・取り付け方法は、「取り付け」(→ P.42) をご覧ください。

3 両面ユニットの取り付け

両面ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

POINT

- XL-9440D は、両面ユニットを標準搭載しています。

△ 警告



- 両面ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

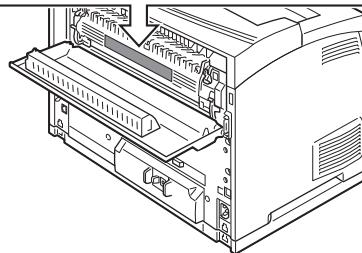
3

△ 注意



- 「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
- やけどの原因になることがあります。

注意ラベル

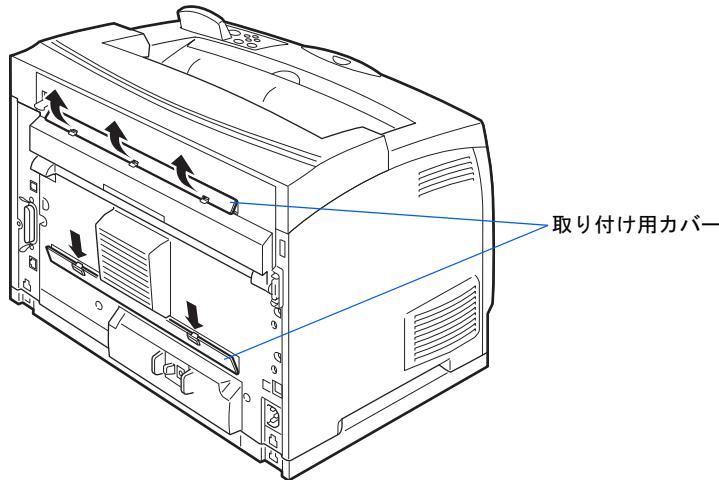


取り付け

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- 電源スイッチを「○」側に倒します。
- 電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 プリンタ背面にある両面ユニット取り付け用カバー（2ヶ所）を外します。

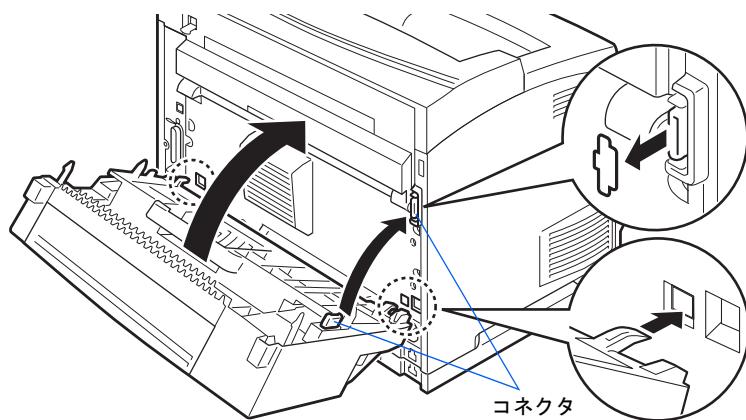


※ 重要

- 取り外したカバーは、両面ユニットを取り外した後に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。
- XL-9440D は標準で両面ユニットが取り付けられているため、取り付け用カバーはありません。

3 コネクタのカバーを外し、両面ユニットの突起部（2ヶ所）をプリンタ背面の穴（2ヶ所）に合わせて取り付けます。

このとき、両面ユニットのコネクタとプリンタ側のコネクタが接続されるようにしてください。

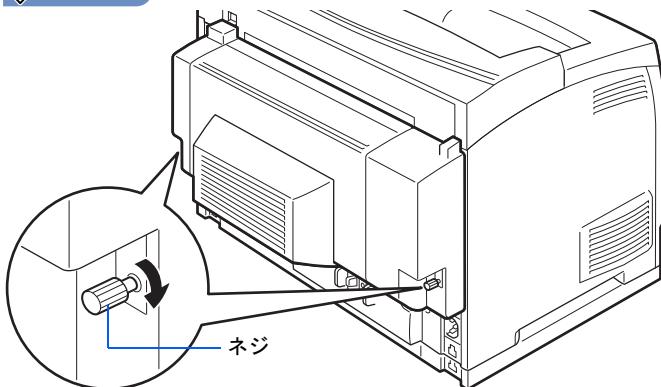


※ 重要

- 取り外したコネクタカバーは、両面ユニットを取り外した後に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。
- XL-9440D は標準で両面ユニットが取り付けられているため、コネクタカバーはありません。

4 両面ユニットの左右2ヶ所にあるネジで固定します。

重要



重要

- 両面ユニットを取り付けた後は、次のいずれかの操作を行い、取り付けた両面ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
- オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押します。

液晶ディスプレイの下段に「DUP アリ」と表示されていることを確認してください。

XXXXへ。ーシ : A 4 L E F
F D R ナシ / DUP アリ

「DUP ナシ」と表示されている場合は、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。

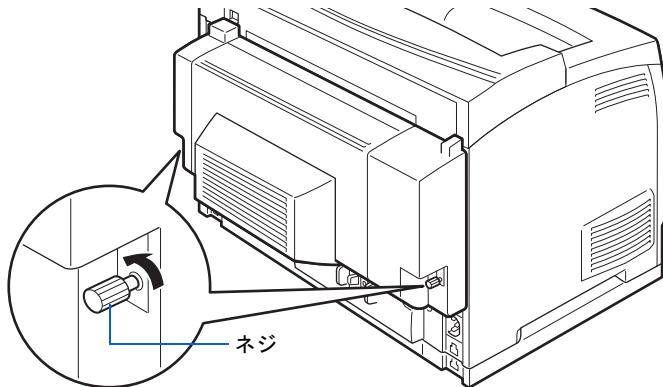
- 設定の一覧 (→ P.122) を印刷し、「システム情報」欄に「両面ユニット=あり」と印刷されていることを確認してください。「両面ユニット=なし」と印刷された場合は、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。

取り外し

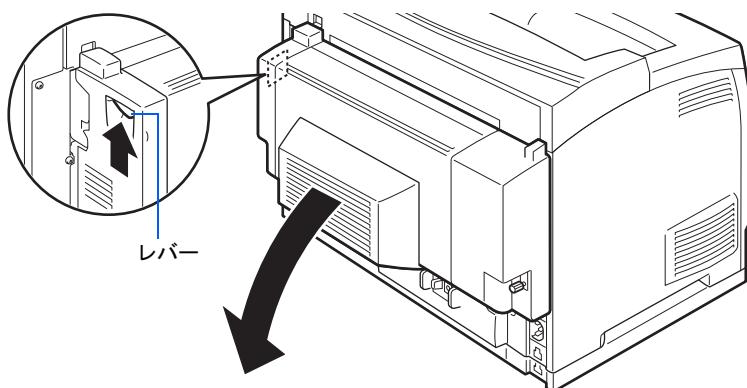
1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- ・電源スイッチを「○」側に倒します。
- ・電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- ・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

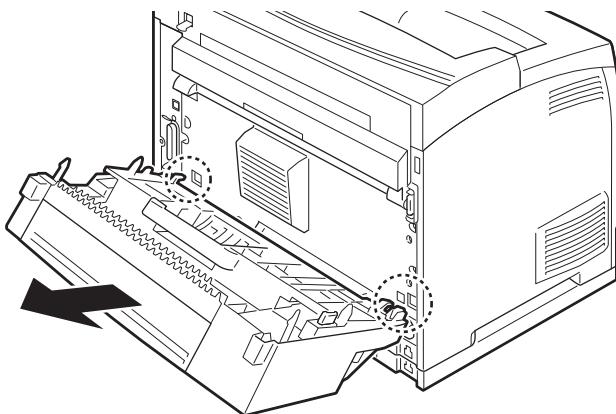
2 両面ユニット左右 2ヶ所のネジをゆるめます。



3 両面ユニットを手で支えながら、左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニット上部をプリンタ本体から外します。



- 4** 両面ユニットを持ち上げるようにしながら、両面ユニット左右の突起部をプリンタ背面の穴から外します。



- 5** コネクタのカバーを取り付けます。

「取り付け」(→P.47) の手順 3 で外したコネクタのカバーを、元通りに取り付けてください。

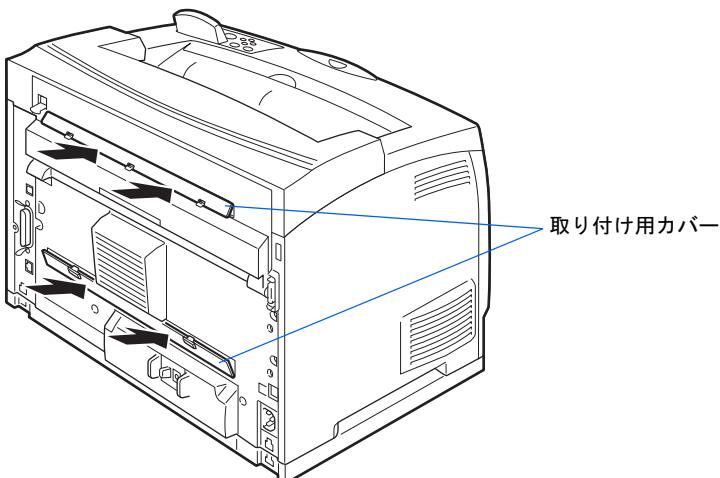
重要

- XL-9440D は、両面ユニットが取り外されている状態では「H073 ユニットカクニンリョウメン ユニット」エラーとなり、印刷ができません。
必ず両面ユニットを取り付けた状態でお使いください。

- 6** 両面ユニット取り付け用カバー（2ヶ所）を、プリンタ背面にカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。

POINT

- XL-9440D は標準で両面ユニットが取り付けられているため、取り付け用カバーはありません。



4 拡張給紙ユニットの取り付け

拡張給紙ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

本製品には、最大3段まで取り付けることができます。

一番下の段の拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニットに添付されている転倒防止部品を必ず取り付けてください。なお、転倒防止部品を取り付けた拡張給紙ユニットを、上段に取り付けることはできません。また、転倒防止部品は、プリンタ本体に直接取り付けることはできません。

⚠ 警告



- ・拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意



- ・拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
- ・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、充分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態でXL-9440Dは約26kg、その他のプリンタは約23kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
- また、移動するときに足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。
- ・取り付け時は、指をはさまないように注意してください。

取り付け

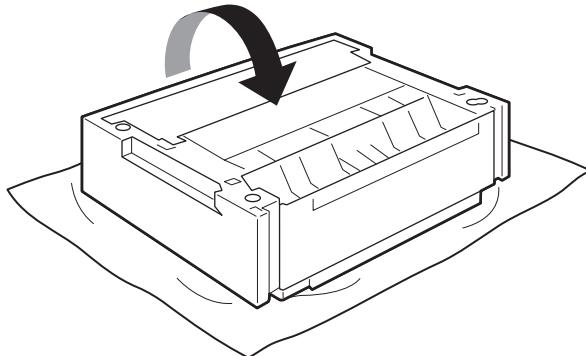
1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- ・電源スイッチを「○」側に倒します。
- ・電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- ・パラレルケーブル、LANケーブル、およびプリンタUSBケーブルを外します。

2 拡張給紙ユニットから給紙カセットを引き抜きます。

3 一番下の段に取り付ける拡張給紙ユニットを、裏返して平らな場所に置きます。

傷が付かないよう、下に布などを敷いて作業してください。

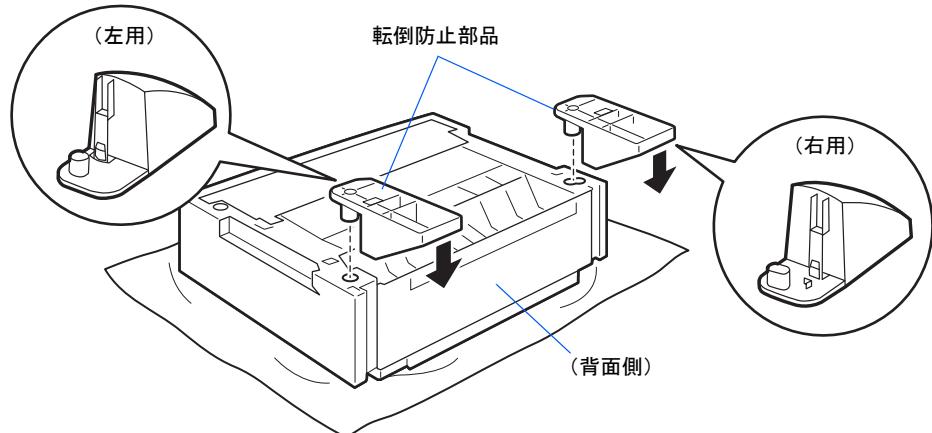


3

4 転倒防止部品を、背面側左右の端にある穴（2ヶ所）に合わせて取り付けます。

カチッと音がするまで、突起部を穴にゆっくりと差し込んでください。

なお、転倒防止部品には左用と右用があります。突起部の形と、穴の形が一致することを確認したうえで取り付けてください。

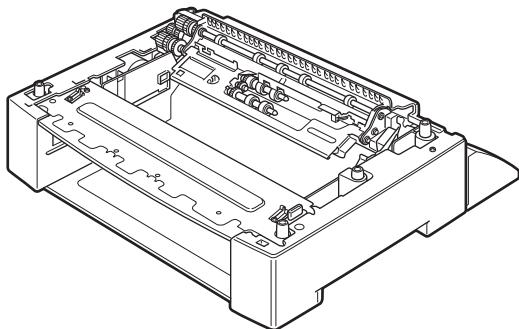


重要

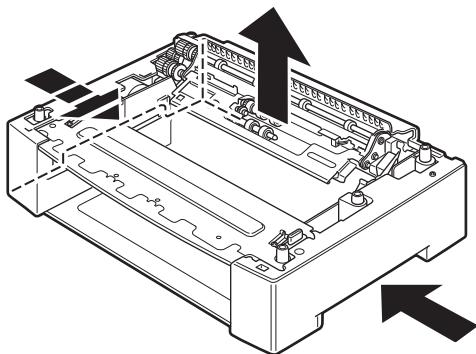
- ・転倒防止部品は一番下の段にする拡張給紙ユニットにだけ取り付けてください。
- ・転倒防止部品を取り付けた拡張給紙ユニットを、上段に取り付けることはできません。
- ・転倒防止部品は、プリンタ本体に直接取り付けることはできません。

5 拡張給紙ユニットの向きを元通りにします。

取り付ける拡張給紙ユニットが1段のみの場合は、手順10（→P.55）へ進んでください。

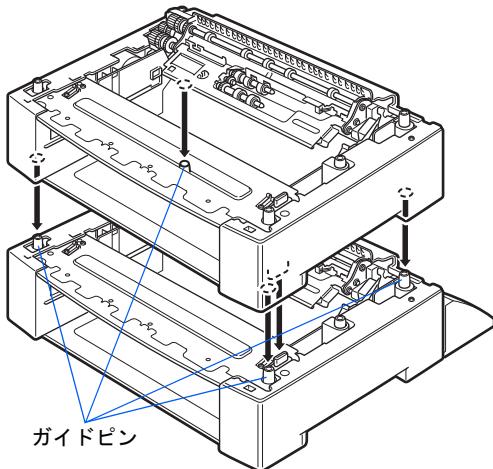


6 上段に取り付ける拡張給紙ユニット側面のくぼみを持って、持ち上げます。

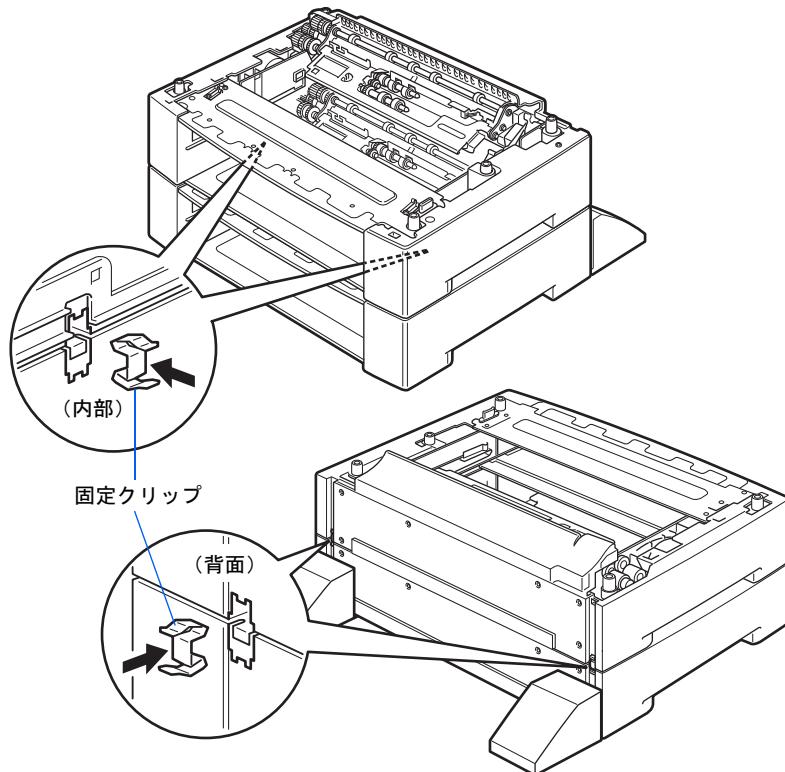


7 上下の拡張給紙ユニットの前面と後面の角を合わせます。

下段の給紙ユニットの四隅にあるガイドピンが、上の拡張給紙ユニットの底面にある穴に入るようにしてください。



- 8** 拡張給紙ユニットの内部 2ヶ所、背面 2ヶ所の差し込み部に、拡張給紙ユニットに添付されている固定クリップを押し込み、拡張給紙ユニットどうしを固定します。

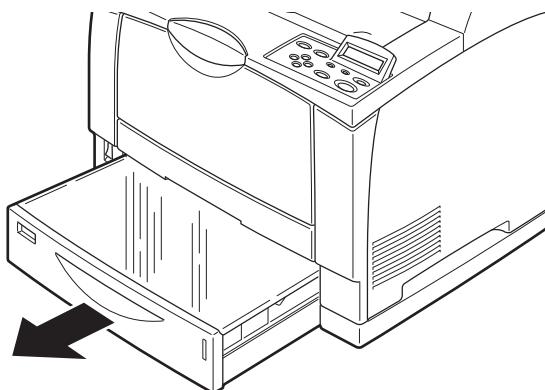


重要

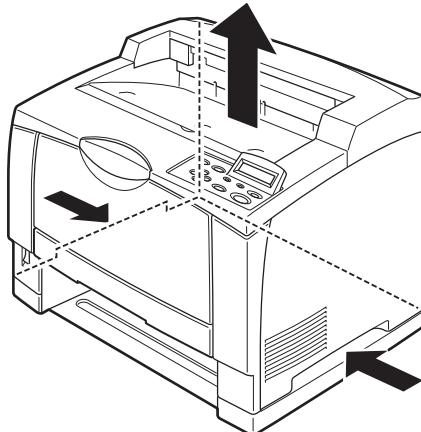
- ・固定クリップで拡張給紙ユニットどうしをしっかりと固定してください。
- ・固定クリップが正常に押し込まれていないと、給紙カセットに引っかかり、給紙カセットの抜き差しができない場合があります。

- 9** 3段取り付ける場合は、手順 6(→ P.54)～手順 8(→ P.55)を繰り返します。

- 10** プリンタ本体から給紙カセットを引き抜きます。

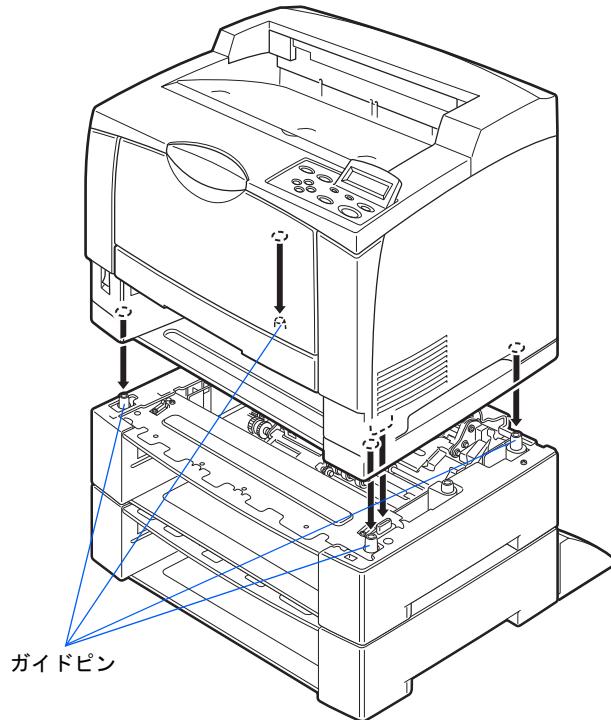


11 プリンタ本体下部のくぼみに手をかけ、プリンタ本体を持ち上げます。

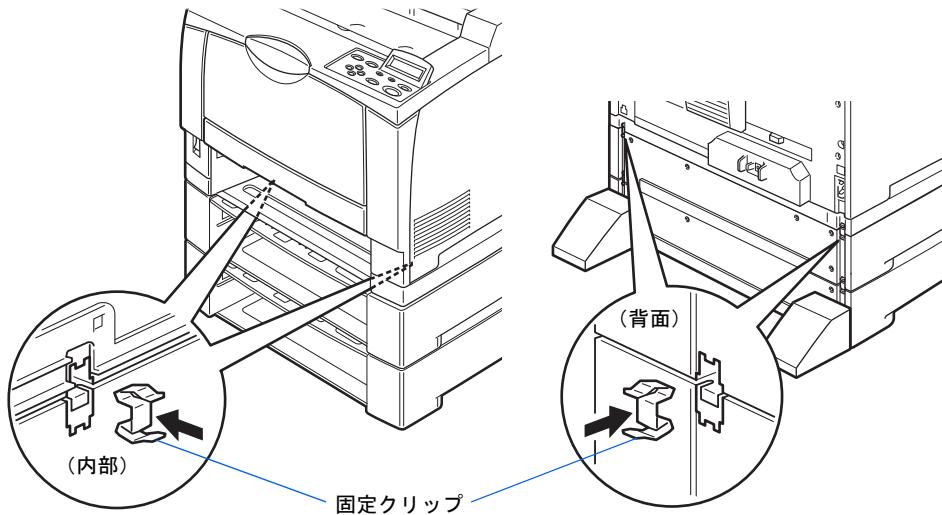


12 プリンタ本体を拡張給紙ユニットの上にゆっくりおろします。

プリンタ本体と拡張給紙ユニットの角を合わせます。拡張給紙ユニットの四隅にあるガイドピンが、プリンタ本体底面の穴に差し込まれるようにしてください。



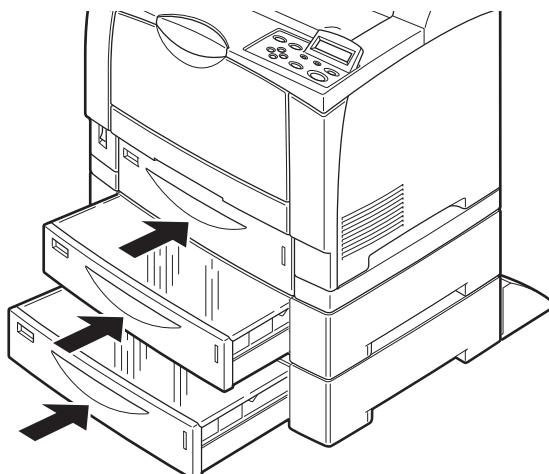
13 プリンタ本体の内部 2ヶ所、後部 2ヶ所の差し込み部に、拡張給紙ユニットに添付されている固定クリップを押し込み、プリンタ本体と拡張給紙ユニットを固定します。



重要

- ・固定クリップでプリンタ本体と拡張給紙ユニットをしっかりと固定してください。
固定しにくい場合は、プリンタ本体から給紙トレイを引き抜いてください。給紙トレイを引き抜く方法については、「給紙トレイの紙送りローラの清掃」(→ P.91) の手順 1 をご覧ください。
- ・固定クリップが正常に押し込まれていないと、給紙カセットに引っかかり、給紙カセットの抜き差しができない場合があります。

14 プリンタ本体から取り外した給紙カセットと、拡張給紙ユニットのカセットを、奥に突き当たるまで押し込みます。



重要

- ・拡張給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は^④『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

- ・拡張給紙ユニットを取り付けた後は、次のいずれかの操作を行い、取り付けた拡張給紙ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
- ・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押します。

液晶ディスプレイ下段の、「FDR」と表示されている部分を確認してください。



拡張給紙ユニットを1段取り付けたときは「FDR=1」、2段取り付けたときは「FDR=2」、3段取り付けたときは「FDR=3」と表示されます。「FDRナシ」と表示されている場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。

確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。

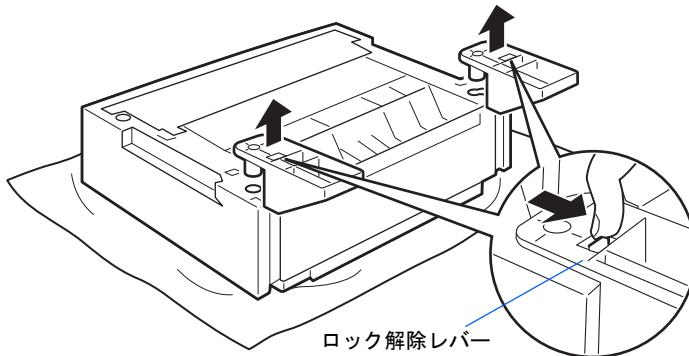
- ・設定の一覧（→P.122）を印刷し、「システム情報」欄の給紙口情報を確認してください。
取り付けた段数に応じて、次のように印刷されます。印刷されない場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
 - ・1段取り付けたとき：「カセット1 = (用紙サイズ)」「カセット2 (550FDR) = (用紙サイズ)」「カセット3 (550FDR) = (用紙サイズ)」
 - ・2段取り付けたとき：「カセット1 = (用紙サイズ)」「カセット2 (550FDR) = (用紙サイズ)」「カセット3 (550FDR) = (用紙サイズ)」「カセット4 (550FDR) = (用紙サイズ)」
 - ・3段取り付けたとき：「カセット1 = (用紙サイズ)」「カセット2 (550FDR) = (用紙サイズ)」「カセット3 (550FDR) = (用紙サイズ)」「カセット4 (550FDR) = (用紙サイズ)」

取り外し

- 1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。**
 - ・電源スイッチを「○」側に倒します。
 - ・電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
 - ・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。
- 2 拡張給紙ユニットから給紙カセットを引き抜きます。**
- 3 「取り付け」(→ P.52) と逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外します。**

POINT

- ・転倒防止部品を取り外すときは、転倒防止部品のロック解除レバーを手前に引きながら、まっすぐ上に引き抜きます。



重要

- ・取り外した転倒防止部品は、捨てずに保管してください。

Memo

4 運用編

第4章

日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するときに必要となる、日常的な操作について説明します。

| | |
|----------------------------|----|
| 1 用紙をセットする | 62 |
| 2 印刷する | 76 |
| 3 印刷を中止する | 79 |
| 4 プロセスカートリッジの交換と注意事項 | 82 |
| 5 プリンタを清掃する | 88 |
| 6 プリンタを長時間使用しないとき | 96 |
| 7 プリンタを移動するとき | 97 |

1 用紙をセットする

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。

※ 重要

- ・ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙トレイから印刷してください。給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。詳しくは「給紙トレイにセットする」（→P.73）をご覧ください。
- ・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- ・用紙にほこりや湿気が付くのを防ぐため、給紙カセットは、必ずふたを閉めてご使用ください。
- ・給紙トレイ（小サイズの用紙をセットした場合）は、給紙トレイのカバーを閉めてご使用ください。
- ・ふたを閉めずに使用した場合、給紙カセット、給紙トレイの出し入れに支障をきたすことがあります。

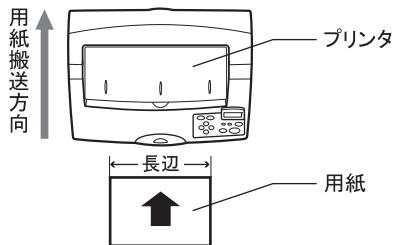
POINT

- ・異なるサイズの用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。

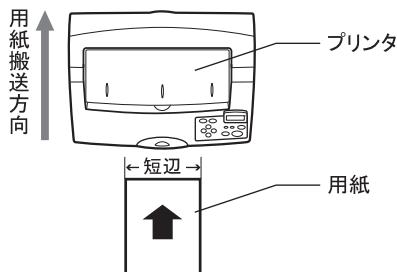
用紙をセットする向きについて

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットするときは、用紙を「横送り」または「縦送り」されるように置きます。

- ・「横送り」とは、用紙の長辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「LEF（Long Edge Feedの略）」とも表記されます。

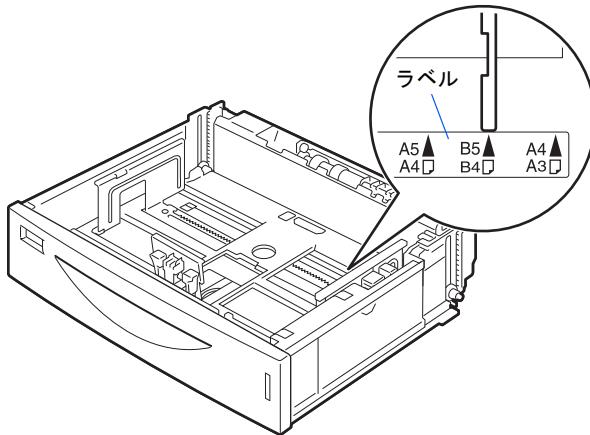


- ・「縦送り」とは、用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「SEF（Short Edge Feed）」とも表記されます。



用紙サイズと送り方向のラベル

給紙カセットや給紙トレイには、さまざまな用紙をセットするときの目安となるラベルが貼られています。



このラベルには、用紙サイズやマークが記載されていて、セットする用紙に合わせて給紙カセットを伸縮したり、用紙の縦／横ガイドのクリップを移動したりするときに使用します。

表：ラベルの内容

| 記載 | 説明 |
|--|---|
| A4 <input type="checkbox"/> | A4用紙は、横送り方向にも、縦送り方向にもセットできます。 <input type="checkbox"/> のマークは、A4サイズの用紙を横送り方向でセットする位置を示します。 |
| A4 <input checked="" type="checkbox"/> | A4用紙は、横送り方向にも、縦送り方向にもセットできます。 <input checked="" type="checkbox"/> のマークは、A4サイズの用紙を縦送り方向でセットする位置を示します。 |
| (用紙サイズ) <input type="checkbox"/> | 表示されているサイズの用紙を、横送り方向でセットする位置を示しています。 |
| (用紙サイズ) | 表示されているサイズの用紙を、縦送り方向でセットする位置を示しています。 |

POINT

- このマニュアルでは、A4サイズの用紙を「横送り」と「縦送り」で区別して説明する箇所で、次のように表記します。
 - 横送り：「A4サイズ横送り（LEF）」
 - 縦送り：「A4サイズ縦送り（SEF）」
- 横送り（LEF）のほうが高速に印刷できます。
- 排紙のカールが大きい、または両面印刷時に紙詰まりしやすい場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙L」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にすることで、改善される場合があります。また、A4サイズであればLEFとSEFを変更することで改善される場合があります。ただし、SEFに変更すると、LEFに比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。

用紙ごとのセット方向

用紙ごとのセット方向は次のとおりです。

表：用紙ごとのセット方向

| セット方向 | 用紙の種類 |
|------------|----------------------------|
| 横送り (□LEF) | A4、A5、B5、レター、はがき、ユーザ定義サイズ |
| 縦送り (□SEF) | A4、A3、B4、リーガル、長尺紙、ユーザ定義サイズ |

給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする

ここでは、給紙カセットに用紙をセットする手順を説明します。

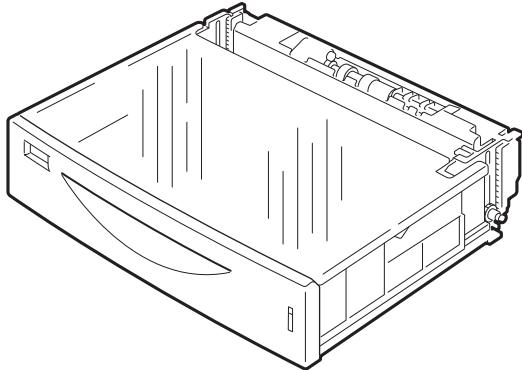
POINT

- ・拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も、給紙カセットと同じ手順でセットできます。

A4 横送り (□LEF)、A5、B5、レターサイズの場合

横送り方向にセットする用紙は、次の手順でセットします。ここでは、B5 サイズの用紙を例に説明します。

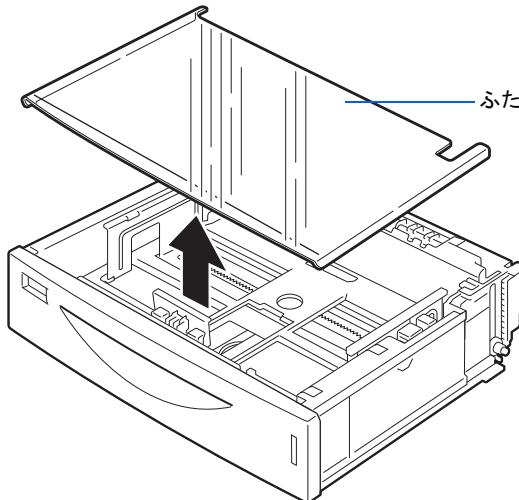
1 給紙カセットを平らな場所に置きます。



POINT

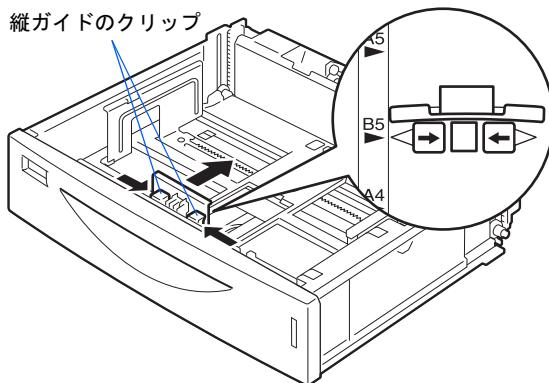
- ・給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。上斜め方向に持ち上げながら引っ張ると、スムーズに引き抜けます。

2 ふたを持ち上げて取り外します。

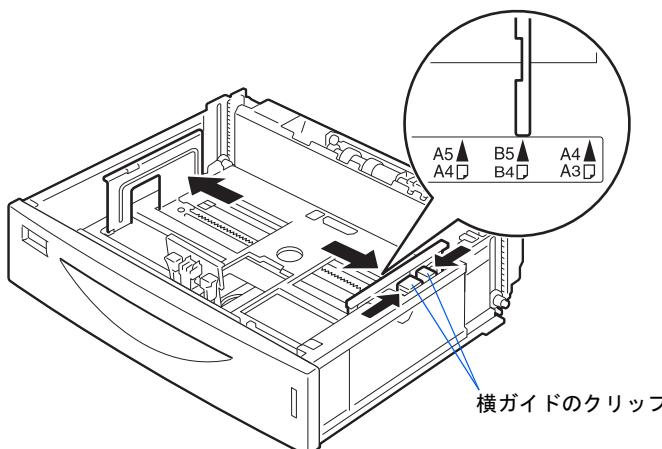


4

3 縦ガイドのクリップを指でつまみながら、縦ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。



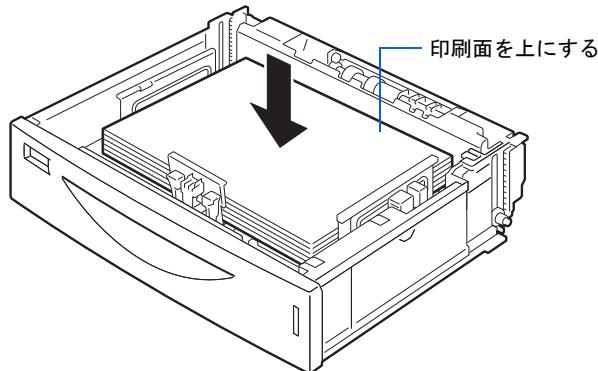
4 横ガイドのクリップを指でつまみながら、横ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。



5 用紙の四隅を揃え、印刷したい面（包装された用紙の開封面）を上にしてセットします。

横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

両面印刷時は最初に印刷する面を上にします。



重要

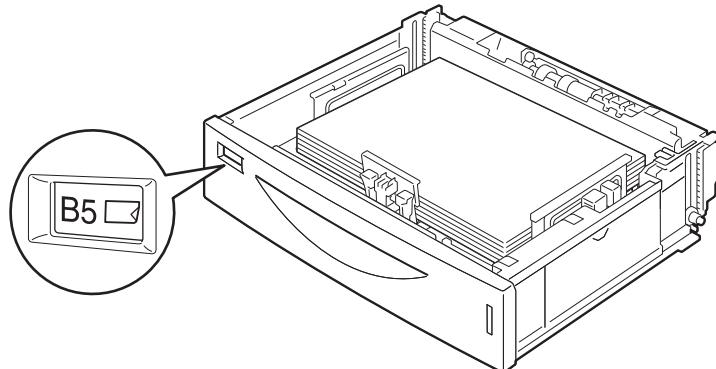
- ・反り、シワ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- ・右側の横ガイド内側の赤ライン（用紙上限線）を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- ・横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれないと、用紙が正常に搬送されず、印刷が斜めになったり紙詰まりの原因となることがあります。

POINT

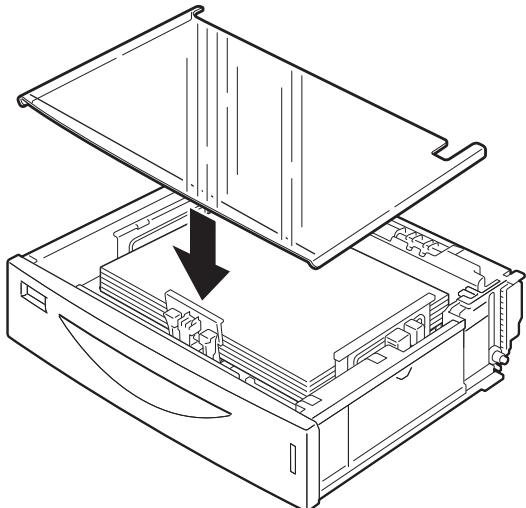
- ・給紙カセットに収容できる枚数は、約 550 枚（64g/ m²の場合）です。
- ・550 枚収容できる給紙カセットに少数枚の用紙をセットした場合、縦ガイドの位置が正しいのに用紙がたわむことがあります。異常ではありませんので、そのままお使いください。

6 セットした用紙サイズに合わせて、用紙サイズカードを変更します。

用紙サイズカードを取り出し、セットした用紙サイズが見えるように用紙サイズカードをセットします。

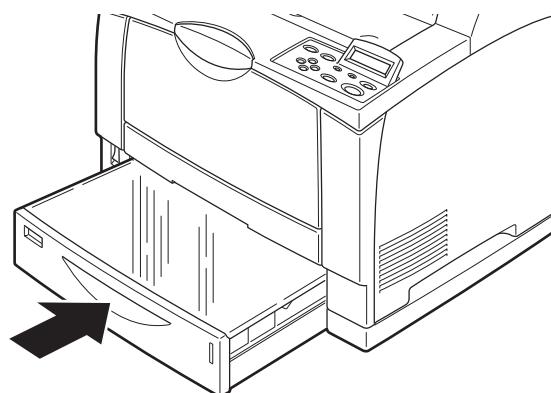


7 ふたを取り付けます。



4

8 プリンタ本体の奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込みます。



 **重要**

- ・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

A4 縦送り (SEF) 、 A3、 B4、 リーガルサイズの場合

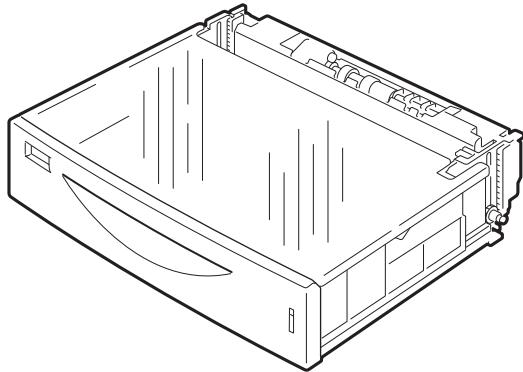
縦送り方向で用紙をセットする場合は、用紙サイズに合わせ、カセットを縦方向に延長してセットします。

ここでは、A3 サイズの用紙を例に説明します。

POINT

- ・拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も、給紙カセットと同じ手順でセットできます。

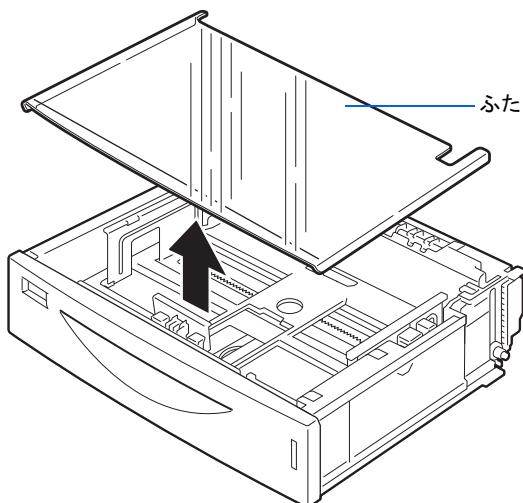
1 給紙カセットを平らな場所に置きます。



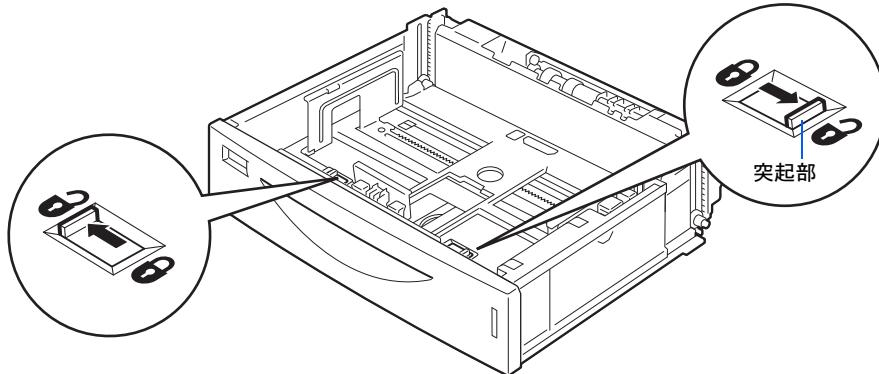
POINT

- ・給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。上斜め方向に持ち上げながら引っ張ると、スムーズに引き抜けます。

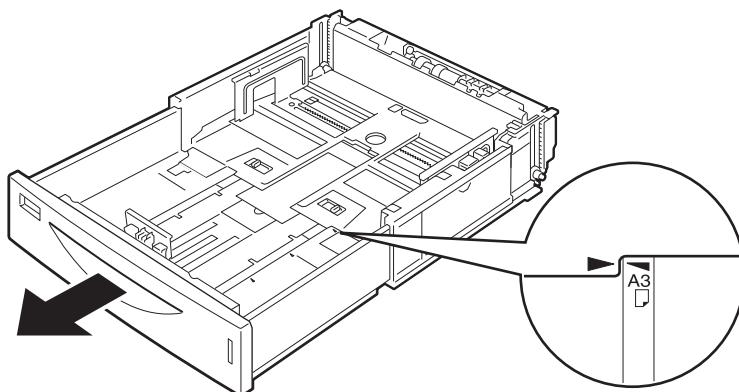
2 ふたを持ち上げて取り外します。



3 紙力カセットの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除します。



4 紙力カセットの持ち手部分を持って延長部を引き出し、用紙サイズに合わせます。

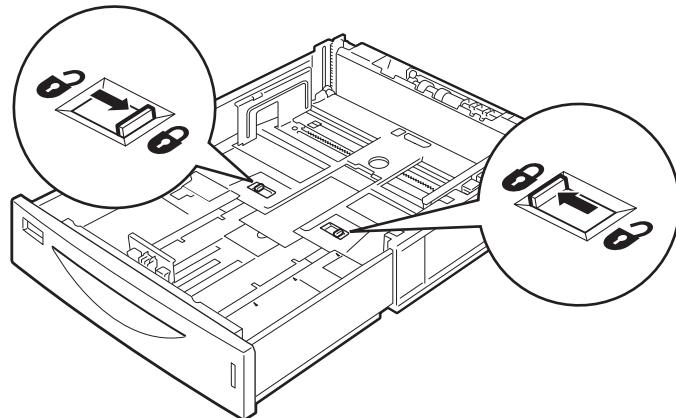


4

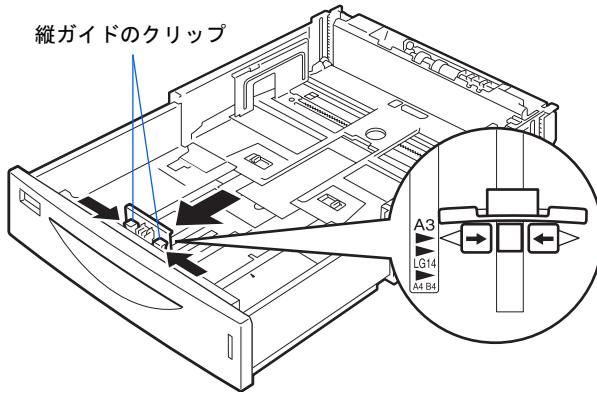
POINT

- ユーザ定義サイズの用紙をセットする場合は、用紙サイズの長さに合わせて、適切なロック位置で固定してください。用紙サイズに合わせて、縦ガイド／横ガイドを調整してください。長さが 220mm 以下のユーザ定義サイズ用紙の場合は、カセットの延長はしないでください。

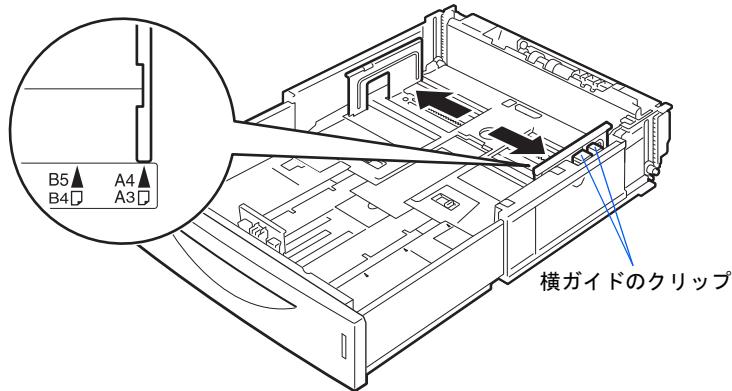
5 紙力カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックします。



6 縦ガイドのクリップを指でつまみながら、縦ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。



7 横ガイドのクリップを指でつまみながら、横ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。



8 用紙の四隅を揃え、印刷したい面（包装された用紙の開封面）を上にしてセットします。

横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

両面印刷時は最初に印刷する面を上にします。

重要

- ・反り、シワ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- ・右側の横ガイド内側の赤ライン（用紙上限線）を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- ・横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれないと、縦ガイドの位置が正しいのに用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

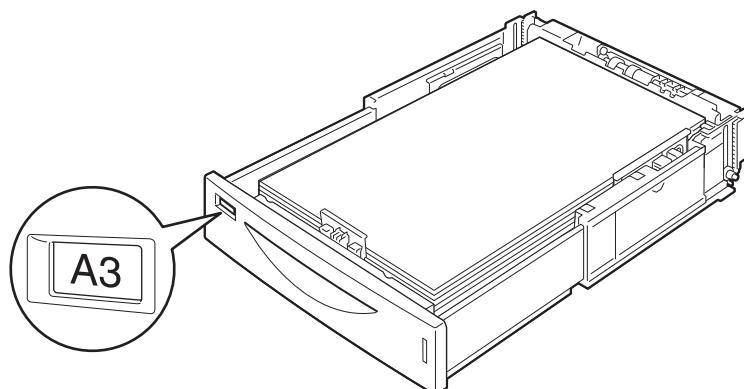
POINT

- ・給紙カセットに収容できる枚数は、約 550 枚です（64g/ m²の場合）。

4

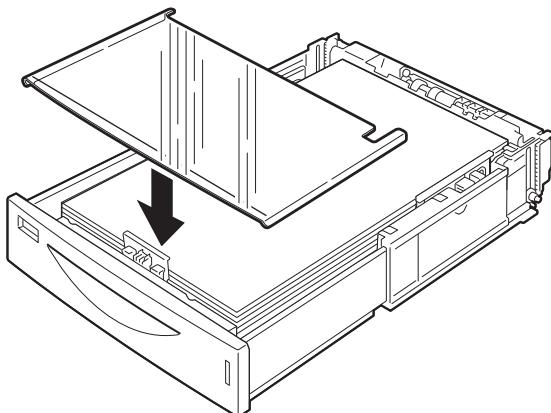
9 セットした用紙に合わせて、用紙サイズカードを変更します。

用紙サイズカードを取り出し、セットした用紙サイズが見えるように用紙サイズカードをセットします。

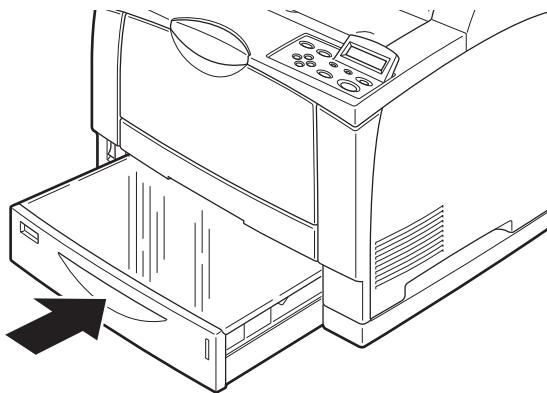


10 ふたを取り付けます。

用紙にほこりや湿気が付くのを防ぐため、給紙カセットのふたは必ず閉めてください。



11 プリンタ本体の奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込みます。



※ 重要

- ・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

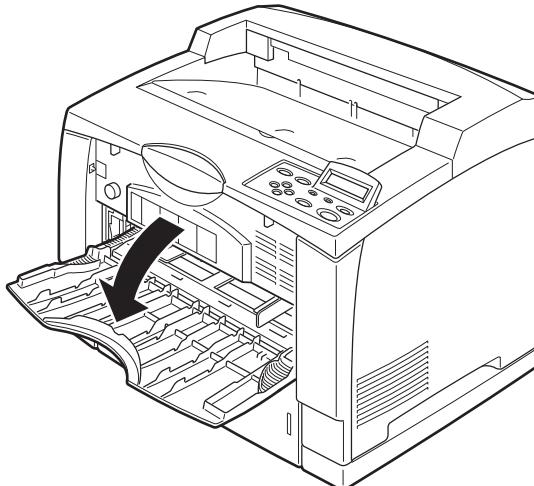
給紙トレイにセットする

ここでは、給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

※重要

- ・給紙トレイに用紙をセットする場合は、プリンタの電源を入れてからセットしてください。

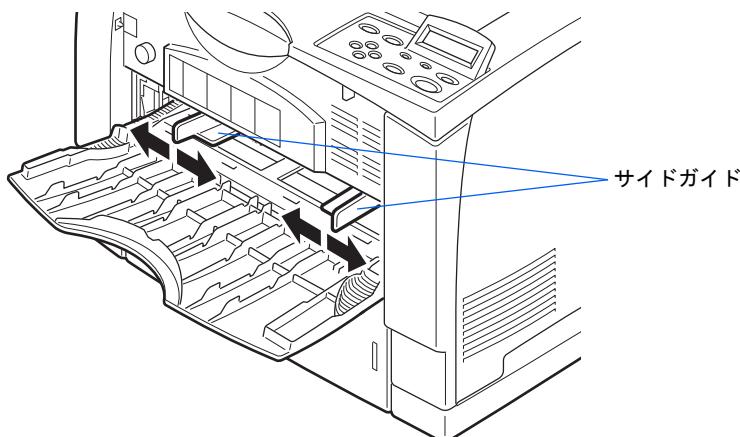
1 給紙トレイのカバーを開きます。



4

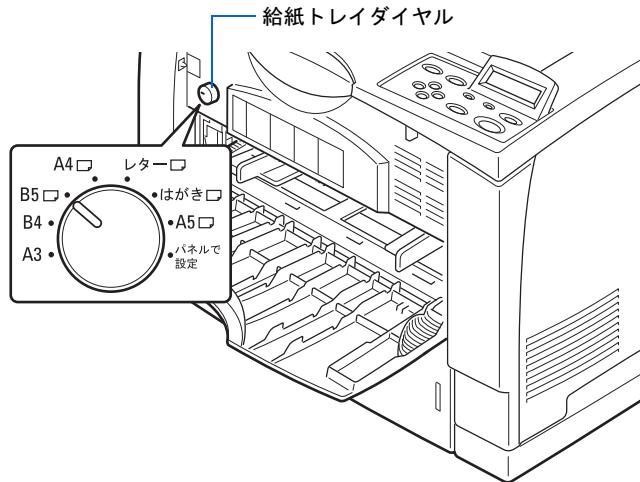
2 サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、印刷が斜めになったり、用紙シワや紙詰まりの原因となることがあります。



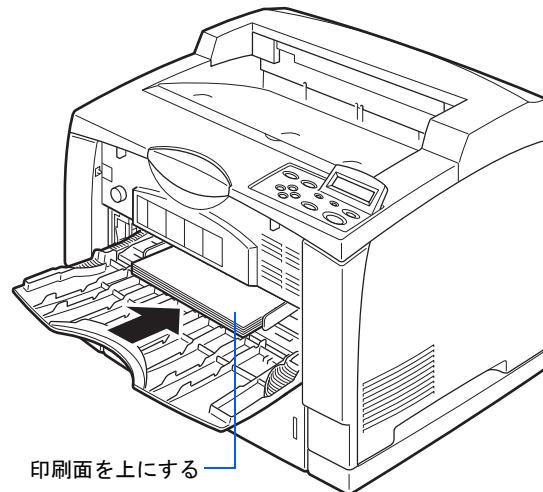
3 給紙トレイダイヤルを、セットする用紙のサイズと向きに合わせます。

該当するサイズや向きがない場合は、ダイヤルを「パネルで設定」に合わせ、オペレータパネルで設定してください。設定方法について詳しくは、「A4 サイズ縦送り (SEF)、リーガルサイズを使用する場合」(→ P.75) をご覧ください。



4 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

両面印刷時は最初に印刷する面を上にします。



※ 重要

- ・ 反り、シワ、折り目の入った用紙は、使用しないでください。
- ・ 収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

POINT

- ・ セットした用紙の、給紙方向の寸法が A4 サイズ短辺以下の場合は、給紙トレイのカバーを閉めて印刷ができます。
- ・ 給紙トレイに収容できる枚数は、約 200 枚です（64g/ m² の場合）。

A4 サイズ縦送り (■SEF) 、リーガルサイズを使用する場合

A4 サイズ縦送り (■SEF) 、またはリーガルサイズの用紙を給紙トレイにセットした場合は、オペレータパネルの設定が必要になります。

1 給紙トレイに、A4 サイズまたはリーガルサイズの用紙を縦送り方向でセットします。

2 給紙トレイダイヤルを「パネルで設定」に合わせます。

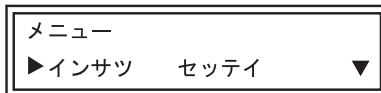
3 オペレータパネルを次のように操作し、用紙サイズを「A4 SEF」または「リーガル SEF」に切り替えます。

オペレータパネルについて詳しくは、「オペレータパネルの操作」(→P.103)をご覧ください。

1. オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニュー mode にします。



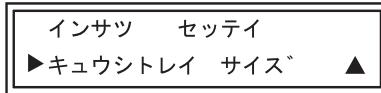
2. 「▶」スイッチを2回押して「インサツ セッティ」を表示します。



3. 「▼」スイッチを押して「キュウシグチ」を表示します。



4. 「▶」スイッチを2回押して「キュウシトレイ サイズ」を表示します。



5. 「▼」スイッチを押して「*A 4 L E F」を表示します。



6. A4 サイズ縦送り (■SEF) の場合は、「▶」スイッチを1回押して「A 4 S E F」を表示します。リーガルサイズの場合は、「▶」スイッチを4回押して「リーガル S E F」を表示します。



7. 「設定」スイッチを押してから、「オンライン」スイッチを押します。

A4 サイズ縦送り (■SEF)、またはリーガルサイズのモードに切り替わります。



2 印刷する

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

1 印刷を行う前に、プリンタドライバをインストールします。

インストール方法は、[『ソフトウェアガイド』](#)をご覧ください。

2 本製品が印刷できる状態であることを確認します。

- ・正しく接続されているか
- ・本製品の電源が入っているか
- ・用紙がセットされているか（「用紙をセットする」（→ P.62））

3 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

4 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2)「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

5 各項目を設定し、「OK」をクリックします。



4

各設定項目について詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

6 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

正常に印刷できないときは、「こんなときには」(→ P.141)をご覧ください。

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi 機能を使うと、本製品の状態をパソコン上で確認できます。

Printianavi 機能は、印刷が実行されると本製品のモニタを開始します。本製品でエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法が、パソコンの画面にポップアップ表示されます。



Printianavi 機能によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、およびポップアップについて詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

3 印刷を中止する

印刷開始後（オペレータパネルのデータランプが点滅または点灯中）に、印刷を中止する方法を説明します。

POINT

- データランプはXL-9440/9380のみ、他はオンラインランプとなります。

印刷を中止するには、パソコンから中止する方法と、本製品のオペレータパネルから中止する方法の2通りがあります。

パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき）

4

パソコンから印刷を中止するときの操作は、プリンタのプロパティウィンドウの「Printianavi2」または「Printianavi」タブの表示方法の設定によって異なります。

詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

ポップアップ表示のとき

「印刷中止」をクリックします。



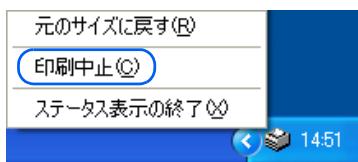
エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

画面右下の通知領域（タスクトレイ）のアイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで「印刷中止」をクリックします。



POINT

- 画面右下の通知領域（タスクトレイ）のアイコンを右クリックし、表示されるメニューで「印刷中止」をクリックして、印刷を中止することもできます。



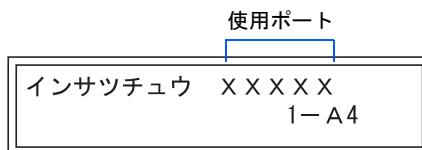
オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。リセットすると、本製品はプリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。

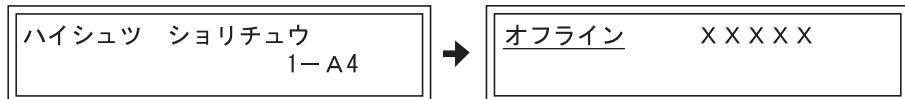
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押します。

オペレータパネルの操作について詳しくは、「オペレータパネルの操作」(→ P.103) をご覧ください。

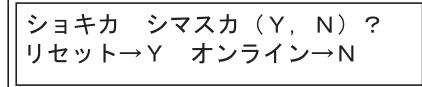


オペレータパネルに「ハイシユツ シヨリチュウ」と表示されて印刷中の用紙が排出され、オフライン状態になります。



2 「リセット」スイッチを押します。

「ショキカ シマスカ (Y,N) ?」と表示されます。このとき、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開できます。



3 再度「リセット」スイッチを押します。

「ショキカチュウ」と表示され、初期化されます。



受信データがあると、データランプが点滅します。

初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

POINT

- データランプは XL-9440/9380 のみ、他はオンラインランプとなります。
- プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。「Printianavi2」または「Printianavi」を使用しているときは、パソコン上の Printianavi2 / Printianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

4

4 プロセスカートリッジの交換と注意事項

プロセスカートリッジの交換方法と、使用時の注意事項を説明します。

プロセスカートリッジを交換する

プロセスカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB318A の場合 A4 サイズの用紙で約 6,000 ページ、LB318B の場合 A4 サイズの用紙で約 15,000 ページです (JIS X 6931 (ISO/IEC19752) に基づく)。トナー残量が少なくなると、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されます。また、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあっても、感光体 (ドラム) の寿命が近づいたり、感光体 (ドラム) の寿命に達したりすると、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。メッセージが表示されたら、新しいプロセスカートリッジに交換してください。サプライ品については、「サプライ品一覧」(→ P.203) をご覧ください。

重要

- ・プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 30ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ、汚れ、かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

警告

- ・プロセスカートリッジを火中に投じないでください。粉塵爆発やトナー粉が跳ねてやけどの原因になります。
- ・使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス (→ P.86) をご利用ください。
- ・トナーが目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落してください。万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。けがをすることがあります。
- ・上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触ると、閉じる方向に自然落下することがあります。手をはさんでがをする原因になりますので、触れないようにしてください。
- ・プロセスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

⚠ 注意



- ・プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。他社製サプライ品を使用すると、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。



- ・プロセスカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- ・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。

交換に関する留意事項

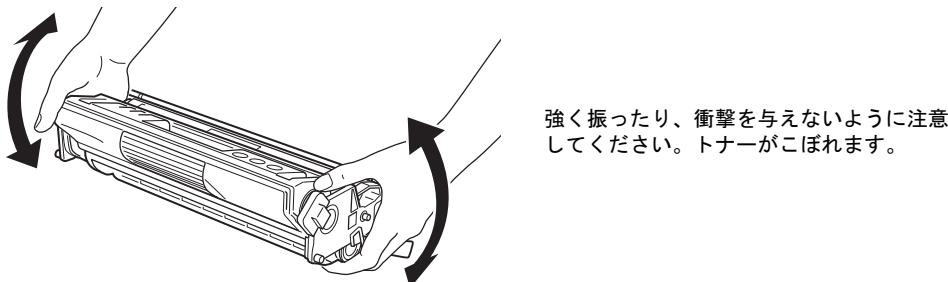
プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

- ・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当たらないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。
- ・純正品以外のプロセスカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージがオペレータパネルに表示される場合があります。

4

K004 カートリッジ エラー
フ。ロセスカートリッジ フィッチ

- ・プロセスカートリッジ内のトナーがかたよっていると、交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。
- ・交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
 - 縦のかすれや部分的なかすれがある場合
プロセスカートリッジを取り出して、次の図のように左右にゆっくり 7 ~ 8 回傾けるようにして振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき

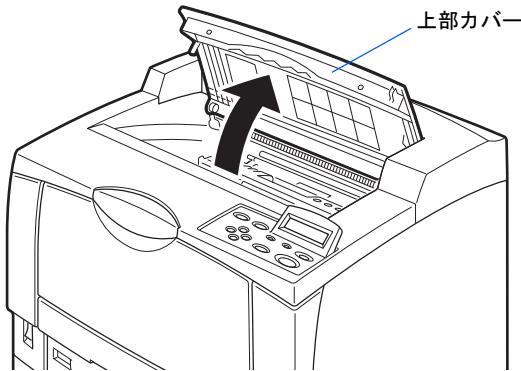


- 不鮮明な印刷状態が発生した場合
適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

交換方法

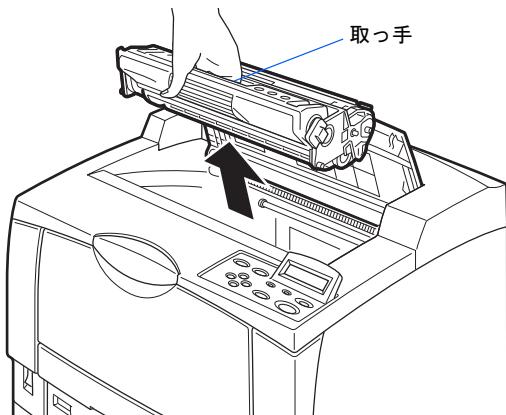
1 上部カバーを開きます。

上部カバーを開くときは、必ず上部カバーの中央部（くぼみ位置付近）を持って開いてください。



2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。

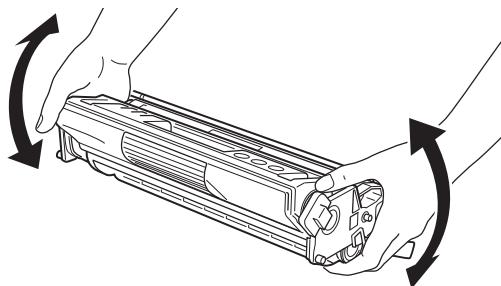
取り外したプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（「使用済みカートリッジの回収サービス」（→ P.86））をご利用ください。



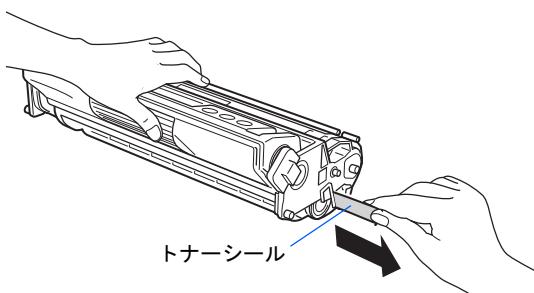
POINT

- トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みカートリッジは、新品カートリッジが入っていたアルミ袋に入れて、回収サービスに出してください。

- 3** プロセスカートリッジを梱包袋から取り出して、次の図のように左右にゆっくり7~8回傾けるようにして振ります。



- 4** トナーシールを引き抜きます。



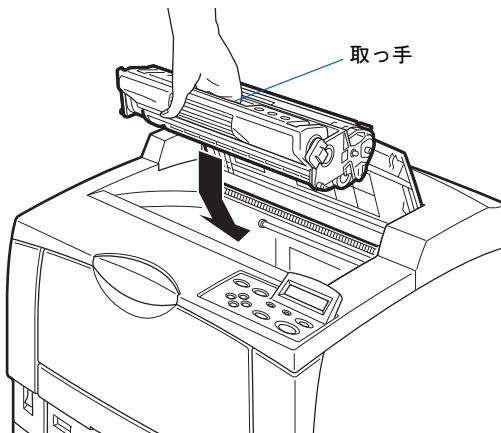
4

重要

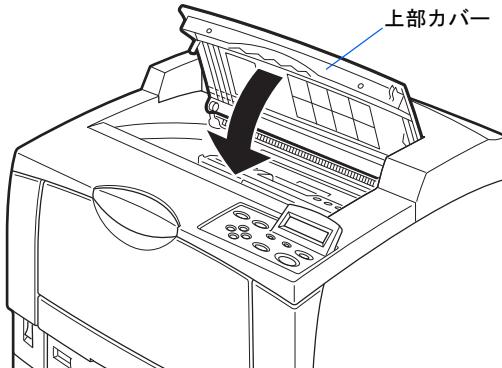
- トナーシールを引き抜くときは、プロセスカートリッジを平らな場所に置き、トナーシールを水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。トナーシールの全長は、約67cmです。
- トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、プロセスカートリッジに衝撃を与えたいためください。

- 5** プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入します。

取っ手を下に押し、所定の位置にセットします（手ごたえがあるまで押し込んでください）。



6 上部カバーを閉じます。



POINT

- 新しいプロセスカートリッジに交換した場合は、印刷可能状態になるまで、しばらく時間がかかります。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。

回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。

当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

- エコ受付センター

通話料無料：0120-300-693

受付時間：月曜日～金曜日 8:40～12:00、13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

- プリンタ消耗品無償回収サービス

<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点に注意してください。

- ・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当たらないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当たないよう、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ・寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- ・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えた
りしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用でき
ます）。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されてい
たアルミ袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光を避け、次の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 °C、湿度範囲 15 ~ 80%RH（ただし、結露のないこと）
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたもの近くに置
かないでください。
- ・小さなお子様の手が届かない所に保管してください。

5 プリンタを清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1 回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジ交換時や紙詰まりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

△ 注意



- ・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



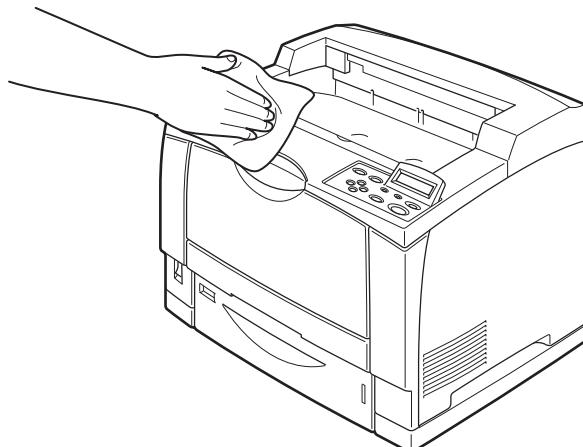
- ・電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

◀ 重要

- ・清掃時には、次の点にご注意ください。
- ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分くらいたって内部の温度が下がってから作業してください。
- ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形のおそれがあります。
- ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。
- ・トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。
- ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。

プリンタ外部を清掃する

カバー表面の汚れは、水または薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き取ります。その後、柔らかい乾いた布で拭きます。



プリンタ内部を清掃する

プリンタ内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

内部の点検

紙詰まりの処置や、プロセスカートリッジ交換（→ P.84）の後、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

1 上部カバーを開き、プロセスカートリッジをゆっくり引き上げます。

カートリッジ（ドラム）の劣化を防ぐため、カートリッジ全体に新聞紙などをかぶせて遮光してください。

上記操作の手順については、「交換方法」（→ P.84）の手順1～手順2をご覧ください。

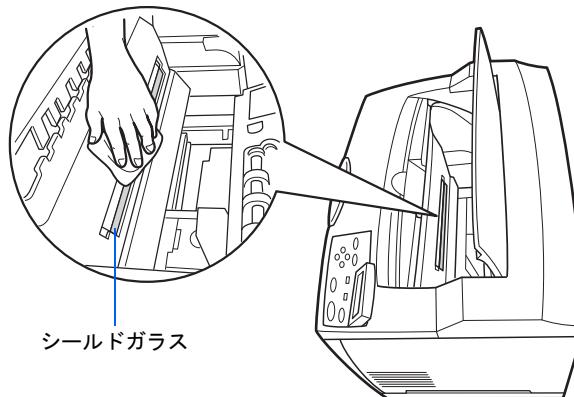
2 内部の点検を行います。

- ・紙片が残っていれば取り除きます。
- ・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかずれことがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

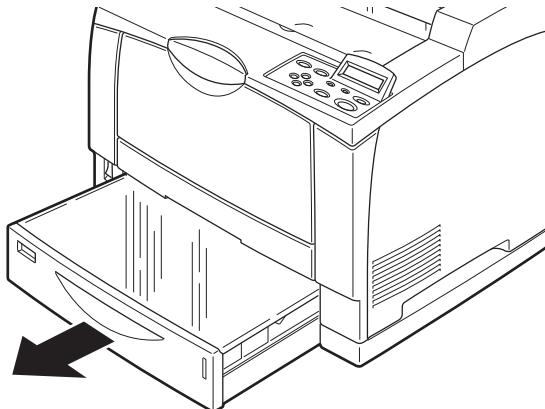
1 シールドガラスを、乾いた布でていねいに拭きます。



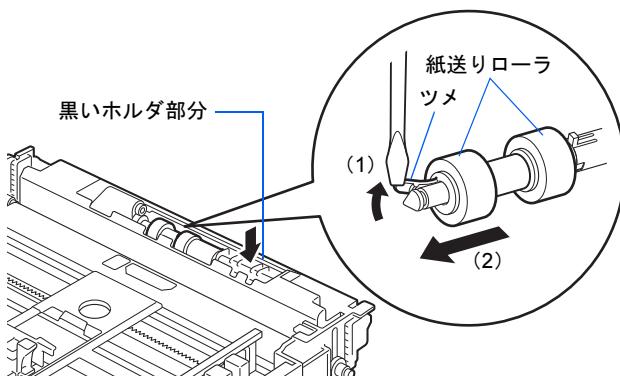
紙送りローラの清掃

紙粉により紙送り不良が発生することがあります。給紙カセット（オプションの拡張給紙ユニットを含む）を取り外し、紙送りローラ（ゴムローラ（2個））を清掃してください。

1 プリンタ本体から給紙カセットを引き抜きます。



2 (1) 黒いホルダ部分を押し下げたまま、紙送りローラのツメを広げて、 (2) 紙送りローラを給紙カセットの軸からゆっくり取り外します。



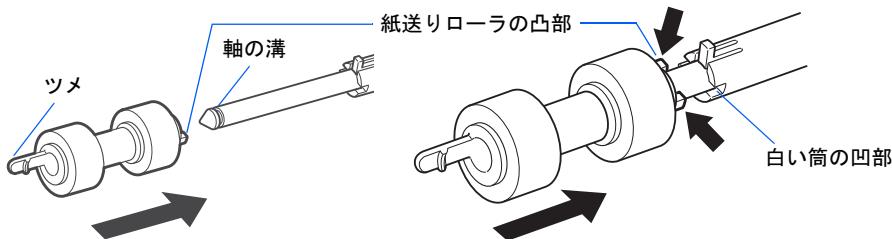
3 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭きます。

※ 重要

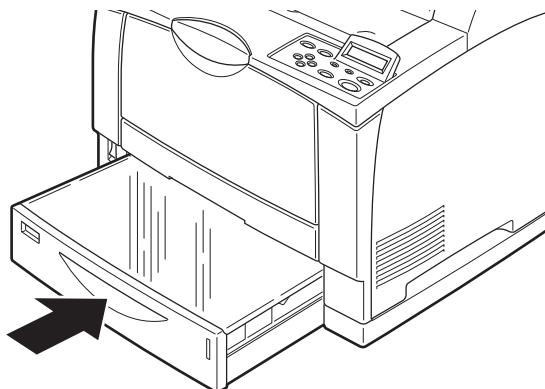
- ・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

4 紙送りローラの凸部側から、カセットの軸にゆっくりと差し込みます。

紙送りローラの凸部を白い筒の凹部に合わせるようにして、紙送りローラのツメを開き気味にしながらしっかりと奥まで差し込み、ツメを軸の溝に合わせます。



5 プリンタ本体の奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込みます。



4

給紙トレイの紙送りローラの清掃

年賀はがきなど、絵入り郵便はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。給紙トレイの紙送りローラを清掃してください。

1 プリンタ本体から給紙トレイを引き抜きます。

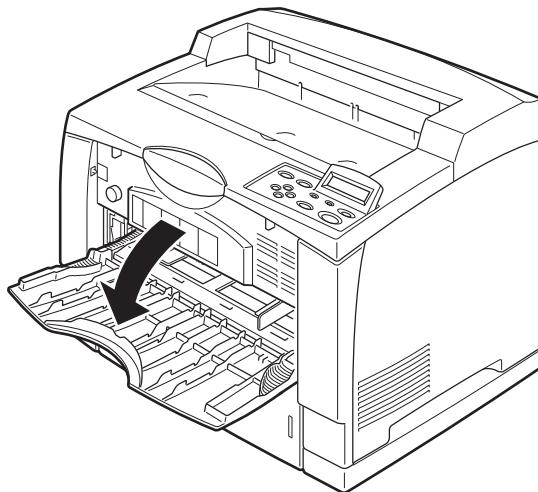
■給紙トレイを開いていない場合

給紙トレイのカバーを開きます。

次の給紙トレイを開いている場合の手順に進んでください。

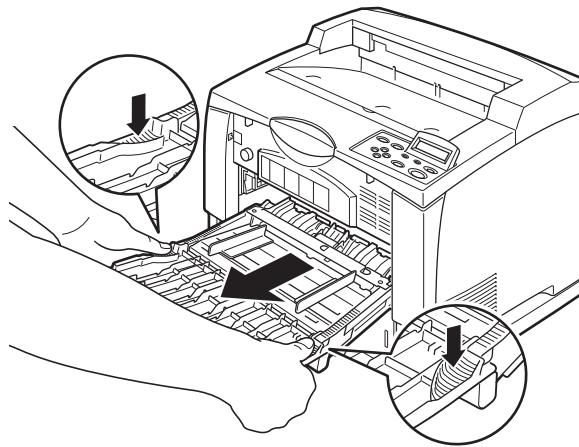
※重要

- ・給紙トレイ引き抜き用取っ手を持ち、引き抜くと落下する可能性があります。

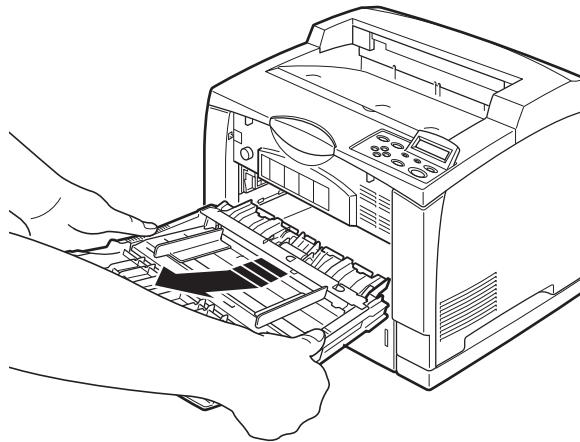


■給紙トレイを開いている場合

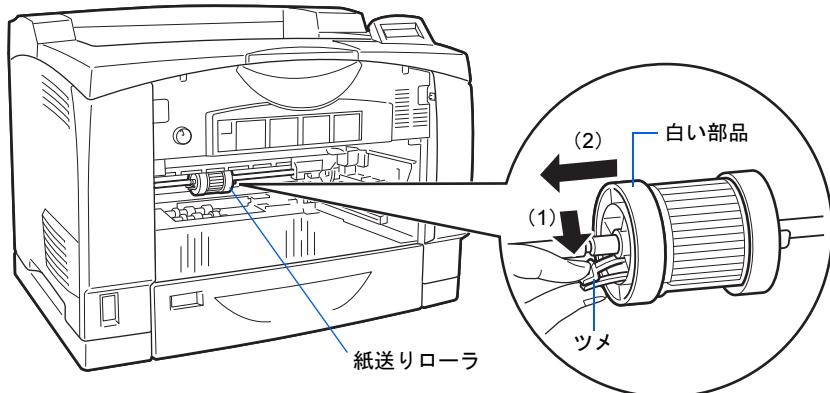
1. 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで引き出します。



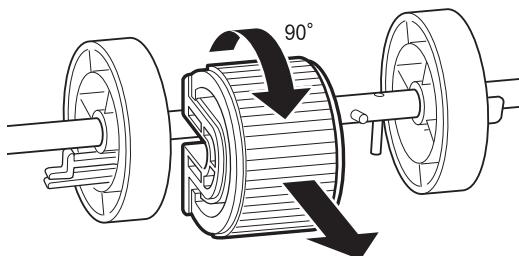
2. 紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて引き抜きます。



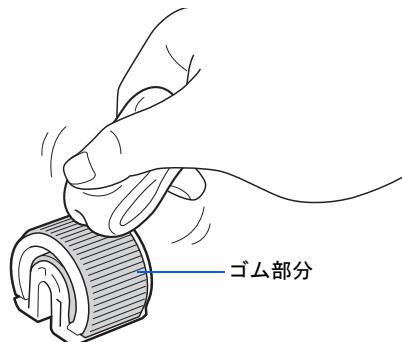
- 2** 図中の位置にある紙送りローラの、(1) 左側のツメを広げてロックを外し、
(2) 白い部品だけを止まる位置まで左にずらします。



- 3** 紙送りローラを左にずらし、手前に 90° 回転させてから取り外します。



- 4** 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴム部分をていねいに拭きます。

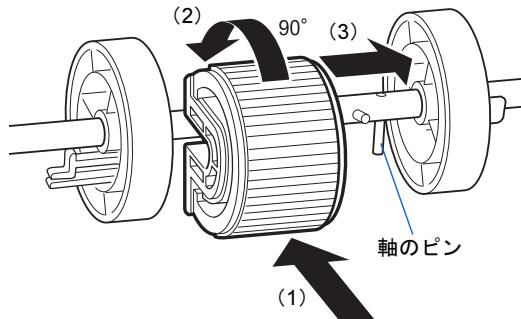


※ 重要

- ・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

5 紙送りローラを取り付けます。

1. 側面が平面になっているほうを右側にして、紙送りローラを水平に軸に押し込みます。
2. 紙送りローラを奥側に 90° 回転させます（紙送りローラの凹部に軸のピンがはまるよう調整してください）。
3. 紙送りローラを右にずらします。

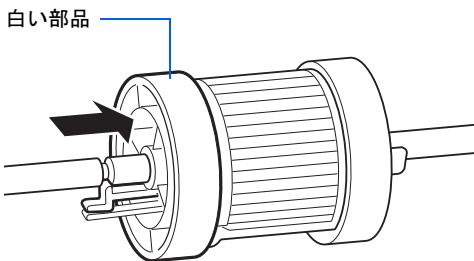


重要

- ・紙送りローラの側面は、片方が平らで、もう片方には溝があります。軸に押し込むときは、紙送りローラの向きに注意してください。

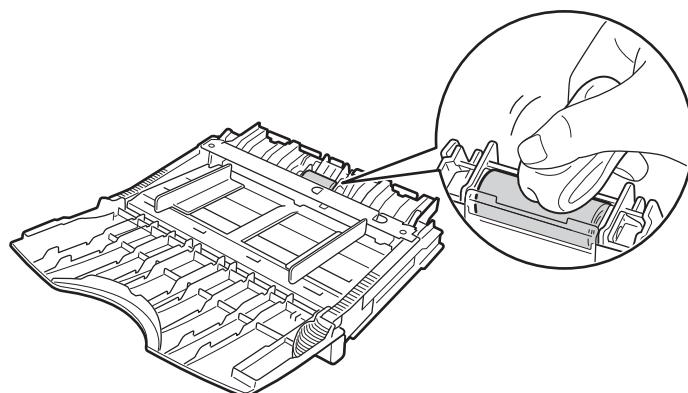
6 左側の白い部品を、右側（紙送りローラ側）へずらします。

しっかりと軸の溝にはまるまで、右側にずらしてください。



7 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、給紙トレイの図中の位置にあるゴム部分をていねいに拭きます。

回転させながら、まんべんなく拭いてください。

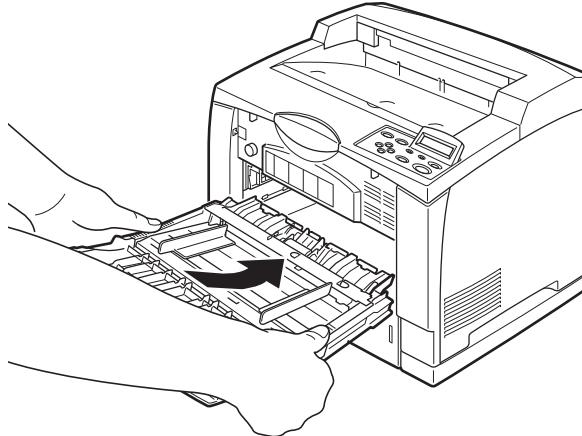


重要

- ・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

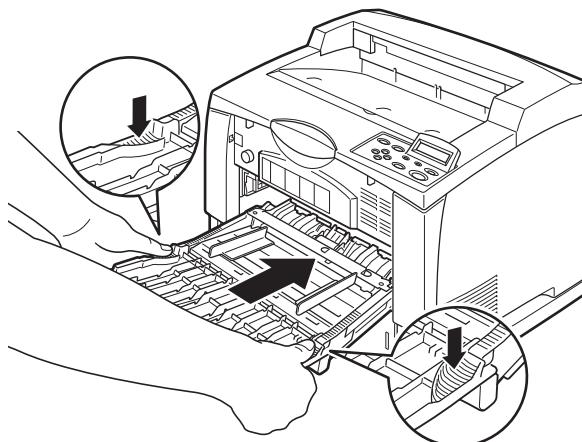
8 給紙トレイをプリンタ本体に取り付けます。

1. 給紙トレイを次の図のよう持ち、挿入します。



4

2. 給紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタ本体の奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。



6 プリンタを長時間使用しないとき

1 週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、包装紙に包んで、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠ 警告



- ・電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。
- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

⚠ 重要

- ・エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.174) をご覧ください。

2 用紙を取り出します。

給紙トレイや給紙カセットから用紙を取り出し、包装紙に包んで、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.131) をご覧ください。

7 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

△ 注意



- ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で XL-9440D は約 26kg、その他のプリンタは約 23kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

POINT

- ・拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタや拡張給紙ユニットは、傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動させる可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。拡張給紙ユニットの取り外しについては、「取り外し」（→ P.50）をご覧ください。

4

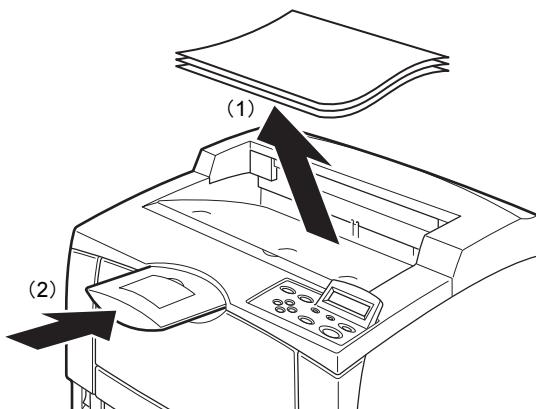
近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、となりの部屋に移動させたりする場合は、次の手順に従ってください。

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

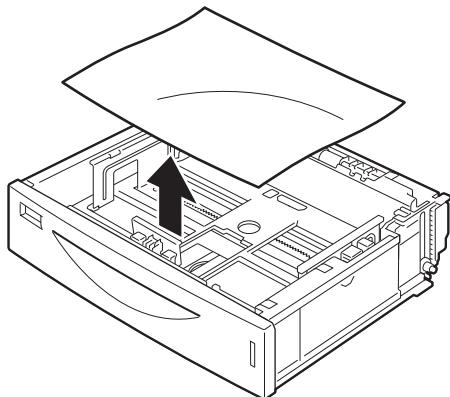
- ・電源スイッチを「○」側に倒します。
- ・電源コンセントまたは電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- ・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 (1) 排紙トレイに用紙がある場合は取り除き、(2) 排紙延長トレイが引き出されている場合は元に戻します。



3 給紙カセットと給紙トレイから用紙を取り除きます。

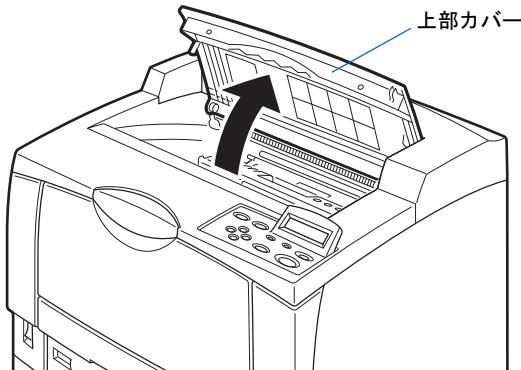
取り除いた用紙は、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.131) をご覧ください。



POINT

- 用紙の入っている給紙カセットは重いため、注意してプリンタから抜いてください。

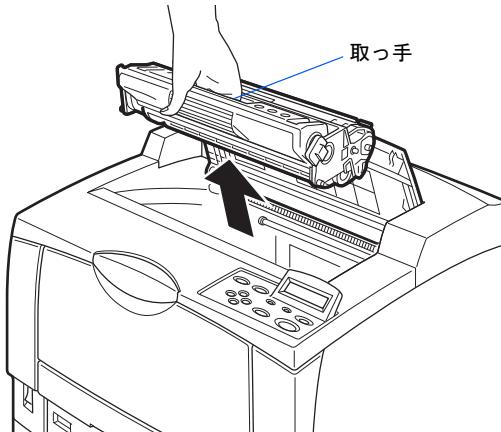
4 上部カバーを開きます。



※ 重要

- 内部の部品には、手を触れないでください。

5 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。



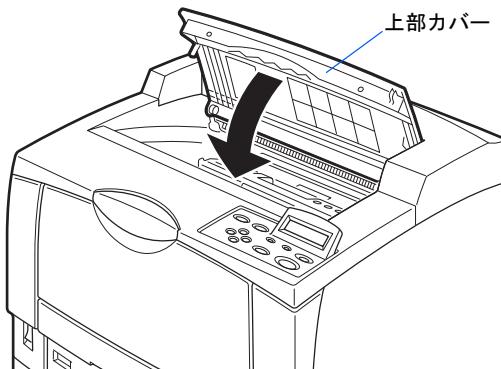
※重要

- ・プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- ・取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることができます。
- ・取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないよう、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などで包んでください。

POINT

- ・トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

6 上部カバーを閉じます。



7 適切な場所に設置し直します。

設置方法については、『設置ガイド』をご覧ください。

梱包して運搬する

本製品を運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。次の手順に従ってください。

- 1 「近くに移動する」(→ P.97) をご覧になり、用紙やプロセスカートリッジなどを取り外します。

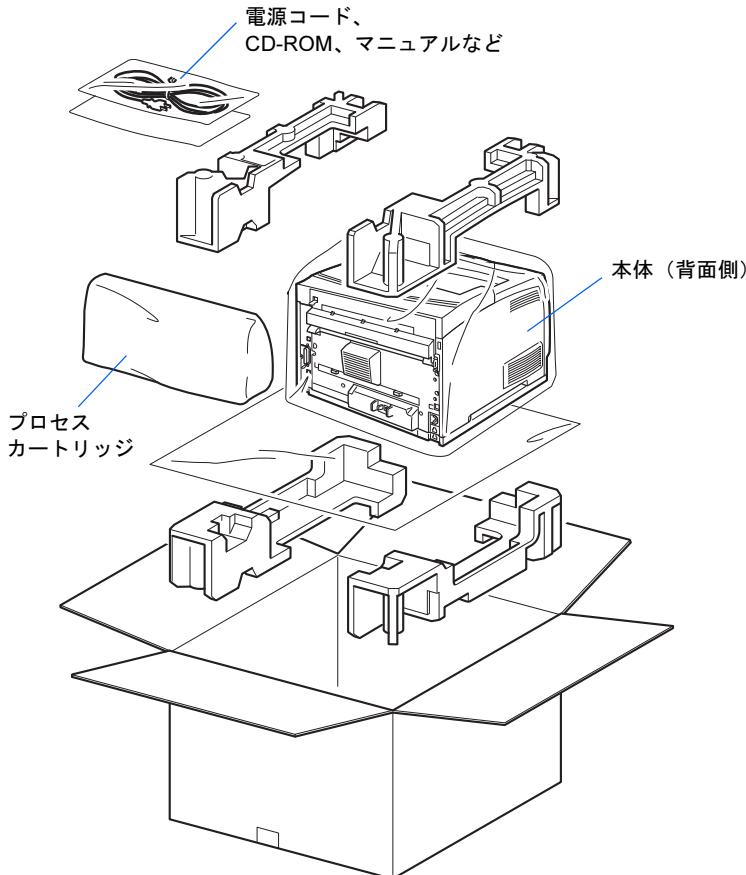
重要

- ・プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。

2 次の図のように梱包し直して、運搬します。

精密機械のため、梱包や運搬するときは次の点に注意し、ていねいに取り扱ってください。

- ・梱包時は、ご購入時に使用していた梱包材を使用してください。
- ・取り出したプロセスカートリッジはビニール袋などに入れて運搬してください。プロセスカートリッジの取り扱いについては、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(→ P.87) をご覧ください。



POINT

- ・XL-9440D は両面ユニットを標準搭載しています。
- ・本体のイラストは XL-9440E/9440/9380E/9380 となります。

Memo

5

第5章 オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

| | |
|-------------------------|-----|
| 1 各部の名称と機能 | 104 |
| 2 液晶ディスプレイの表示内容 | 108 |
| 3 操作方法 | 112 |
| 4 代表的な設定項目とその操作方法 | 122 |

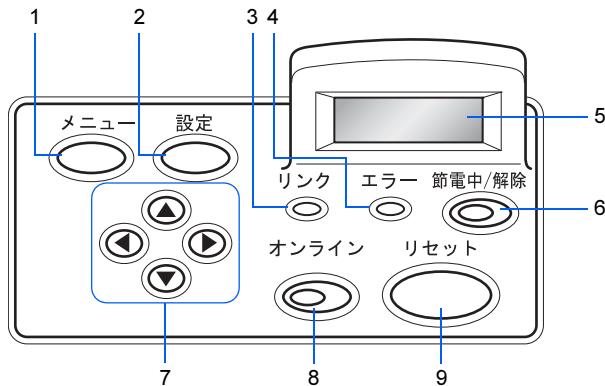
1 各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

なお、オペレータパネルは、機種によってスイッチ名や仕様の一部が異なります。

- ・「XL-9440D/9440E/9380E のオペレータパネル」(→ P.104)
- ・「XL-9440/9380 のオペレータパネル」(→ P.106)

XL-9440D/9440E/9380E のオペレータパネル



1 メニュースイッチ

プリンタをメニュー モードにします。メニュー モードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニュー モードを終了するときも使用します。詳しくは、「操作方法」(→ P.112)をご覧ください。

2 設定スイッチ

メニュー モードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。

液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押すと、プリンタはオフライン状態になり、総印刷ページ数、プリンタの装置構成が、液晶ディスプレイに表示されます。

```
XXXXXXへ。ーシ : A4 L E F  
F D R = 1 / D U P アリ
```

情報を確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。

3 リンクランプ

ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。

- ・点灯：ネットワークと接続されていることを示します。
- ・消灯：ネットワークと接続されていないことを示します。

4 エラーランプ

プリンタの異常を知らせます。

- ・点灯：プリンタでエラーが発生していることを示します。
- ・消灯：プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。

5 液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などが表示されます(1行16文字の2段に表示されます)。

6 節電中ランプ／解除スイッチ

節電中ランプは、プリンタの節電状態を次のように知らせます。

- ・点灯：プリンタは節電状態です。解除スイッチを押すと、節電状態を解除します。
- ・消灯：プリンタは節電状態ではありません。

POINT

- ・「エミュレーションセッティ」(→ P.117) で「ESC/P」に設定している場合は、プリンタがオフライン状態のときに解除スイッチを押すと、未処理のデータを印刷します。

7 ▲▼◀▶スイッチ

メニュー モードのときに、設定項目、および設定値の選択に使用します。詳しくは、「操作方法」(→ P.112) をご覧ください。

なお、液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「▲」「◀」「▶」スイッチを押すと、次のメニューが液晶ディスプレイに表示されます。

- ・「▲」スイッチ：「システム インサツ」(→ P.114)
- ・「◀」スイッチ：「ショキ セッティ」(→ P.114)
- ・「▶」スイッチ：「インサツ セッティ」(→ P.117)

8 オンラインランプ／オンラインスイッチ

オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。

- ・点灯：印刷できる状態、または印刷中です。
- ・点滅：データ受信中です。
- ・消灯：印刷できない状態です。

9 リセットスイッチ

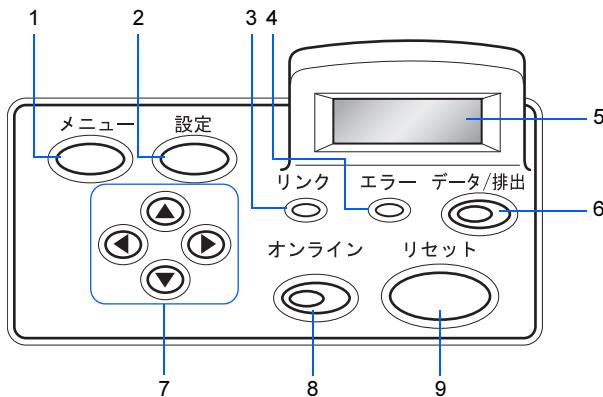
印刷を中止します。また、テスト印刷(連続印刷)を中断します。

重要

- ・液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「▲」「◀」「▶」「設定」「オンライン」スイッチのいずれかを1回押すと、メニュー モードまたはオフライン状態に移行します。この状態では印刷データを受け付けませんが、このまま、オペレータパネルを操作せずに90秒経過すると、以降は印刷データを受信した時点で印刷が開始されるようになります。

なお、印刷終了後はオンライン状態に戻ります。

XL-9440/9380 のオペレータパネル



1 メニュースイッチ

プリンタをメニュー mode にします。メニュー mode では、プリンタに関する各種の設定を行います。メニュー mode を終了するときも使用します。詳しくは、「操作方法」(→ P.112) をご覧ください。

2 設定スイッチ

メニュー mode のときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。

液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押すと、プリンタはオフライン状態になり、総印刷ページ数、プリンタの装置構成が、液晶ディスプレイに表示されます。

```
XXXXXXヘ° 一シ : A4 L E F
FDR=1/DUPアリ
```

情報を確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。

3 リンクランプ

ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。

- 点灯：ネットワークと接続されていることを示します。
- 消灯：ネットワークと接続されていないことを示します。

4 エラーランプ

プリンタの異常を知らせます。

- 点灯：プリンタでエラーが発生していることを示します。
- 消灯：プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。

5 液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などが表示されます(1行16文字の2段に表示されます)。

6 データランプ/排出スイッチ

データランプは、印刷データの受信状態を次のように知らせます。また、排出スイッチは未処理のデータがある場合、スイッチを押すと強制的に印刷を行います。

- 点灯：プリンタ内にデータが残っている状態です。
- 点滅：データ受信中です。
- 消灯：データがない状態です。

7 ▲▼◀▶スイッチ

メニューモードのときに、設定項目、および設定値の選択に使用します。詳しくは、「操作方法」(→ P.112) をご覧ください。

なお、液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「▲」「◀」「▶」スイッチを押すと、次のメニューが液晶ディスプレイに表示されます。

- ・「▲」スイッチ：「システム インサツ」(→ P.114)
- ・「◀」スイッチ：「ショキ セッティ」(→ P.114)
- ・「▶」スイッチ：「インサツ セッティ」(→ P.117)

8 オンラインランプ／オンラインスイッチ

オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。

- ・点灯：印刷できる状態、または印刷中です。
- ・消灯：印刷できない状態です。

9 リセットスイッチ

印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。

2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。

エラーが発生するとエラーランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

POINT

- メッセージ（エラーを含む）の表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）をご覧ください。

電源を入れたときの表示内容

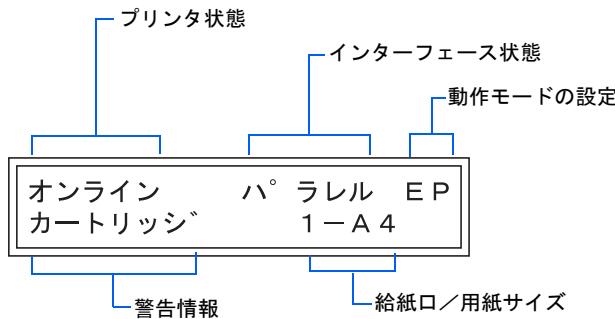
本製品の電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。電源を入れたときの表示内容については、『設置ガイド』をご覧ください。

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

POINT

- ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、次をご覧ください。
 - 「エラーメッセージ一覧」（→ P.174）
 - 「警告メッセージ一覧」（→ P.183）



表：表示内容一覧

| 項目 | 表示内容 | 説明 |
|------------|--|---|
| プリンタ状態 | プリンタの状態が表示されます。 | |
| | オンライン | オンライン状態または印刷データを受信中です。 |
| | オフライン | オフライン状態です。 |
| | インサツチュウ | 印刷を行っています。 |
| | ジュンビ | ウォームアップ中です。 |
| | クールダウン | クールダウン中〔注1〕です。 |
| インターフェース状態 | セツデン | 節電中です。 |
| | データを受信したポート状態が表示されます（データを受信していないときは表示されません）。 | |
| | パラレル | パラレルポート経由でパソコンと通信しています。 |
| | LAN | LAN ポート経由でパソコンと通信しています。 |
| | USB | USB ポート経由でパソコンと通信しています。 |
| | 動作モードの設定 | プリンタの動作モードが表示されます。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます（初期値はエミュレーション設定「カイジョ」）。 |
| 動作モードの設定 | EP | ESC/P モード |
| | HX | HEX ダンプ印刷モード |
| | 表示なし | Printia XL ドライバの印刷動作中です。 |
| | MW | Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中です。 |
| | MR | Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中です。 |
| | 警告情報 | 警告情報が表示されます。詳しくは、「警告メッセージ一覧」（→ P.183）をご覧ください。 |
| 警告情報 | 表示なし | 警告なし |
| | データアリ | 未処理データがある状態です。〔注2〕 |
| | カセットカクニンn | カセットなし状態です。 |
| | カートリッジ | プロセスカートリッジの交換時期が近づいた状態です。〔注3〕 |
| | ティキコウカン 〔注4〕 | 定期交換キットの交換時期です。 詳しくは、「定期交換部品について」（→ P.202）をご覧ください。 |
| | 600K コウカン 〔注5〕 | 600K 交換キットの交換時期です。 詳しくは、「定期交換部品について」（→ P.202）をご覧ください。 |
| | ソウチジュミョウ 〔注6〕 | プリンタが装置寿命に近づいた状態です。 残り寿命が 20%（消耗率 80%）になると、20%、10%、0% と 10% 単位で残り寿命を表示します。 |

表：表示内容一覧

| 項目 | 表示内容 | 説明 |
|-----------|------|--------------------------|
| 給紙口／用紙サイズ | | 印刷中の給紙口と用紙サイズが表示されます。 |
| 【給紙口】 | | |
| 1- | | 給紙カセット 1 から、給紙、印刷中です。 |
| 2- | | 給紙カセット 2 から、給紙、印刷中です。 |
| 3- | | 給紙カセット 3 から、給紙、印刷中です。 |
| M- | | 給紙トレイから、給紙、印刷中です。 |
| M* | | 給紙トレイ（ダイヤル設定）から給紙、印刷中です。 |
| 【用紙サイズ】 | | |
| A3 | | A3 用紙を給紙、印刷中です。 |
| A4 | | A4 用紙を給紙、印刷中です。 |
| A5 | | A5 用紙を給紙、印刷中です。 |
| B4 | | B4 用紙を給紙、印刷中です。 |
| B5 | | B5 用紙を給紙、印刷中です。 |
| LG | | リーガル用紙を給紙、印刷中です。 |
| LTR | | レター用紙を給紙、印刷中です。 |
| ハガキ | | 郵便はがきを給紙、印刷中です。 |
| ユーザ | | ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。 |
| ユーザ L | | 長尺紙を給紙、印刷中です。 |

- 注 1 : 大量の連続印刷中や、異なる用紙設定に切り替えて印刷する場合に、定着器の過熱を防ぐために冷やしています。
- 注 2 : XL-9440D/9440E/9380E の場合、「エミュレーションセッティ」(→ P.117) で「ESC/P」を選択していると、次の表示になります。
「データガ アリマス」
- 注 3 : オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「カートリッジ ジュンビ」: プロセスカートリッジの交換準備
「カートリッジ コウカン」: プロセスカートリッジの交換時期
- 注 4 : オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「テイキコウカンキット」
- 注 5 : オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「600K コウカンキット」
- 注 6 : オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「ソウチジュミョウ ノコリ xx%」(xx : 20, 10)

節電時の表示内容 (XL-9440D/9440E/9380E のみ)

XL-9440D/9440E/9380E の場合、メニュー モードの「ショキ セッティ」→「ソノタ ノ セッティ」→「セツデン モード」(→ P.116) で選択した設定により、節電状態に移行したときの表示が異なります。

- ・「セツデン 1」を選択している場合

印刷待機状態のまま、設定時間が経過すると、液晶ディスプレイに「セツデン」と表示され、節電中ランプが点灯します。

- ・「セツデン 2」を選択している場合

印刷待機状態のまま、設定時間が経過すると、液晶ディスプレイに「セツデン」といったん表示（最長で 20 分間）された後に表示が消え、オンラインランプが消灯して、節電中ランプが点灯します。

節電時は、印刷データを受信するか、解除スイッチを押すことにより、ウォームアップが開始され、オンライン状態となります。

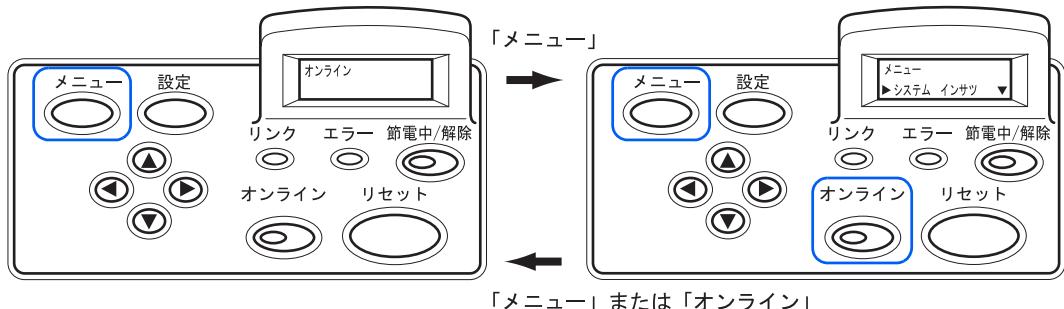
3 操作方法

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニュー mode で行います。

基本的な操作方法

メニュー mode に入るときは、「メニュー」スイッチを押します。

メニュー mode を終了させるには、「メニュー」または「オンライン」スイッチを押します。



[注] ここでは例として、XL-9440D/9440E/9380E のオペレータパネルのイラストを使用しています。

スイッチ名が一部異なりますが、XL-9440/9380 のオペレータパネルでも基本的な操作方法は同じです。

メニュー mode では、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

POINT

- ・ プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニュー mode に移行します。ただし、印刷中は、メニュー mode には移行できません。
印刷中であることは、オペレータパネルが次のように動作していることで判断できます。
 - ・ XL-9440D/9440E/9380E の場合：オンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示
 - ・ XL-9440/9380 の場合：データランプが点灯
- ・ 電源を入れてからしばらくたつと、オペレータパネルに「セッデン」と表示されることがあります、メニュー mode に移行できます。
- ・ オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。詳しくは、「オペレータパネルの操作制限」(→ P.128) をご覧ください。

ハ° スワート°

▶ [__]

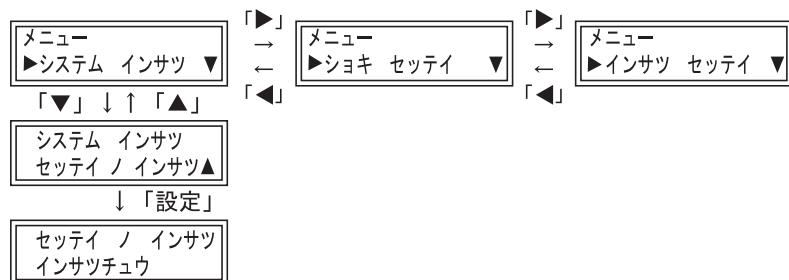
使用するスイッチ

メニュー モードでは、次のスイッチを使用します。

表：使用するスイッチ

| スイッチ | 説明 |
|---------------|--|
| 「◀」または「▶」スイッチ | 同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えるときにも使用します。 |
| 「▲」または「▼」スイッチ | 上のレベルまたは下のレベルに移動します。 |
| 「設定」スイッチ | 表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。 |

■各スイッチによる切り替え例



5

スイッチの使い分けと設定例

「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は「▲」「▼」スイッチを使用します。

IP アドレスの設定を例に、設定方法を説明します。

1 「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。

| |
|--------------------|
| IPアド ^{レス} |
| * 0. 0. 0. 0 |

2 「▲」(加算)、「▼」(減算)スイッチで値を設定します。

| |
|--------------------|
| IPアド ^{レス} |
| 192. 0. 0. 0 |

3 各ブロックの設定が終わったら「◀」「▶」スイッチでカーソルを左端に移動し、「設定」スイッチを押します。

| |
|--------------------|
| IPアド ^{レス} |
| *192. 168. 0. 10 ▲ |

4 「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押します。

プリンタのリセット

「IP アドレス設定」および「LAN 設定」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニュー mode を終了した場合、本製品はリセットされます。

テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

設定項目一覧

メニュー mode で設定できる項目の一覧は次のとおりです。設定値に記載された「*」および数値は、ご購入時に登録される初期設定を示します。

各項目を選択して値を設定する方法については、「基本的な操作方法」（→ P.112）をご覧ください。

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） |
|-----------|--------------------|--------------------|------------------|---|---|
| システム インサツ | セッティ インサツ | | | | 現在のプリンタの設定内容を印刷します。 |
| | HEX ダンプイ ンサツ [注1] | | | | ヘキサダンプ形式で印刷します。 |
| | テス ト イン サツ | | 5%サンプル | A4 サイズ横送り（□LEF）、300dpi で印字率約5%のテスト印刷（→P.123）をします。 | |
| | ショウモウヒ ン レポート | | ESC/P イン サツ [注1] | ESC/P モードで使用する文字をエミュレー ション解像度でテスト印刷します。 | |
| ショキ セッ ティ | IP アドレス セッティ [注 2] | DHCP ジドウ シュトク | * | セッティ | IP アドレス、サブネットマスク、ゲート ウェイを DHCP により自動取得します。 |
| | | | | カイジョ | IP アドレス、サブネットマスク、ゲート ウェイを DHCP により自動取得しません。 |
| | | IP アドレス[注 3] | | XXX.XXX.X XX.XXX | IP アドレスを設定します。 |
| | | サブネットマ スク [注 3] | | XXX.XXX.X XX.XXX | サブネットマスクを設定します。 |
| | | ゲートウェイ [注 3] | | XXX.XXX.X XX.XXX | ゲートウェイを設定します。 ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。 |
| | LAN セッティ | MAC アドレス | | 表示 | MAC アドレスを表示します。 |
| | | Ethernet タイプ [注 7] | * | ジドウ | 自動検出して動作します。 |
| | | | | 100Mbps Full | 100Mbps (Full) で動作します。 |
| | | | | 100Mbps Half | 100Mbps (Half) で動作します。 |
| | | | | 10Mbps | 10Mbps で動作します。 |
| | | TCP/IP プロトコル | * | コウコウ | TCP/IP を有効にします。 |
| | | | | ムコウ | TCP/IP を無効にします。 |

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） | |
|-------------------------|--------------|---------------------|---------------|--|---|--|
| ショキ セッティ | LAN セッティ | ポートバンゴウ [注2] | インサツポートバンゴウ | 9313 | 印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。 [1 ~ 65535] | |
| | | | ケンサクポートバンゴウ | 9313 | ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。 [1 ~ 65535] | |
| | | サービス セッティ [注2] [注9] | プリンタケンサク | * | ユウコウ | ネットワーク内のプリンタを検索する機能を有効にします。 |
| | | | | | ムコウ | ネットワーク内のプリンタを検索する機能を無効にします。 |
| | | | インターネットサービス | * | ユウコウ | Webブラウザでプリンタの状態を確認することや設定を更新することができます。 |
| | | | | | ムコウ | Webブラウザでのプリンタの状態確認や、設定が無効になります。 |
| | | | SNMP | * | ユウコウ | SNMPを有効にします。 |
| | | | | | ムコウ | SNMPを無効にします。 |
| | | | プリンタキドウツウチ | * | ユウコウ | プリンタ起動時にネットワークに通知します。 |
| | | | | | ムコウ | プリンタ起動時にネットワークに通知しません。 |
| | | | BPP インサツ | * | ユウコウ | Printianavi ネットワークポートモニタでのLANポート印刷を有効にします。 |
| | | | | | ムコウ | Printianavi ネットワークポートモニタでのLANポート印刷を無効にします。 |
| | | | IPP インサツ | * | ユウコウ | IPPによる印刷を有効にします。 |
| | | | | | ムコウ | IPPによる印刷を無効にします。 |
| | | | LPR インサツ | * | ユウコウ | LPR印刷を有効にします。 |
| | ムコウ | LPR印刷を無効にします。 | | | | |
| RAW インサツ | * | ユウコウ | RAW印刷を有効にします。 | | | |
| | | ムコウ | RAW印刷を無効にします。 | | | |
| アクセスカンリ [注2] [注8] [注10] | | | ユウコウ | プリンタにアクセスするホストをIPアドレスで制限します（IPアドレスの範囲は「Printia LASER Internet Service」で設定します）。 | | |
| | | * | ムコウ | プリンタへのアクセスを制限しません。 | | |
| ポート セッティ | パラレルポート セッティ | ソウホウコウモード | * | セッティ | 双方向インターフェースを有効にします。 | |
| | | | | カイジョ | 双方向インターフェースを無効にします。 | |
| | | INIT ジュシン | * | ユウコウ | INIT信号を受信したときの初期化動作を有効にします。 | |
| | | | | ムコウ | INIT信号を受信したときの初期化動作を無効にします。 | |
| | | タイムアウトジカン | 30 ビョウ | 一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 [10 ~ 3600秒] 10秒単位 | | |
| | | USB ポート セッティ | タイムアウトジカン | 30 ビョウ | 一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 [10 ~ 3600秒] 10秒単位 | |

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） |
|----------|------------|--|------|---|---|
| ショキ セッティ | カンリ／ショキカ | メニュー／ウサ セイゲン [注 9] | | セッティ * カイジョ | オペレータパネルをロックし、パスワードの入力を要求します。 オペレータパネルの操作が有効になります。 |
| | | LAN ショキカ | | | LAN に関する設定値をご購入時の値に戻します。 |
| | | セッティ ショキカ | | | すべての設定値をご購入時の値に戻します（LAN に関する設定を除きます）。 |
| | | パスワード ヘンコウ | | | オペレータパネルをロックしているときに要求されるパスワードを変更します。パスワードは4桁以内の数字を入力します。 |
| | | ショウモウヒン リレキショキカ | | | 消耗品レポートに表示される消耗品の交換履歴および警告発生履歴をクリアします。 |
| | ソノタ ノ セッティ | セツデン モード (XL-9440D/ 9440E/9380E のみ) | | セツデン 1 * セツデン 2 | 印刷待機状態のまま、「セツデン ジカン」(→ P.116) で設定した時間を経過すると、自動的に定着器をオフにします。 印刷待機状態のまま、「セツデン ジカン」(→ P.116) で設定した時間が経過すると、自動的に定着器をオフにし、所定の時間（最長で 20 分）後に、液晶ディスプレイの表示をオフにします。 |
| | | セツデン ジ カン (XL-9440D/ 9440E/9380E の場合) | | * 10 ピョウ 1 ピン 15 ピン 30 ピン 60 ピン 240 ピン | 設定した時間が経過すると、節電状態である「セツデン モード」(→ P.116) に遷移します。 |
| | | セツデン ジ カン (XL-9440/9380 の場合) | | 1 ピン * 3 ピン 15 ピン 30 ピン 60 ピン 240 ピン | 設定した値が経過すると、節電状態に遷移します。 |
| | | ブザー | | * ON OFF | エラー時にブザーを鳴動させます。 エラー時にブザーを鳴動させません。 |
| | | タッチオン | | * ON OFF | スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。 スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。 |
| | | インジノウド チョウセイ | | 8 | 印刷濃度を設定します。 [0 ~ 15] 数値が大きくなると濃くなります。 |

表：設定項目一覧

| レベル 1 | レベル 2 | レベル 3 | レベル 4 | 設定値 | 機能（範囲） | |
|-----------|------------|---------------|--|--------|---|---|
| ショキ セッティ | ソノタ ノ セッティ | シュソウサ ホウコウ イチ | キュウシトレイ カセット 1 カセット 2 [注 4] カセット 3 [注 4] カセット 4 [注 4] リョウメンユニット [注 5] | 0.0 mm | 給紙トレイ、各カセット、両面ユニットのスキヤンする方向（横ライン）の位置を調整します。 [-3.5 ~ 3.5 mm] 0.5 mm単位 | |
| | | フクソウサ ホウコウ イチ | キュウシトレイ カセット 1 カセット 2 [注 4] カセット 3 [注 4] カセット 4 [注 4] リョウメンユニット [注 5] | 0.0 mm | 「リョウメンユニット」の中にレベル 5 として、次のメニューがあります（設定値および設定範囲は他のメニューと同じです）。 <ul style="list-style-type: none"> キュウシトレイ カセット 1 カセット 2 カセット 3 カセット 4 給紙トレイ、各カセット、両面ユニットの紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。 [-3.5 ~ 3.5 mm] 0.5 mm単位 | |
| | | エミュレーションセッティ | | * | 「リョウメンユニット」の中にレベル 5 として、次のメニューがあります（設定値および設定範囲は他のメニューと同じです）。 <ul style="list-style-type: none"> キュウシトレイ カセット 1 カセット 2 カセット 3 カセット 4 | |
| | | カートリッジ ジュンピ | | * | カイジョ ESC/P [注 11] | プリントを XL ドライバモードで動作させます。 プリントを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。 |
| | | | | * | ゾッコウ テイシ | プロセスカートリッジの交換時期が近づいても印刷を停止しません。 プロセスカートリッジの交換時期が近づくと印刷を停止します。 |
| インサツ セッティ | キュウシグチ | | | * | カセット 1 カセット 2 [注 4] カセット 3 [注 4] カセット 4 [注 4] キュウシトレイ | 標準の給紙カセットから給紙します。 2 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット上段）から給紙します。 3 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット中段）から給紙します。 4 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット下段）から給紙します。 給紙トレイから給紙します。 |

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） | |
|------------------------|------------------|----------------|------|--------|---|--|
| インサツ セッティ | ジドウキュウ シ セッティ | キュウシトレ イ | | * | ユウコウ | 自動給紙を行います。 |
| | | カセット1 | | | ムコウ | 自動給紙を行いません。 |
| | | カセット2 [注 4] | | | | |
| | | カセット3 [注 4] | | | | |
| | | カセット4 [注 4] | | | | |
| | ヨウシ シュ ルイ | キュウシトレ イ | | * | ドライバユ ウセン | ドライバで設定した用紙種類に設定しま す。 |
| | | カセット1 | | | フツウ | 用紙種類を普通紙／再生紙（→ P.132）に 設定します。 |
| | | カセット2 [注 4] | | | フツウ L | 薄めの普通紙／再生紙、あるいはカールし やすい普通紙／再生紙での印刷トラブル を軽減するために、トナーの定着温度を少 し低く設定します。 |
| | | カセット3 [注 4] | | | フツウ H | 厚めの普通紙／再生紙、あるいはトナーが 定着しにくい普通紙／再生紙での印刷ト ラブルを軽減するために、トナーの定着温 度を少し高く設定します。 |
| | | カセット4 [注 4] | | | アツガミ 1 | 用紙種類を厚紙1（→ P.132）に設定しま す。 |
| | | | | | アツガミ 2 | 用紙種類を厚紙2（→ P.132）に設定しま す。 |
| | | | | | OHP | 用紙種類をOHP（→ P.132）に設定しま す。なお、OHPは、給紙トレイとカセット1か ら印刷可能です。 |
| | | | | | ラベルシ 1 | 用紙種類をラベル紙1（→ P.132）に設定しま す。なお、ラベル紙1は、給紙トレイか らのみ印刷可能です。 |
| | | | | | ラベルシ 2 | 用紙種類をラベル紙2（→ P.132）に設定しま す。なお、ラベル紙2は、給紙トレイか らのみ印刷可能です。 |
| | キュウシトレ イ サイズ | | | * | A4 LEF | A4 サイズを横置きに設定します。 |
| | | | | | A4 SEF | A4 サイズを縦置きに設定します。 |
| | | | | | B5 LEF | B5 サイズを横置きに設定します。 |
| | | | | | A5 LEF | A5 サイズを横置きに設定します。 |
| | | | | | リーガル SEF | リーガルサイズを縦置きに設定します。 |
| | | | | | レター LEF | レターサイズを横置きに設定します。 |
| | | | | | ハガキ LEF | はがきサイズを横置きに設定します。 |
| | | | | | ユーザティ ギ | ユーザ定義サイズに設定します。このとき の用紙サイズは、「ユーザ定義サイズ」で 設定します。 |
| | | | | | A3 SEF | A3 サイズを縦置きに設定します。 |
| | | | | | B4 SEF | B4 サイズを縦置きに設定します。 |
| ユーザティギ サイズ [注 1] | ユーザティギ ハバ | | | 297 mm | 給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイ ズ用紙の横の長さを指定します。 [100 ~ 297 mm] 1 mm単位 | |
| | ユーザティギ ナガサ | | | 420 mm | 給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイ ズ用紙の縦の長さを指定します。 [148 ~ 420 mm] 1 mm単位 | |

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） |
|--------------|----------------------------|------|------|-----------------|--|
| インサツ セッティ | リョウメン インサツ [注 5] | | | * カイジョ | システム印刷時およびESC/P印刷時に両面印刷を行いません（片面印刷）。 |
| | | | | セッティ | システム印刷時およびESC/P印刷時に両面印刷を行います。 |
| | インサツ ホ ウコウ [注 1] | | | * タテ | 用紙の短い辺に対して平行に印刷します。 上端／左端の余白は固定になります。 |
| | | | | タテヨハク | 用紙の短い辺に対して平行に印刷します。 縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。 |
| | | | | ヨコ | 用紙の長い辺に対して平行に印刷します。 上端／左端の余白は固定になります。 |
| | | | | ヨコヨハク | 用紙の長い辺に対して平行に印刷します。 横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。 |
| | シュクショウ インサツ [注 1] | | | * 100% | 縮小せずに印刷します。 |
| | | | | 75% | 75%に縮小して印刷します。 |
| | | | | 70% | 70%に縮小して印刷します。 |
| | | | | リストイン サツ A4 | ストックフォーム用の印刷データを 75% に縮小して A4 用紙に横方向で印刷します。 |
| | | | | リストイン サツ B4 | ストックフォーム用の印刷データを B4 用 紙に横方向で印刷します。 |
| | コピー マイ スウ [注 1] | | | 1 マイ | 印刷する部数を設定します。 [1 ~ 999 枚] |
| | トジシロ ホ ウコウ [注 1] | | | * チョウヘン トジ | 長辺側をとじしろとします。 |
| | | | | タンヘン トジ | 短辺側をとじしろとします。 |
| | トジシロ モード [注 1] | | | * ヒダリ／ウ エ トジ | 左側、または上側をとじます。 |
| | | | | ミギ／シタ トジ | 右側、または下側をとじます。 |
| | トジシロ リョウ [注 1] | オモテ | | 0 mm | 表面のとじしろ量を設定します。 [0 ~ 30 mm] 1 mm単位 |
| | | | | 0 mm | 裏面のとじしろ量を設定します。 [0 ~ 30 mm] 1 mm単位 |
| | スマージング [注 1] | | | * セッティ | 印刷結果をなめらかにします。 |
| | | | | カイジョ | 印刷結果をなめらかにしません。 |
| | トナーセーブ [注 1] | | | * カイジョ | トナーを節約しません。 |
| | | | | セッティ | 輪郭部分はそのままに、濃度を抑えて印刷し、トナーの消費を約 25%節約します。[注 12] 試し印刷など、印刷品質にこだわらないときご利用ください。 |
| | データ ナシ インサツ [注 1] | | | * カイジョ | データのないページを印刷しません。 |
| | | | | セッティ | データのないページを印刷します。 |
| | タイマー カン シ インサツ [注 1] | | | * カイジョ | タイマー監視印刷を行いません。 |
| | | | | 30 ピョウ | 監視時間を 30 秒にします。 |
| | | | | 10 ピョウ | 監視時間を 10 秒にします。 |

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） |
|----------------------|------------------|--------------|------|-----------------|--|
| EP モード セッティ [注 1] | モジ コード | | | * カタカナ | カタカナコード表を使用します。 詳しくは「エミュレーション編」をご覧ください。 |
| | | | | グラフィック | 拡張グラフィックコード表を使用します。 詳しくは「エミュレーション編」をご覧ください。 |
| | キュウシ イチ [注 6] | | | * 8.5 mm | 印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5 mmに設定します。 |
| | | | | 22 mm | 印刷開始位置を用紙の上辺から 22 mmに設定します。 |
| | ミギ マージン イチ | | | * ヨウシ ハバ | 用紙幅に合わせて右マージンを設定します。 右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域右端までです。 |
| | | | | 136 ケタ | 用紙サイズに関係なく 136 桁(13.6 インチ)に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合、印刷領域を超えた部分は印刷されません。 |
| | ANK モジ | | | * ローマン | ANK 文字の書体をローマンにします。 |
| | | | | サンセリフ | ANK 文字の書体をサンセリフにします。 |
| | カンジ ショタイ | | | * ミンチョウ | 漢字の書体を明朝体にします。 |
| | | | | ゴシック | 漢字の書体をゴシック体にします。 |
| | CR コード | | | * CR ノミ | CR動作（復帰のみ）を行います。 |
| | | | | CR & LF | CR動作（復帰）と LF動作（改行）を行います。 |
| | タテ ヨハク | タテ ジョウタン ヨハク | | 8.5 mm | 縦印刷のときの上端余白を設定します。 [給紙位置 [注 6] ~ 50.0 mm] 0.1 mm単位 |
| | | タテ サタン ヨハク | | 5.0 mm | 縦印刷のときの左側余白を設定します。 [5.0 ~ 50.0 mm] 0.1 mm単位 |
| | ヨコ ヨハク | ヨコ ジョウタン ヨハク | | 8.5 mm | 横印刷のときの上端余白を設定します。 [給紙位置 [注 6] ~ 50.0 mm] 0.1 mm単位 |
| | | ヨコ サタン ヨハク | | 5.0 mm | 横印刷のときの左側余白を設定します。 [5.0 ~ 50.0 mm] 0.1 mm単位 |
| | インジ イチ チョウセイ | タテ インジ イチ | | 0.0 mm | 印刷時の縦印字位置を設定します。 [-30.0 mm ~ 30.0 mm] 0.1 mm単位 |
| | | ヨコ インジ イチ | | 0.0 mm | 印刷時の横印字位置を設定します。 [-30.0 mm ~ 30.0 mm] 0.1 mm単位 |
| ホシュ メニュー | インサツ ページスウ | | | XXXXX ページ | 総印刷ページ数を表示します。 |
| | A4 LEF カンサン | | | XXXXX ページ | A4 サイズ横送り (LEF) 換算ページ数を表示します。 |
| | メモリ ヨウリョウ | | | XXX MB | 標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。 |
| | メイン ROM ハンスウ | | | Ver XX.XX | プリンタのファームウェアの版数を表示します。 |
| | エンジン ROM ハンスウ | | | Ver X.XX | プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。 |
| | エンジン ステータス | | | STATUS XX=XX | サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 |
| | センサ ステータス | | | STATUS XX=XX | サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 |

表：設定項目一覧

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | 設定値 | 機能（範囲） |
|----------|-------------------|-------------|------|--------------|--|
| ホシュ メニュー | NV コード | | | XX=XX | サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 |
| | カートリッジステータス | | | XX=XX | サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 |
| | カートリッジ ジョウホウ | | | ジョウホウ=X | サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 |
| | USB ステータス | | | 表示 | USB の接続状態を表示します (HIGH SPEED、FULL SPEED、未接続)。 |
| | LAN ステータス | | | a.bbb.ccc.dd | LAN の通信状態を表示します。「TCP/IP の動作確認」(→ P.125) をご覧ください。 |
| | IP アドレス ヒョウジ [注2] | | | IP アドレス | 現在の IP アドレスを表示します。 |
| | | | | サブネットマスク | 現在のサブネットマスクを表示します。 |
| | | | | ゲートウェイ | 現在のゲートウェイを表示します。 |
| | ソフトスイッチ | ソフトスイッチ X-X | | * OFF ON | サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 変更しないでください。 |

- 注1：「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。
アプリケーションで Printia XL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。プリンタドライバ側で設定してください。詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。
- 注2：「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。
- 注3：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。
- 注4：拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。
- 注5：XL-9440D および両面ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。
- 注6：給紙位置が余白の最小値となります。
- 注7：Ethernet タイプを設定した場合、電源を切ってから数秒経過後に再び電源を入れてください。
- 注8：「Printia LASER Internet Service」のアクセス許可リストの許可設定がすべて「無効」になっているときは表示されません。
- 注9：設定について詳しくは、「セキュリティに関する設定」(→ P.127) をご覧ください。
設定を無効にした場合について詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」の説明をご覧ください。
- 注10：機能について詳しくは「IP アドレスによるアクセス管理」(→ P.128) をご覧ください。
- 注11：ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時に、プリンタの機種を「EPSON ESC/Page」にして印刷するときは、エミュレーション設定を「ESC/P」にします。
なお、プリンタの機種を「Dot Printer」(ESC/P) や「FUJITSU VSP」(FM シーケンス) にして印刷することはできませんので、ご注意ください。
- 注12：「テスト印刷（印字率約 5% サンプル）」(→ P.123) を使用した場合のトナーセーブ率です。トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。

4 代表的な設定項目とその操作方法

ここでは、オペレータパネルで行える、代表的な機能の設定方法や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容の一覧を印刷します。設定の一覧は、メニュー モードの「システム インサツ」→「セッティ ノ インサツ」で印刷します。

■ 印刷例

FUJITSU XL-xxxx

| システム情報 | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|----------------------|
| 装置号機 | = LFXXXXXXX | メイン ROM 版数 | = Ver X.xx |
| 総印刷ページ数 | = XXXページ | エンジン ROM 版数 | = Ver X.xx |
| A4LEF換算ページ数 | = XXXページ | メモリ容量 | = xxMB |
| ／装置寿命ページ数 | = /xx万ページ | USBステータス | = HIGH SPEED |
| 装置寿命カウンタ | = 残り xx% (消耗率 xx%) | 両面ユニット | = あり |
| 定期交換キットカウンタ | = 残り xx% (消耗率 xx%) | 給紙トレイダイヤル位置 | = パネルで設定 |
| 600K交換キットカウンタ | = 残り xx% (消耗率 xx%) | 給紙口情報 | |
| 定期交換部品状態 | | 給紙トレイ | = A4 LEF(横置き) |
| 警告発生状態 | = 警告発生 | カセット1 | = A4 LEF(横置き) |
| 電源投入後総印刷ページ数 | = XXXページ | カセット2 (550FDR) | = A4 LEF(横置き) |
| カートリッジ情報 | = X | カセット3 (550FDR) | = A4 LEF(横置き) |
| | | カセット4 (550FDR) | = A4 LEF(横置き) |
| IPアドレス設定 | | | |
| D H C P 自動取得 | = 設定 | I P アドレス | = XXX. XXX. XXX. XXX |
| | | サブネットマスク | = XXX. XXX. XXX. XXX |
| | | ゲートウェイ | = XXX. XXX. XXX. XXX |
| LAN設定 | | | |
| MACアドレス | = XXXXXXXXXXXX | サービス設定 | |
| E t h e r n e t タイプ | = 自動認識(100Mbps) | プリンタ検索 | = 有効 |
| T C P / I P プロトコル | = 有効 | インターネットサービス | = 有効 |
| 印刷ポート番号 | = 9313 | S N M P | = 有効 |
| 横索ポート番号 | = 9313 | プリンタ起動通知 | = 有効 |
| T C P / I P 動作状態 | = 0(エラーなし) | B P P 印刷 | = 有効 |
| LANステータス | = 1.111.111.11 | I P P 印刷 | = 有効 |
| アクセス管理 | = 無効 | L P R 印刷 | = 有効 |
| プリンタの U R L | = | R A W 印刷 | = 有効 |

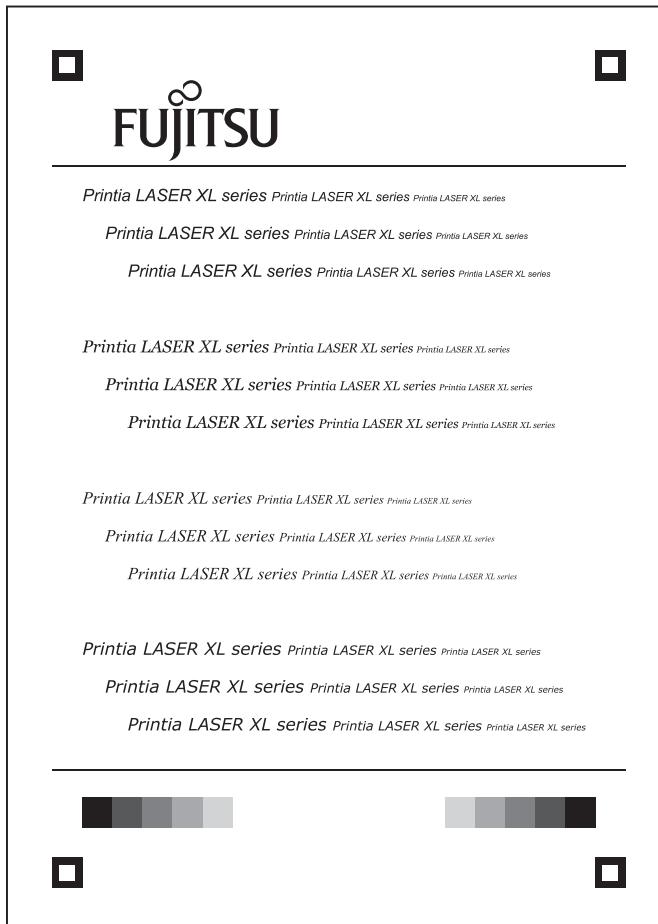
POINT

- ・印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、A4SEF、はがきサイズより小さいユーザ定義サイズの用紙は印刷できません。
- ・印刷した場合は、「サイズ フィッチ」または「サイズフソク」と表示されますので、オペレータパネルに表示されたサイズの用紙をセットして再度印刷するか、いったん印刷をキャンセルして、他の用紙サイズに変更してから、再度印刷してください。
- ・用紙がない場合は「ヨウシナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
- ・印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
- ・LAN 設定で「TCP/IP プロトコル」を「ムコウ」にしたとき、LAN 設定内容は印刷されません。
- ・また、「エミュレーションセッティ」を「ムコウ」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。
- ・「定期交換部品状態」、「警告発生状態」は、プリンタの状態によって次の内容が表示されます。
 - ・未発生：警告発生なし
 - ・ティキコウカンキット：定期交換キット交換警告発生中
 - ・600K コウカンキット：600K キット交換警告発生中
 - ・ティキコウカンキット／600K コウカンキット：同時に警告発生中

テスト印刷（印字率約 5% サンプル）

300dpi で印字率約 5% のサンプルを印刷します。印字率約 5% のサンプルは「システム インサツ」→「テスト インサツ」→「5%サンプル」で印刷します。

■ 印刷例



5

IP アドレスの設定

本製品に IP アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法があります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- ・プリンタに直接設定する手動設定
 - ・プリンタの電源を入れたときに DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定
- なお、IP アドレスの設定は、ネットワークに接続されたパソコンから、添付の「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法については、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

手動設定の場合

設定は、メニュー mode の「ショキ セッティ」→「IP アドレス セッティ」で、まず「DHCP ジドウシュトク」を解除してから、IP アドレスの設定を行います。

メニュー mode で DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1 DHCP 自動取得を解除します。

「▶」または「◀」スイッチを押して、「カイジョ」と表示させます。「設定」スイッチを押すと「*」が表示され、値が設定されます。初期設定は「* セッティ」です。



2 IP アドレスを設定します。

1. 「▲」スイッチを押して、次の表示にします。



2. 「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。



3. 「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック (IP アドレス 1 ~ 4) を選択して、「▲」「▼」スイッチで値を設定します。



4. 各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが * に移動しているのを確認します (この操作では、IP アドレスはまだ反映されません)。



サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順 2 の表示に戻した後、「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で手順 3 ~ 手順 4 の操作を行ってください。

3 設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。

設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

DHCPによる自動取得の場合

メニュー mode の「ショキ セッティ」→「IP アドレス セッティ」→「DHCP ジドウシュ トク」が「* セッティ」になっていることを確認します。いったん本製品の電源を切ってから、DHCP サーバと本製品をネットワークに接続し、本製品の電源を入れてください。プリンタの起動時に IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

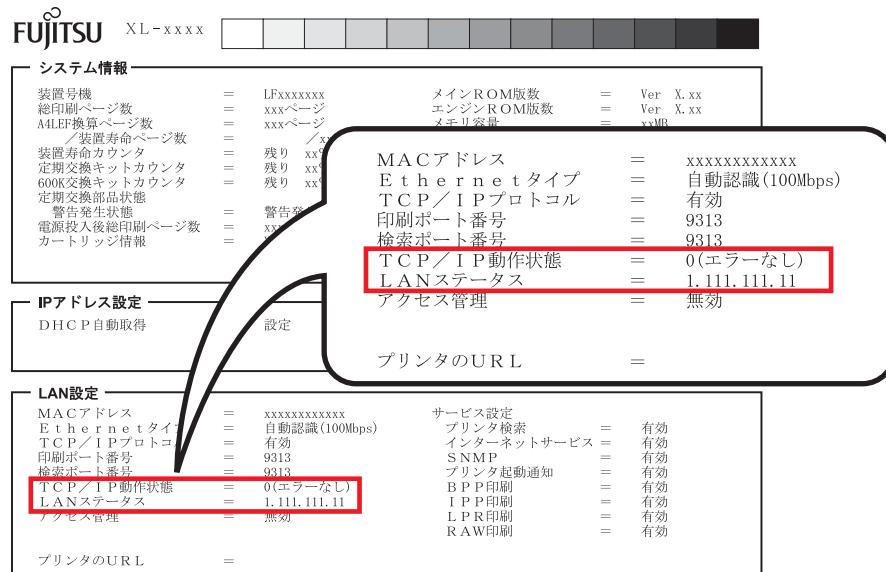
POINT

- ・ DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再度入れたときに同じ IP アドレスを取得できるように、DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニュー mode の「ショキ セッティ」→「LAN セッティ」→「MAC アドレス」をご覧になるか、設定の一覧を印刷してください。
- ・ DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。取得した IP アドレスは、メニュー mode の「ホシュ メニュー」→「IP アドレス ヒョウジ」で確認することができます。
- ・ IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IP アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニュー mode の「ショキ セッティ」→「IP アドレス セッティ」→「DHCP ジドウシュ トク」（「手動設定の場合」（→ P.124）の手順 1～手順 2 参照）が「* セッティ」になっているか確認します。「* カイジョ」の場合は、「* セッティ」に変更してください（初期値は「* セッティ」です）。

設定変更後、メニュー mode を解除するとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

TCP/IP の動作確認

TCP/IP が正常に動作しているかどうかの確認は、メニュー mode の「システム インサツ」→「セッティ ノ インサツ」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IP 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。



TCP/IP 動作状態

表 : TCP/IP の動作状態一覧

| コード | 内容と処置 |
|-----|--|
| 0 | TCP/IP は正常に動作しています。 |
| 1 | IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。 |
| 2 | DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。 |
| 3 | DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が入っているか確認してください。 |
| 4 | DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切り、再び入れてください。 |
| 5 | DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が入っているか確認してください。 |
| 6 | IP アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IP アドレスを設定してください。 DHCP で IP アドレスを自動取得している場合は、電源を再度入れてください。 STP (スパニングツリープロトコル) の設定があるハブユニットを使用している場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されている場合に検出できないことがあります。 |
| 9 | その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。 |

LAN ステータス

LAN の接続状態を「a.bbb.ccc.dd」の形式で表示します。各部の意味は次のとおりです。

表：LAN ステータス一覧

| 各部 | 意味 |
|-----|--|
| a | ネットワークに接続されているかどうかを表します。 <ul style="list-style-type: none">1 : ネットワークに接続されています。0 : ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 |
| bbb | プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 <ul style="list-style-type: none">1 衡目 ...1000Base-T (0 : Half/Full 無効 / 2 : Full 有効)2 衡目 ...100Base-TX (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効)3 衡目 ...10Base-T (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 3 : Half/Full 有効) <p>注：メニュー モードの「LAN セッティ」→「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。</p> |
| ccc | ハブなど、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 <ul style="list-style-type: none">1 衡目 ...1000Base-T (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効)2 衡目 ...100Base-TX (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効)3 衡目 ...10Base-T (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効) <p>注：ハブによっては「0000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。</p> |
| dd | 現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 <ul style="list-style-type: none">1 衡目 ...0 : Half / 1 : Full2 衡目 ...0 : 10Mbps / 1 : 100Mbps / 2 : 1000Mbps <p>注：a が 0 のときは、「—」と表示されます。</p> |

セキュリティに関する設定

ここでは、本製品を使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

POINT

- セキュリティに関するすべての機能は、「Printia LASER Internet Service」から設定することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。
- 「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、「Printia LASER Internet Service」からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート／サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効／無効を設定します。

設定は、メニュー モードの「ショキ セッティ」→「LAN セッティ」→「サービス セッティ」から行います。

POINT

- 各設定を無効にした場合について詳しくは、『『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」のネットワークサービスの説明をご覧ください。

IP アドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン (IP アドレス) を制限するかしないかを設定します。設定は、メニュー mode の「ショキ セッティ」→「LAN セッティ」→「アクセスカンリ」から行います。

POINT

- IP アドレスを制限する場合は、あらかじめ「Printia LASER Internet Service」のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。詳しくは、『『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」をご覧ください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニュー mode の操作をパスワード (4 衔以内の数字) で制限します。

設定は、メニュー mode の「ショキ セッティ」→「カンリ／ショキカ」→「メニュー ソウサ セイゲン」から行います。

パスワードの初期値は、「9999」です。パスワードの変更は、メニュー mode の「ショキ セッティ」→「カンリ／ショキカ」→「パスワード ヘンコウ」から行ってください。

「メニュー ソウサ セイゲン」を有効にすると、オペレータパネルでメニュー mode に移行するときにパスワードの入力を要求されます。

ハ° スワード°

▶ []

「▶」または「◀」スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、「▲」または「▼」スイッチで値を設定した後、「設定」スイッチを押してください。

POINT

- パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。
 - 「Printia LASER Internet Service」で新しいパスワードを設定
「管理者モード」→「オプション情報」→「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。詳しくは、『『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」をご覧ください。
 - オペレータパネル操作制限無効モードで起動
「メニュー」スイッチと「設定」スイッチを同時に押しながら、本製品の電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニュー mode に入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのプロセスカートリッジなど、消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

POINT

- ・プロセスカートリッジの交換時期が近づいたときには印刷を停止し、通知する方法もあります。メニュー モードの「ショキ セッティ」→「ソノタ ノ セッティ」→「カートリッジ ジュンビ」で「テイシ」を選択してください。
- ・「Printia LASER Internet Service」の「E メール送信設定」を利用すると、消耗品や定期交換部品の交換要求、ハードエラーの発生などを、E メールで受信することができます。
- 詳しく述べは、『[ソフトウェアガイド](#)』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」をご覧ください。

■履歴の保存

履歴は最大 500 件まで自動的に保存されます。500 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 500 件を保存します。

■履歴の出力

履歴は次の方法で出力できます。

- ・レポート印刷

メニュー モードの「システム インサツ」→「ショウモウヒン レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。

消耗品履歴レポートの出力例

| XL-XXXX 消耗品履歴レポート | | | | | |
|---------------------------------------|---------|---------|---------|--------|-----------|
| 装置情報 | | | | | |
| MACアドレス : XXXXXXXXXXXX | | | | | 定期交換部品 |
| ROM版数 : Ver xx.xx | | | | | 定期交換部品 |
| [ID] [総印刷ページ数] [A4LEF換算ページ数] [電源投入時間] | | | | | 要因 |
| 0XX | XXXXXXX | XXXXXXX | XXXXXXX | 定期交換部品 | 交換キット警告発生 |
| 0XX | XXXXXXX | XXXXXXX | XXXXXXX | 定期交換部品 | 交換キット警告解除 |
| : | | | | | |
| 0XX | XXXXXXX | XXXXXXX | XXXXXXX | カートリッジ | 準備警告発生 |
| 0XX | XXXXXXX | XXXXXXX | XXXXXXX | 装置寿命 | 寿命残り 20% |

POINT

- ・「電源投入時間」では、電源が入れられていた累積時間が表示されます。単位は、時間になります。
- ・「Printia LASER Internet Service」による CSV ファイル出力
「管理者モード」→「オプション情報」→「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。詳しく述べは、『[ソフトウェアガイド](#)』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」をご覧ください。

■履歴の消去

履歴は、メニュー モードの「ショキ セッティ」→「カンリ／ショキカ」→「ショウモウヒンリレキショキカ」で「ジッコウ」を選択すると消去できます。

Memo

6

第6章 使用できる用紙と保管方法

この章では、本製品で使用できる用紙とその保管方法について説明します。

| | |
|-------------------|-----|
| 1 使用できる用紙 | 132 |
| 2 使用できない用紙 | 138 |
| 3 用紙保管上のご注意 | 140 |

1 使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係は、次の表のとおりです。

表：給紙方法と用紙サイズ

| 給紙方法 | 用紙種類 | 重量 | 収容枚数 | サイズ |
|-----------------------------------|--|----------------------------|---|---|
| 給紙トレイ | 普通紙／普通紙 H [注 1] ／普通紙 L [注 2] (再生紙含む) | 60 ~ 90g/ m ² | 約 200 枚 (64g/ m ² の用紙の場合) | A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、 B5LEF、A5LEF、リーガル SEF、 レター LEF、ユーザ定義サイズ (幅 90 ~ 297×長さ 148 ~ 432 mm) |
| | 厚紙 1 | 91 ~ 157g/ m ² | 横ガイドの上限線まで | |
| | 厚紙 2 | 158 ~ 216g/ m ² | | |
| | ラベル紙 1 | 60 ~ 90g/ m ² | 約 75 枚 | |
| | ラベル紙 2 | 91 ~ 135g/ m ² | | |
| | 郵便はがき | 190g/ m ² | 約 60 枚 | |
| | OHP フィルム | — | 約 75 枚 | |
| 給紙カセット (標準) | 長尺紙 | 60 ~ 135g/ m ² | 1 枚ずつ手でセット | 幅 297(固定)×長さ 420.1 ~ 900mm |
| | 普通紙／普通紙 H [注 1] ／普通紙 L [注 2] (再生紙含む) | 60 ~ 90g/ m ² | 約 550 枚 (64g/ m ² の用紙の場合) | A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、 B5LEF、A5LEF、リーガル SEF、 レター LEF、ユーザ定義サイズ (幅 90 ~ 297×長さ 148 ~ 432 mm) |
| | 厚紙 1 | 91 ~ 157g/ m ² | 横ガイドの上限線まで | |
| | 厚紙 2 | 158 ~ 216g/ m ² | | |
| 拡張給紙ユニット (オプション) (A3/550 枚) | OHP フィルム | — | 約 100 枚 | A4LEF、A4SEF、レター LEF |
| | 普通紙／普通紙 H [注 1] ／普通紙 L [注 2] (再生紙含む) | 60 ~ 90g/ m ² | 約 550 枚 (64g/ m ² の用紙の場合) | A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、 B5LEF、A5LEF、リーガル SEF、 レター LEF、ユーザ定義サイズ (幅 90 ~ 297×長さ 148 ~ 432 mm) |
| | 厚紙 1 | 91 ~ 157g/ m ² | 横ガイドの上限線まで | |
| | 厚紙 2 | 158 ~ 216g/ m ² | | |

注 1 : 普通紙 H は、厚めの普通紙／再生紙、またはトナーが定着しにくい普通紙／再生紙での印刷トラブルを軽減するために、トナーの定着温度を少し高く設定します。

注 2 : 普通紙 L は、薄めの普通紙／再生紙、またはカールしやすい普通紙／再生紙での印刷トラブルを軽減するために、トナーの定着温度を少し低く設定します。

重要

- ・用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認することをお勧めします。
 - ・はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
 - ・ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
 - ・ラベル紙を印刷する場合は、ラベル紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 60 ~ 90g/ m² の場合は「ラベル紙 1」を、91 ~ 135g/ m² の場合は「ラベル紙 2」を選択してください。
 - ・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定にあわせてください。
 - ・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
 - ・A4 LEF より長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。
 - ・厚紙を印刷する場合は、厚紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 91 ~ 157g/ m² の場合は「厚紙 1」を、158 ~ 216g/ m² の場合は、「厚紙 2」を選択してください。
 - ・OHP フィルムを印刷する場合、プリンタドライバの用紙サイズと給紙方向の設定は、「A4LEF、A4SEF、レター LEF」のいずれかを選択してください。
 - ・ユーザ定義サイズ用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、本製品が故障するおそれがあります。
 - ・ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。詳しくは、「ユーザ定義サイズの普通紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.196）をご覧ください。
 - ・幅が 297 mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
 - ・OHP フィルム、ラベル紙、郵便はがきは拡張給紙ユニットから印刷できません。
 - ・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
 - ・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
 - ・また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
 - ・「用紙（特に再生紙）」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。
 - ・印刷において、シワ／斜行／角折れ／二重送り／紙詰まりなどが発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール／反りを直してから用紙をセットしてください。
 - ・また、高温／高湿環境や低温／低湿環境を避けて、保管／運用してください。
 - ・用紙の状態によっては、紙詰まりやシワ／カールが発生する場合があります。
- 次のように対処することで軽減できる場合がありますので、お試しください。改善されない場合は、「用紙保管上のご注意」（→ P.140）をご確認ください。
1. 印刷方向を変えてみる（90° または 180°）。
 2. 用紙を裏返して印刷する面を変えてみる。
 3. プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にしてみる。
- ・A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。
A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

使用できる用紙の種類

普通紙

本製品では、PPC用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。

一般的な市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙について詳しくは、「サプライ品一覧」(→P.203)をご覧ください。

表：推奨する普通紙の仕様

| 項目 | 測定方法 | 推奨仕様 [注 1] |
|-------|------------|--|
| 坪量 | — | 64 ~ 68g/ m ² |
| 連量 | — | 55 ~ 58 kg |
| 紙厚 | JIS P-8118 | 88 ~ 94μm |
| 密度 | — | 0.68 ~ 0.74g/cm ³ |
| 平滑度 | JIS P-8119 | 表：23 ~ 47 秒、裏：20 ~ 37 秒 |
| 剛度 | JIS P-8143 | 縦：70 ~ 123cm ³ /100、横：28 ~ 60cm ³ /100 |
| 水分 | JIS P-8127 | 4 ~ 5% |
| 摩擦係数 | JIS P-8147 | 静止：0.45 ~ 0.75、動：0.40 ~ 0.70 |
| 紙質 | — | 中性紙 |
| すき目方向 | — | 用紙の搬送方向と同じすき目の用紙 [注 2] |

注 1：開封直後の用紙を常温常湿環境 (23 °C、50%RH) で測定した値

注 2：A4LEF、B5、A5 など、LEF (横送り方向) にセットする場合は「横目」の用紙、A4SEF、B4、A3 など、SEF (縦送り方向) にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

プレプリント紙、 カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 230 °C でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものを使用してください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、紙詰まり、装置破損の原因となります。また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送／印刷／定着に関係する部品が汚損／変質／摩耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。

用紙全面にプレプリントされた用紙を使用する場合は、プレプリントは、ベタ印刷ではなく、網点印刷された用紙をお使いください。

※ 重要

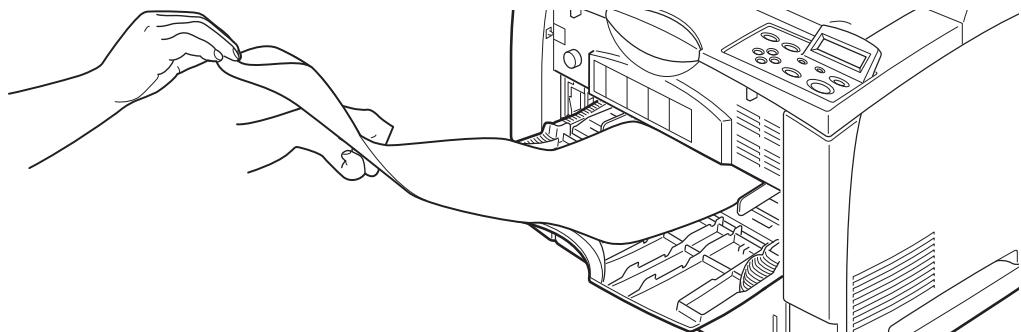
- ・金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- ・印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
 - ・位置精度：A4 サイズで ±2 mm 程度 (普通紙推奨用紙の場合)
 - ・用紙の傾き：100 mmあたり ±1 mm 程度 (普通紙推奨用紙の場合)
 - ・画像の伸縮：100 mmあたり ±1 mm 程度 (普通紙推奨用紙の場合)
- [注]：普通紙推奨用紙以外の用紙では、バラツキはより大きくなります。

長尺紙

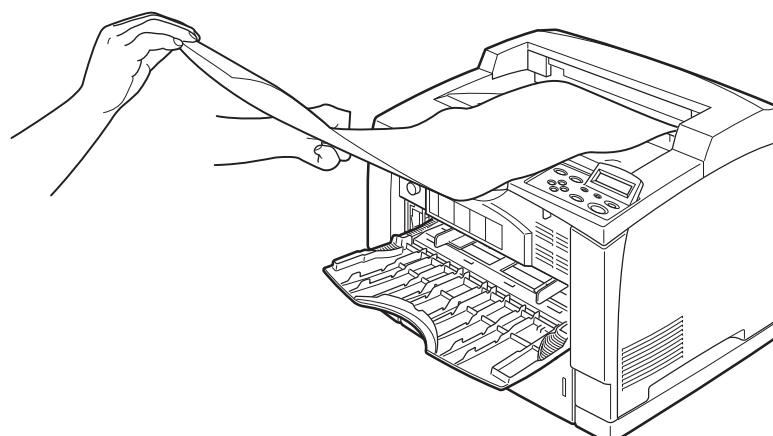
- ・縦や横に長いデータ（900 mmの長さまで）を印刷することができます。印刷は Printia XL ドライバのみ使用可能です。
- ・長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
給紙トレイに用紙をセットする方法は、「給紙トレイにセットする」（→ P.73）をご覧ください。
- ・長尺紙は、サプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙以外を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。
サプライ用紙について詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.203）をご覧ください。
- ・長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

重要

- ・幅が 297 mm未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- ・アプリケーションによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- ・長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を充分に（10 mm以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- ・用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。
- ・長尺紙は、1枚ずつセットしてください。
- ・長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。



- ・長尺紙に印刷する場合は、プリンタ ドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- ・印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙詰まりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。



郵便はがき

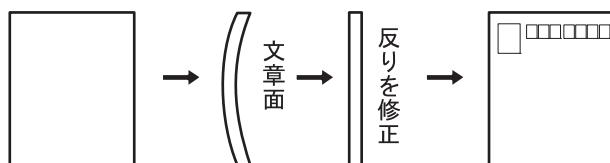
郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください（ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く）。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください（両面印刷機能には、対応していません）。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。

POINT

- 他の機種で印刷したはがきへの印刷は行わないでください。
装置故障の原因になります。

1. 文章面を印刷
2. 反りがあるときは
修正
3. 宛名面を印刷



郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- 印刷面を上にしてセットしてください。
- 給紙トレイに横送り（□LEF）でセットしてください。
- 使用するアプリケーションの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

定着時の熱（約230°C）で溶けたり、変質したりしないものを使用してください。

本製品で使用できるOHPフィルムについては、「印刷確認済みの用紙」（→P.204）をご覧ください。

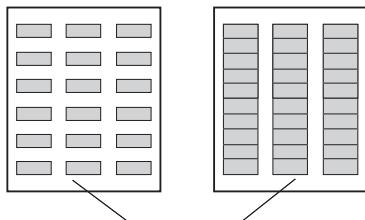
POINT

- OHPフィルムは、給紙カセット（標準）および給紙トレイで印刷できます。

ラベル紙

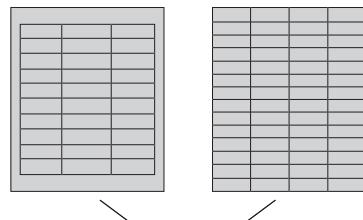
ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものを使用してください。また、粘着剤が定着時の熱（約230°C）で溶けたり変質したりしないものを使用してください。

×使用できません



つるつるした台紙面

○使用できます



全面ラベル紙

本製品で使用できるラベル紙については、「印刷確認済みの用紙」（→P.204）をご覧ください。

重要

- ・OHP フィルムやラベル紙を使用するときは、レーザプリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。
- ・ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
- ・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。

2 使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

本製品で使用できない用紙紙詰まり、二重送り、斜行を起こしやすい用紙

- ・厚すぎる用紙（216g/m²より厚い用紙）や、薄すぎる用紙（60g/m²未満）
- ・湿っている用紙、ぬれている用紙、乾燥しすぎている用紙
- ・一度印刷された用紙（複写機や、他のプリンタで印刷された用紙、本製品で印刷済みの用紙）
※両面印刷は、本製品で両面ユニット（オプション）を使用しての自動両面印刷に限ります（ただし、はがきは除く）
- ・カール（反り）・シワ・折り目・角折れのある用紙・破れている用紙・波打っている用紙
- ・表面が平滑（ツルツル）すぎる用紙
- ・静電気で用紙どうしが密着している用紙、静電気を帯びている用紙
- ・四角い形状（長方形、正方形）でない用紙
※四角形でも、ひし形や平行四辺形などの用紙は使えません
- ・裁断部のバリが大きい用紙
- ・バインダー穴や、ミシン目のある用紙
- ・用紙の搬送方向と異なるすき目の用紙
A4LEF、B5、A5など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、
A4SEF、B4、A3など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

印刷品質低下の原因となる用紙

- ・ざら紙や和紙、繊維質の多い用紙、表面が滑らかでない用紙
- ・封筒
- ・酸性紙（中性紙を使用してください）

プリンタの故障の原因となる用紙

- ・表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、メールシール紙など）
- ・貼り合わせた用紙や、のりなどが付いている用紙
- ・ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）
- ・紙粉の多い用紙
- ・インクジェット専用紙、インクジェットプリンタ共用紙、インクジェット用OHPフィルム、インクジェット用はがき
- ・水転写紙、布地転写紙
- ・絵入りはがき
- ・クリーンルーム用の用紙（無塵紙）
- ・炭酸カルシウムを多く含んだ用紙
- ・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外の「ラベル紙」（→P.137）
- ・タックフィルム

- ・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230 °Cの熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
- ・230 °Cの熱で溶けたり、変質する用紙

両面印刷できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

- ・厚紙（91g/ m²～216g/ m²）、OHP フィルム、ラベル紙、ユーザ定義サイズ用紙、長尺紙、郵便はがき

給紙カセットで使用できない用紙

ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙カセットでは使用できません。給紙トレイを使用してください。

3 用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。次の保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

保管場所

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
- ・平らなパレットの上
- ・温度 20 °C、湿度 50%RH の環境

■保管場所として適さない場所

次のような場所は避けてください。

- ・床の上（直接置く）
- ・直射日光の当たる場所
- ・外壁の内側の近く
- ・段差や、曲がりのある場所
- ・静電気が発生する場所
- ・過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- ・複写機、空調機、ヒーター、ダクトの近く

保管方法

次のような状態で保管してください。

- ・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・本製品を長期間にわたり使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

POINT

- ・長時間放置した用紙を使用すると、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
 - ・印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
 - ・印刷した用紙にシワが発生する
 - ・紙詰まりが発生する
- ・再生紙を使用する場合は、次の点にご注意ください。
 - ・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れ、画質不良などが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。
プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
 - ・「再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

7

第7章 こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

| | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 紙詰まりになったとき | 142 |
| 2 | 故障かなと思ったとき | 162 |
| 3 | 印刷品質が低下したとき | 166 |
| 4 | メッセージ一覧 | 174 |

1 紙詰まりになったとき

紙詰まりが発生したときの対処方法は、次のとおりです。

紙詰まり発生時の状態と発生場所

発生時の状態

紙詰まりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに「カミヅマリ」と表示されます。また、エラーメッセージには、「キュウシトレイ」「プリンタナイブ」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されます。

紙詰まりに関するエラーメッセージと対処時の参考先については、次の表をご覧ください。

表：エラーメッセージ一覧

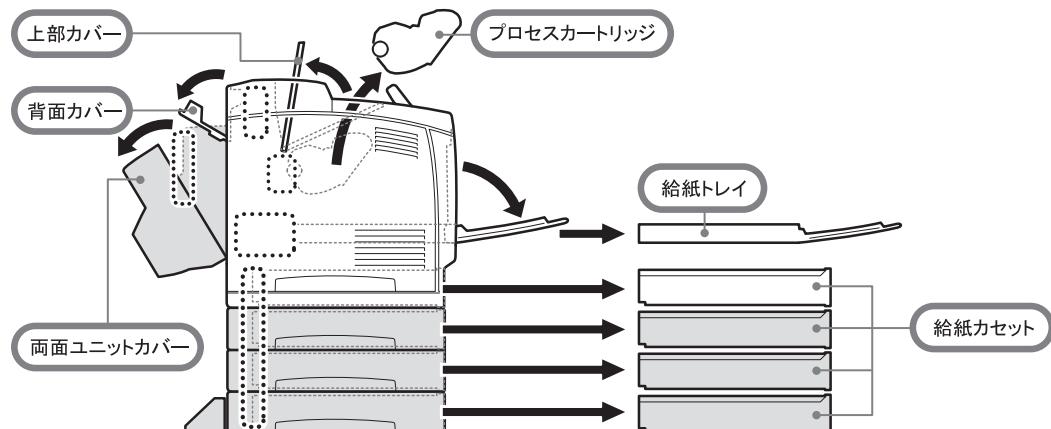
| 表示メッセージ | 参考先 |
|------------------------------|---|
| 2200 カミヅマリ キュウシトレイ | ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2201 カミヅマリ カセット1 | ・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.145) |
| 2202 カミヅマリ カセット2 | ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2203 カミヅマリ カセット3 | |
| 2204 カミヅマリ カセット4 | |
| 2210 カミヅマリ プリンタナイブ | 「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2211 カミヅマリ プリンタナイブ | ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2212 カミヅマリ キュウシトレイ ヲ ヒキダス | |
| 2213 カミヅマリ リョウメン ユニット | ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.160) |
| 2221 カミヅマリ ハイシグチ | ・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.150) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2222 カミヅマリ ハイシグチ | |
| 2223 カミヅマリ ハイシグチ | |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 参照先 |
|--|--|
| 2232 カミヅマリ リョウメン ユニット | ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.160) |
| 2233 カミヅマリ リョウメン ユニット | |
| 2234 カミヅマリ リョウメン ユニット | |
| 2312 ヨウシノコリ プリンタナイブ／リョウメン [注]「／リョウメン」はXL-9440D および両面ユニットを取り付けている場合 | |
| 2321 ヨウシノコリ ハイシグチ | ・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.150) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2333 ヨウシノコリ リョウメン ユニット | ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.160) |

発生場所

次の図の囲まれた位置で、紙詰まりが発生する可能性があります。



※グレーで塗られている部分はオプション品です。
※XL-9440Dは両面ユニットが標準搭載です。

紙詰まりを防ぐために

紙詰まりを防ぐため、次の点を確認してください。

- ・プリンタを水平に設置する
- ・適切な用紙を使用する
- ・給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
- ・カールしていない用紙を使用する
- ・給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む
- ・A4 サイズの場合は、用紙をセットする向きを変えてみる
A4 サイズであれば、LEF (横送り方向) と SEF (縦送り方向) を変更することで紙詰まりが改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。

- ・セット方向に適した用紙を使用する
A4LEF、B5、A5など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。
A4SEF、B4、A3など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

詰まった用紙の取り除き方

オペレータパネルで紙詰まりが発生した場所を確認し、以降で説明する部位ごとの取り除き方をご覧になり、詰まった用紙を取り除いてください。
詰まった用紙をすべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。

重要

- ・詰まった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、詰まった用紙を完全に取り除いてください。
- ・詰まった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、プロセスカートリッジを取り外して内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。
- ・上部カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「0006 カバーオープン ウエ / ハイメンカバー」と表示されます。上部カバーを開く前に紙詰まりのエラーメッセージ内容を確認してください。
また、上部カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わることがあります。

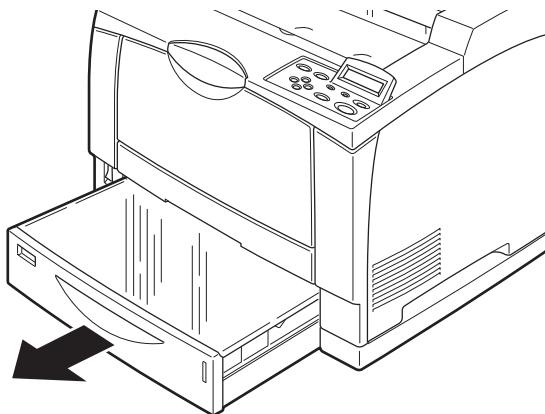
△ 注意

- ・詰まった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
ネックレスやネクタイなどを身に着けていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。
プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- ・詰まった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。
なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→ P.209）にご連絡ください。

給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く

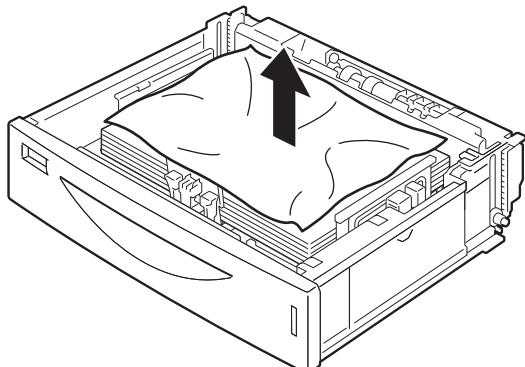
給紙カセット付近で詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 プリンタ本体から給紙カセットを引き抜きます。



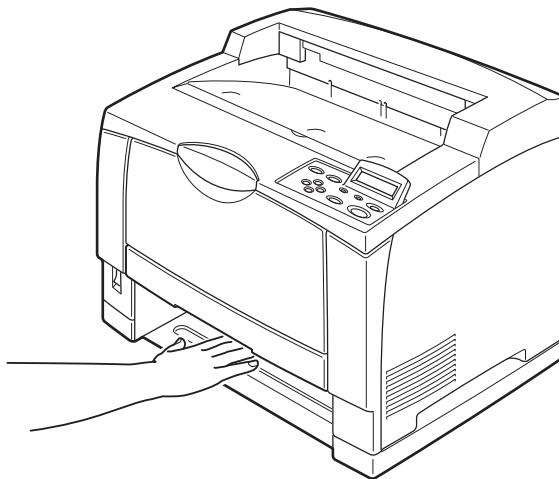
2 紙詰まりの原因となるシワがある用紙があれば取り除きます。

セットしてある用紙が乱れている場合は、整えてください。



3 プリンタ本体の奥に、詰まった用紙がないか確認します。

詰まった用紙はゆっくりと引き抜きます。



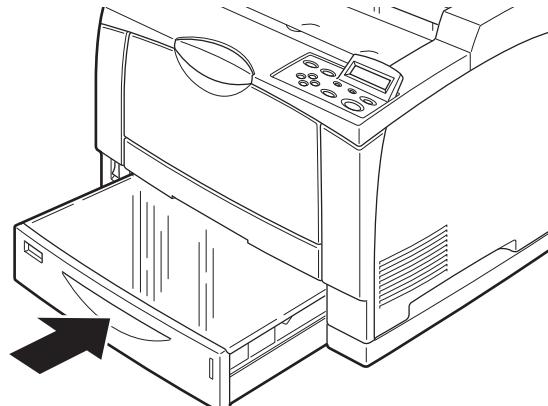
POINT

- 長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
長い用紙が詰まった場合は、「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) の手順 7 (→ P.157) をご覧になり、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

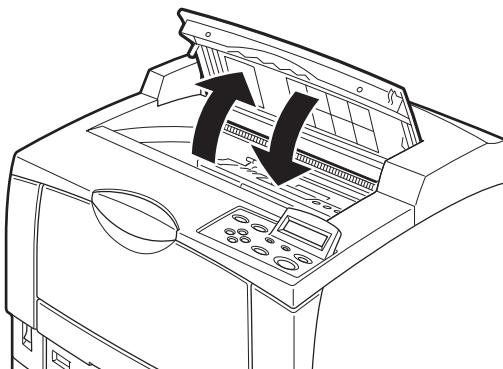
重要

- オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜いて確認してください。
- 手を入れる部分が狭くて手が入らない場合は、給紙トレイも引き抜いてください。給紙トレイの引き抜き方は、「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) をご覧ください。

4 プリンタ本体の奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込みます。



- 5** 上部カバーを開いてプロセスカートリッジを取り外し、内部に用紙が残っていないことを確認して閉じます。



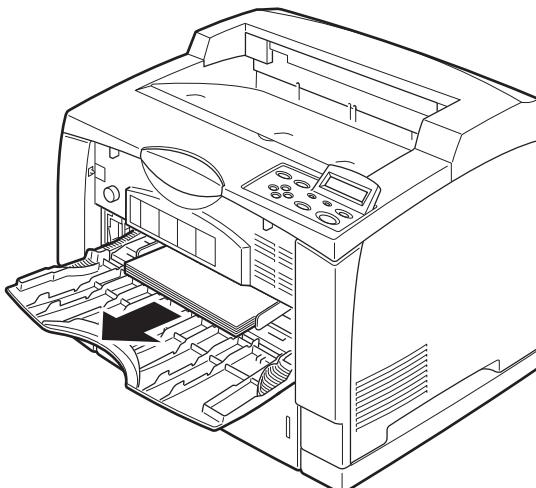
 **POINT**

- トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 上部カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「0006 カバーオープン ウエ/ハイメンカバー」と表示されます。
また、上部カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。

給紙トレイで詰まった用紙を取り除く

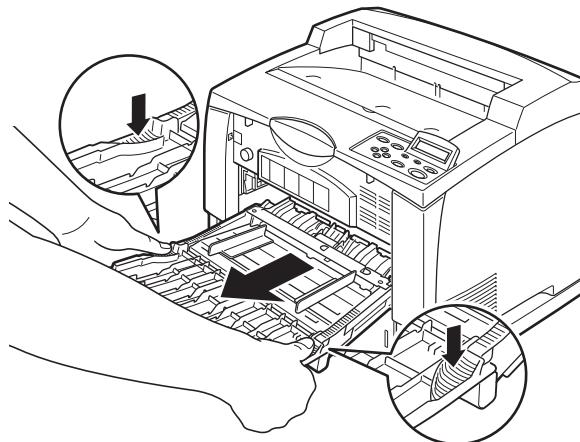
給紙トレイで詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

- 1** セットされている用紙を取り出します。

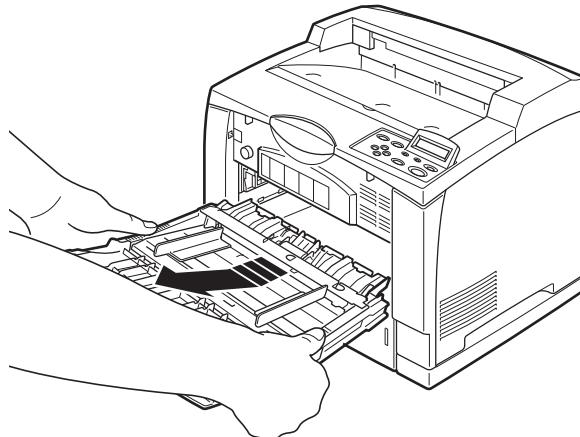


2 給紙トレイを引き抜きます。

- 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで水平に引き出します。



- 給紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて上方向に引き抜きます。

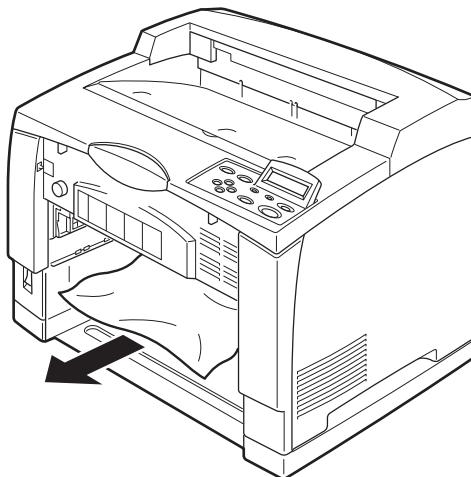


POINT

- 給紙トレイを引き抜かなくても、詰まった用紙を取りのける場合もあります。

3 本体の奥に詰まった用紙がないか確認します。

詰まった用紙はゆっくりと引き抜きます。



POINT

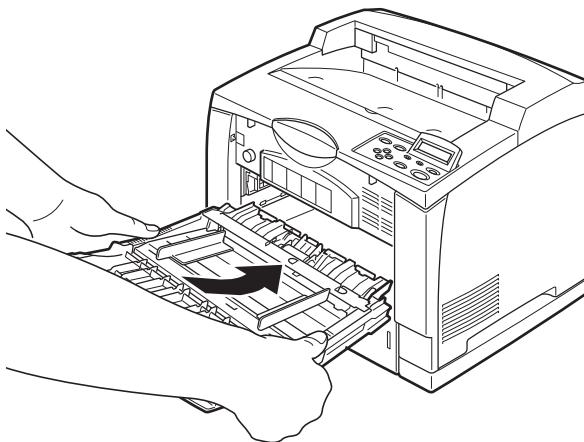
- 長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
- 長い用紙が詰まった場合は、「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) の手順 7 (→ P.157) をご覧になり、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

重要

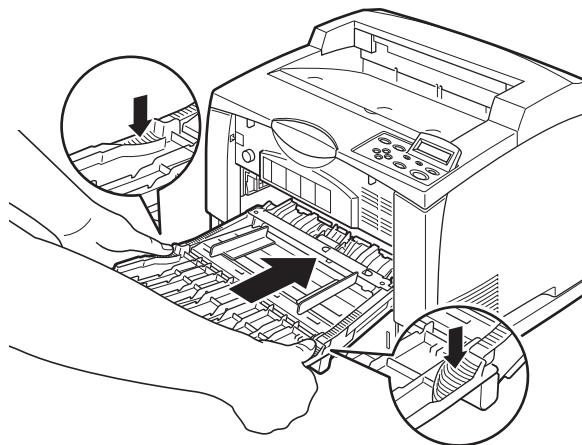
- 用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4 給紙トレイを本体に取り付けます。

- 給紙トレイを次の図のように持ち、挿入します。



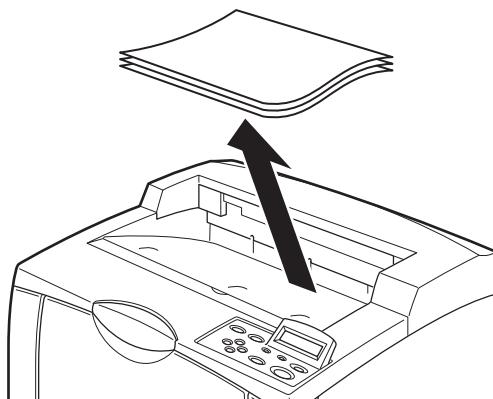
2. 給紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタ本体の奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。



定着器付近で詰まった用紙を取り除く

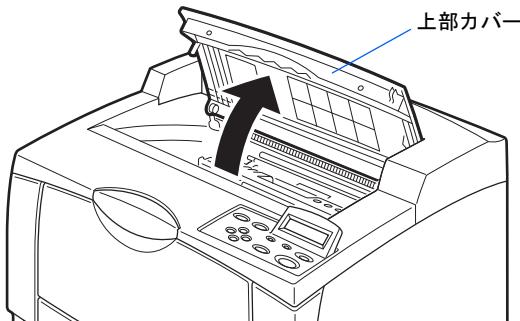
定着器付近で詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

- 1 排紙トレイに用紙がある場合は取り除きます。

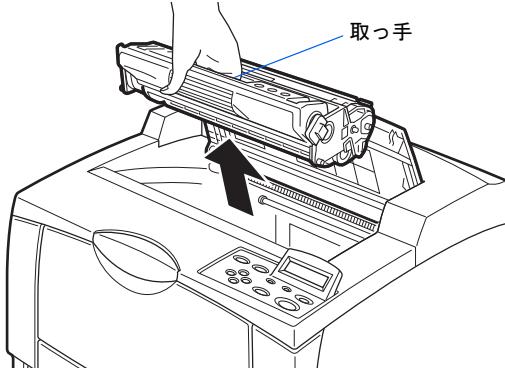


- 2 上部カバーを開きます。

上部カバーを開くときは、必ず上部カバー開閉用のくぼみを使って開いてください。



3 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。

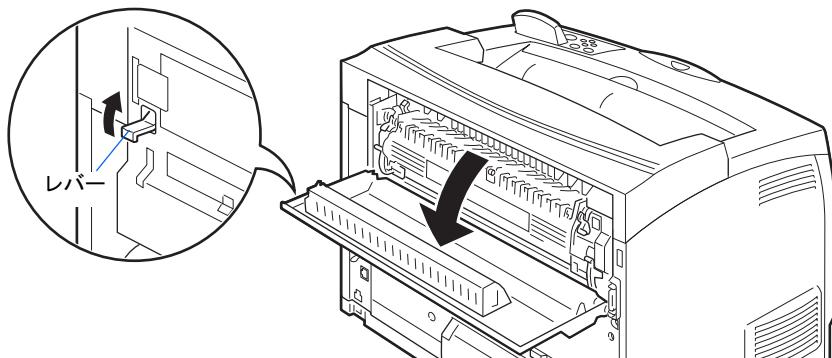


POINT

- トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

4 背面カバーを開きます。

背面カバーを開くレバーを上げて開きます。

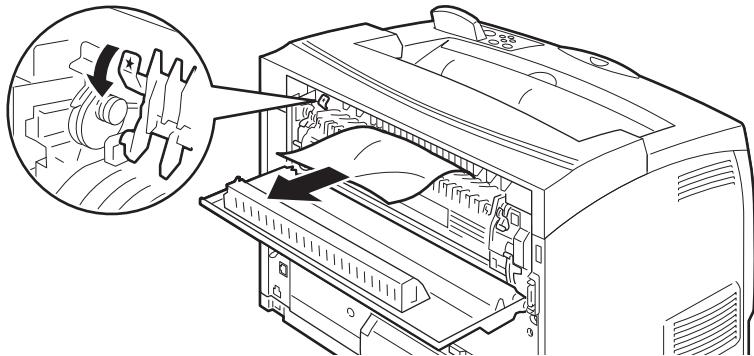


POINT

- XL-9440D または両面ユニットを取り付けている場合は、「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.160) をご覧になり、両面ユニットのカバーを開いてから、背面カバーを開いてください。
- 背面カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「0006 カバーオープン ウエ/ハイメンカバー」と表示されます。
また、背面カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わることがあります。

5 ★印の付いたレバーを手前に下げる、詰まっている用紙があれば取り除きます。

途中で用紙が破れている場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。
内部に用紙が残っていないことを確認します。



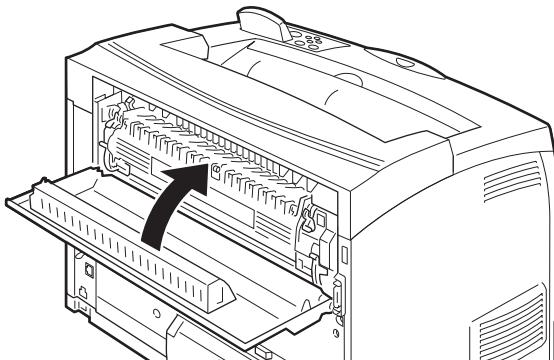
POINT

- ★印の付いたレバーは、手を離すと元の位置に戻ります。
左右にある緑色のレバーは、下がった状態にしておいてください。
左右にあるオレンジ色のレバーは、上がった状態にしておいてください。
- 長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、トナーで汚れる場合がありますので、必ずプロセスカートリッジを取り外してから詰まった用紙を取り除いてください。

重要

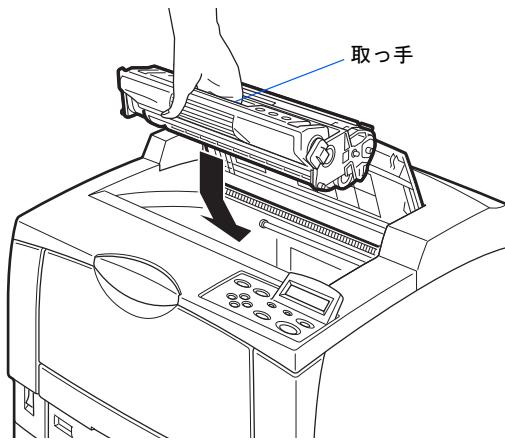
- 定着器は高温になっています。直接触るとやけどすることがありますので、充分に注意してください。

6 背面カバーを閉じます。

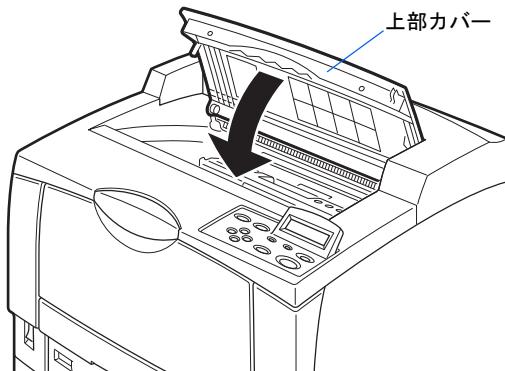


7 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入します。

取っ手を下に押し、所定の位置にセットしてください（手ごたえがあるまで押し込んでください）。



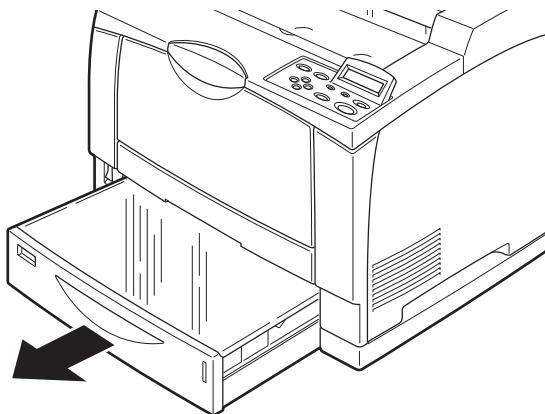
8 上部カバーを閉じます。



プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く

プリンタ内部に詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 プリンタ本体から給紙カセットを引き抜きます。



2 紙トレイを本体から引き抜きます。

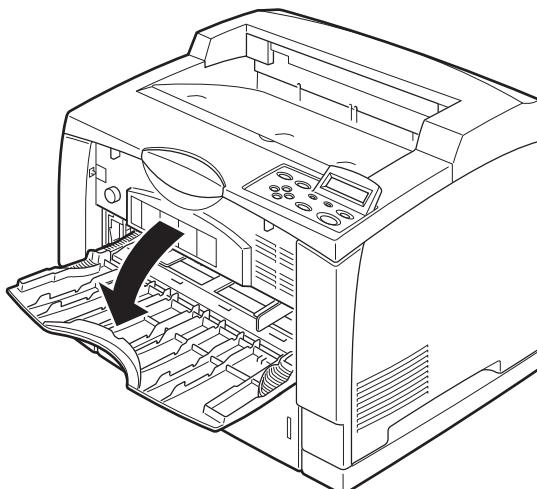
■給紙トレイを開いていない場合

給紙トレイのカバーを開きます。

次の給紙トレイを開いている場合の手順に進んでください。

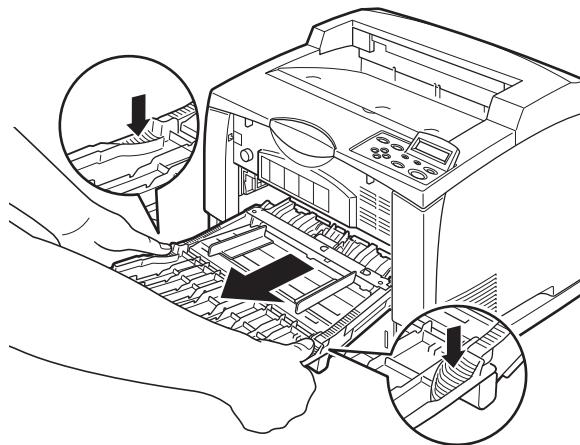
重要

- ・給紙トレイ引き抜き用取っ手を持ち、引き抜くと落下する可能性があります。

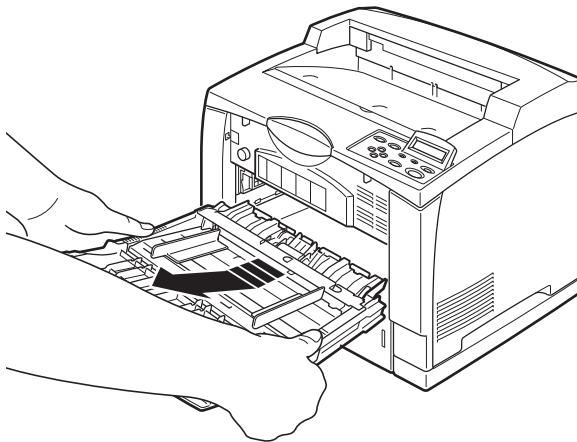


■給紙トレイを開いている場合

- 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで引き出します。



- 給紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて引き抜きます。



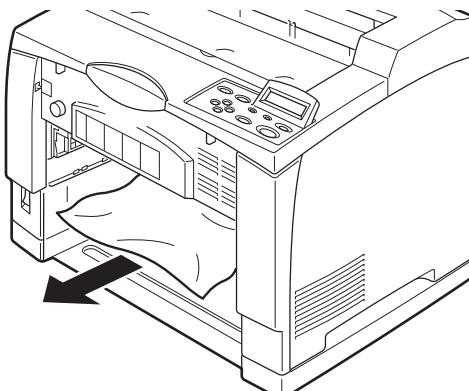
7

 **POINT**

- 給紙トレイを引き抜かなくても、詰まった用紙を取りのける場合もあります。

3 本体の奥に詰まった用紙がないか確認します。

詰まった用紙はゆっくりと引き抜きます。



POINT

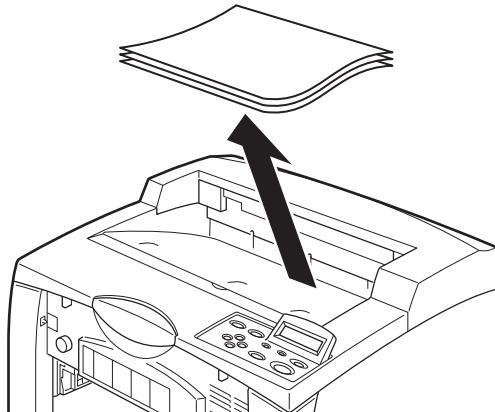
・長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。

長い用紙が詰まった場合は、「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) の手順 7 (→ P.157) をご覧になり、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

重要

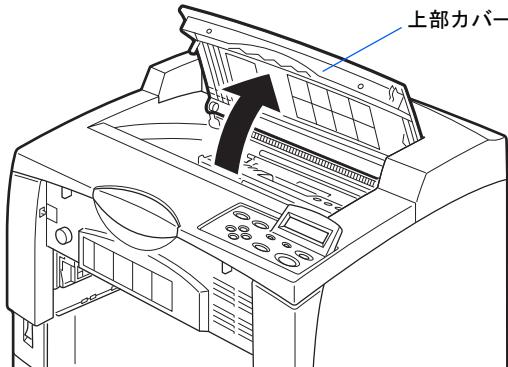
- ・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜いて確認してください。
- ・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4 排紙トレイに用紙がある場合は取り除きます。

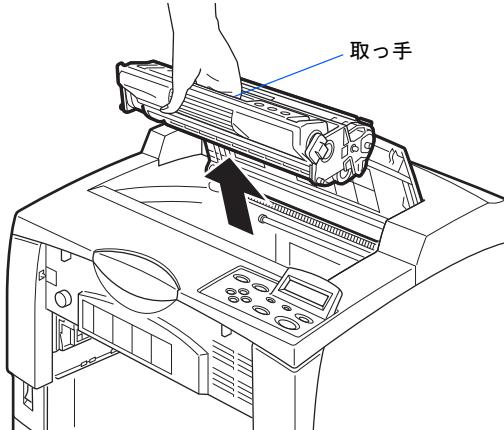


5 上部カバーを開きます。

上部カバーを開くときは、必ず上部カバー開閉用のくぼみを使って開いてください。



6 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。



POINT

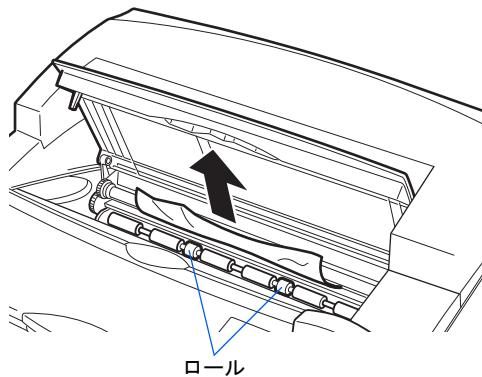
- トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

7 プロセスカートリッジを取り出した奥を確認し、詰まっている用紙や破れた紙片が残っていたら、取り除きます。

用紙がきつくはさまっている場合は、下図の位置にあるロールを回してください。

用紙がたるみ、簡単に取り除くことができます。

ロールを回しにくい場合は、給紙トレイを外すと回しやすくなります。

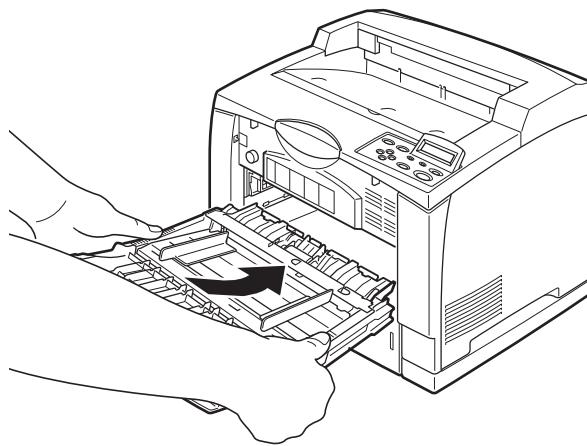


POINT

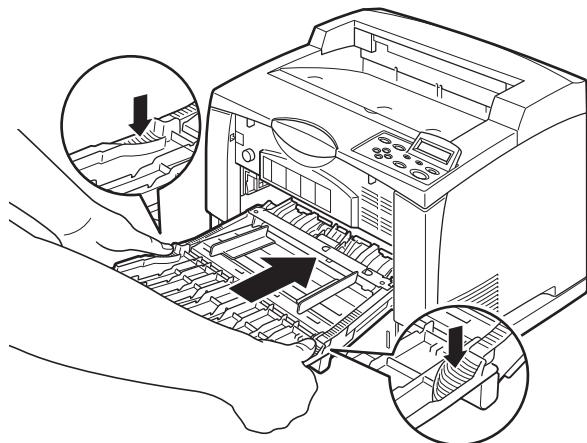
- 長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
- 長い用紙が詰まった場合は、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

8 紙トレイをプリンタ本体に取り付けます。

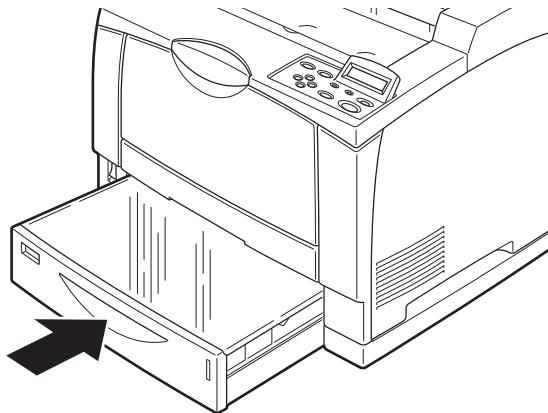
1. 紙トレイを次の図のよう持ち、挿入します。



2. 紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

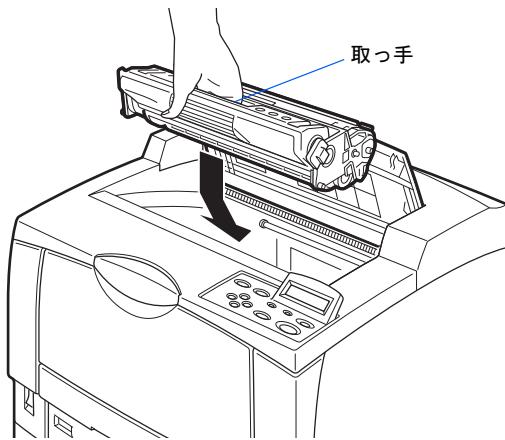


9 カセットを、本体の奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

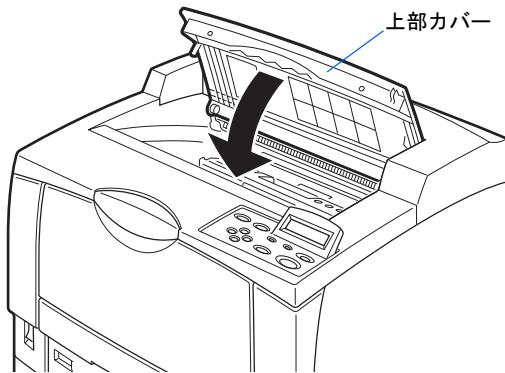


10 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入します。

取っ手を下に押し、所定の位置にセットしてください（手ごたえがあるまで押し込んでください）。



11 上部カバーを閉じます。



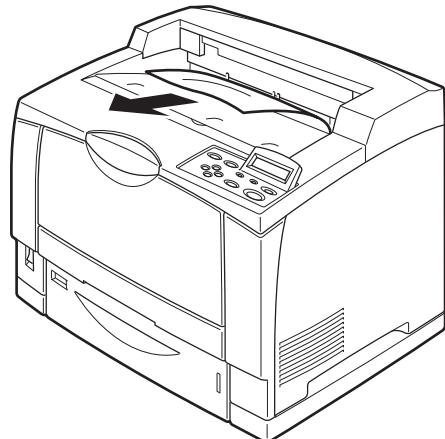
両面ユニットに詰まった用紙を取り除く

両面ユニットに詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

排紙口付近に詰まった用紙を取り除く

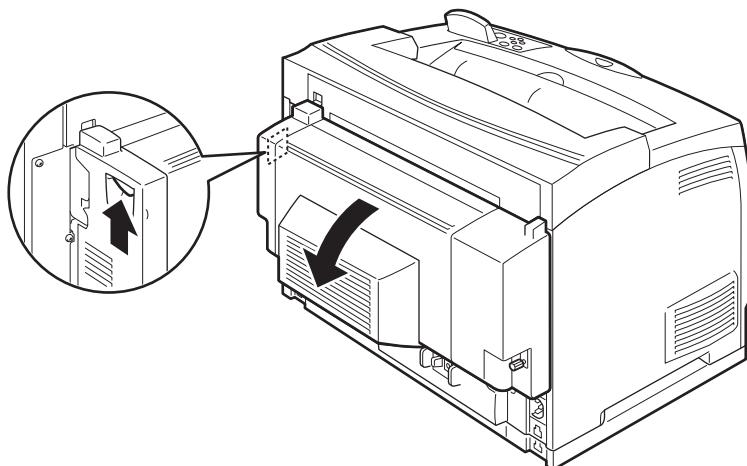
排紙口を確認し、詰まっている用紙を取り除きます。

用紙が破れた場合は、排紙口付近に紙片が残っていないかどうかを確認してください。



両面ユニットのカバー内に詰まった用紙を取り除く

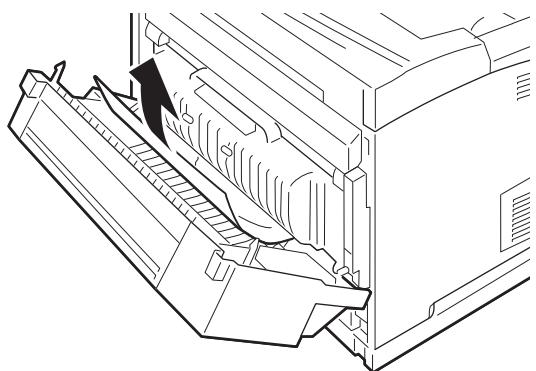
- 1 両面ユニットの背面からみて左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニットのカバーを開きます。



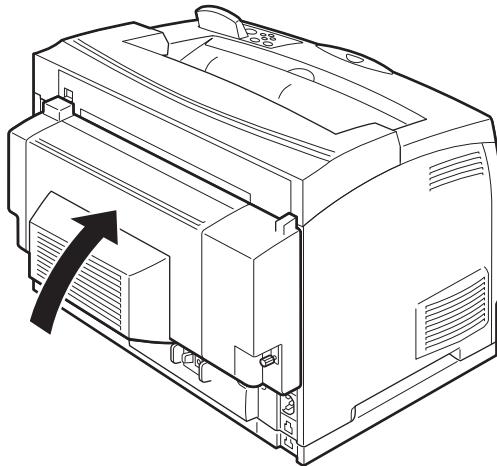
POINT

- 両面ユニットのカバーを開くと、オペレータパネルに「0023 カバーオープン リョウメンカバー」というエラーメッセージが表示されます。
- また、両面ユニットのカバーを閉じると、エラーメッセージの内容が変わることがあります。

- 2 カバー内部を確認し、詰まっている用紙があれば取り除きます。**
用紙が破れた場合は、紙片が内部に残っていないかどうかを確認してください。



- 3 両面ユニットのカバーを閉じます。**



2 故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。まず、次の各項目をご確認ください。

POINT

- パソコンのアプリケーションからの印刷時やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『ソフトウェアガイド』の「こんなときには」をご覧ください。

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 電源が入らない 電源を入れても すぐに切れる | <ul style="list-style-type: none">電源コードが抜けている。停電した。コンセントに問題がある。電圧が違う。プリンタ背面の漏電ブレーカースイッチが「OFF」になっている。 | <ul style="list-style-type: none">電源コードを確実に差し込み、電源が入っている（「 」側に倒れいる）ことを確認してください。他の電気製品が動作することを確認してください。コンセントの電圧を調べてください。プリンタ背面の漏電ブレーカースイッチが「ON」になっていることを確認してください。「OFF」になっている場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→ P.209）にご連絡ください。 | <ul style="list-style-type: none">「安全上のご注意」（→ P.10）『設置ガイド』「各部の名称と機能」（→ P.20） |
| 印刷されない | <ul style="list-style-type: none">プリンタの電源が入っていない。LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタ USB ケーブルが抜けている。オンライン状態でない。 | <ul style="list-style-type: none">LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタ USB ケーブルが外れていないか確認してください。オンラインランプが点灯し、「オンライン」と表示されていることを確認してください。 | <ul style="list-style-type: none">『設置ガイド』「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.30）「パラレルケーブル接続の場合」（→ P.33）「プリンタ USB ケーブル接続の場合」（→ P.36） |
| 正しい用紙を セットしている のに、エラーが 表示される | A4 サイズの用紙をセットしているのに、プリンタがレターサイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが表示される。 | <ul style="list-style-type: none">Printianavi 機能を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。カセットの縦／横ガイドのクリップが正しくセットされているか確認してください。 | <ul style="list-style-type: none">『ソフトウェアガイド』「用紙をセットする」（→ P.62） |
| オペレータパネルのスイッチが 機能しない | オペレータパネルの操作が制限されている。 | オペレータパネルの操作制限を解除してください。 | 「オペレータパネルの操作制限」（→ P.128） |
| オペレータパネルのスイッチが ときどき機能しない | <ul style="list-style-type: none">スイッチを確実に押していない。プリンタの状態で効かないスイッチがある。 | スイッチの中央部をしっかりと押してください。 | 「オペレータパネルの操作」（→ P.103） |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---------------|--|--|--|
| 異常音がする | <ul style="list-style-type: none"> プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。 給紙カセットの装着が不完全。 両面ユニットの装着が不完全。 | <ul style="list-style-type: none"> プリンタ内部を点検してください。 給紙カセットを完全に装着してください。 両面ユニットを完全に装着してください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「用紙をセットする」(→ P.62) 「紙詰まりになったとき」(→ P.142) 「両面ユニットの取り付け」(→ P.47) |
| 用紙が傾く、破れる、詰まる | <ul style="list-style-type: none"> 用紙が正しくセットされていない。 用紙が適切でない。 プリンタが水平でない。 紙送りローラが汚れている。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。 給紙トレイのサイドガイド、給紙カセットの縦／横ガイドのクリップが正しくセットされていない。 | それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。用紙やプリンタの設置状態に異常がなければ、紙送りローラが汚れていないか確認してください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「安全上のご注意」(→ P.10) 「使用できる用紙と保管方法」(→ P.131) 「プリンタを清掃する」(→ P.88) |
| 用紙が二重送りされる | <ul style="list-style-type: none"> 用紙どうしがくっついてしまう。 紙送りローラが汚れている。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 用紙をよくさばいてください。 ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。 紙送りローラが汚れていないか確認してください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「用紙をセットする」(→ P.62) 「使用できる用紙と保管方法」(→ P.131) 「プリンタを清掃する」(→ P.88) |
| 紙詰まりが発生する | <ul style="list-style-type: none"> 用紙がくっつきやすい。 用紙が正しくセットされていない。 用紙が適切でない。 プリンタが水平でない。 紙送りローラが汚れている。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。 印刷中に給紙カセットを引き抜いた。 給紙カセットが正しくセットされていない。 用紙が吸湿している。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 用紙のセット方向を確認してください(A4は横送り、縦送りの両方でセットできます)。 B5、A5、レターサイズの用紙は、横送りでセットしてください。 A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦送りでセットしてください。 紙送りローラが汚れていないか確認してください。 A4サイズであれば、LEF(横送り方向)とSEF(縦送り方向)を変更することで改善される場合があります。ただし、SEFに変更すると、LEFに比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。 A4LEF、B5、A5など、LEF(横送り方向)にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。A4SEF、B4、A3など、SEF(縦送り方向)にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。 | <ul style="list-style-type: none"> 「安全上のご注意」(→ P.10) 「使用できる用紙と保管方法」(→ P.131) 「紙詰まりになったとき」(→ P.142) 「プリンタを清掃する」(→ P.88) |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---|--|--|---|
| 給紙カセットの出し入れができるない | <ul style="list-style-type: none"> 印刷中に電源を切った。 紙詰まりが発生している。 給紙カセットのふたがずれている。 拡張給紙ユニットの固定クリップが外れている、または外れかけている。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 電源を「○」側に倒して切り、数秒経過後に入れてください。 給紙カセットのふたは、必ず閉めて使用してください。 拡張給紙ユニット内に、固定クリップが落ちていないか確認してください。 拡張給紙ユニット内の固定クリップが外れかけていないか確認してください。 | <ul style="list-style-type: none"> 『設置ガイド』 「紙詰まりになったとき」(→ P.142) |
| エラーメッセージが表示され、印刷されない | — | それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 | 「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.174) |
| 裏面が汚れる | <ul style="list-style-type: none"> プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 転写ローラが汚れている。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。 | <p>数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。</p> <p>オペレータパネルでプリンタをメニュー モードにして、テスト印刷をしてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 「プリンタを清掃する」(→ P.88) 「基本的な操作方法」(→ P.112) 「使用できる用紙と保管方法」(→ P.131) |
| 用紙がないのにブザーが鳴らない | <ul style="list-style-type: none"> ブザーが鳴らない設定にしている。 給紙トレイから用紙を補給している。 | <ul style="list-style-type: none"> オペレータパネルでプリンタをメニュー モードにして、ブザーの設定値を「ON」にしてください。 給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。 | 「基本的な操作方法」(→ P.112) |
| プロセスカートリッジを取り付けても、カートリッジなしとエラーが表示される | <ul style="list-style-type: none"> 他社製のプロセスカートリッジを取り付けている。 プロセスカートリッジが故障している。 | <ul style="list-style-type: none"> 他社製のプロセスカートリッジを使用していないか確認してください。 上部カバーを開いている場合には、上部カバーを閉じてください。 純正のプロセスカートリッジを使用していて、次のエラーメッセージが表示される場合にはプロセスカートリッジが故障しています。新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| 印刷開始時や印刷中に「JUNIPER」と表示される | 印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した。 | 定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。 | — |
| 印刷中に「クールダウン」と表示される | <ul style="list-style-type: none"> 大量に両面連続印刷した。 用紙サイズが切り替わった。 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイの表示が判読できない プリンタの動作が安定しない ハングアップする | 静電気による誤作動が起きた。 | アースが正しく接続されていることを確認してください。 | 「安全上のご注意」(→ P.10) |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|--|---|--|--|
| 連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い (1ページ以下/分) | アプリケーション側で印刷処理に時間がかかっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 解像度を下げてみてください。 他のアプリケーションと印刷速度を比べてみてください。 |  『ソフトウェアガイド』 「定期交換部品について」(→ P.202) |
| 連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い (ユーザ定義サイズの用紙を使用) | — | プリンタの異常ではありません。 | 「ユーザ定義サイズの普通紙を印刷する場合の印刷速度」(→ P.196) |
| <ul style="list-style-type: none"> ネットワークに接続できない (オペレータパネルのリンクランプが点灯しない) ネットワーク経由での印刷速度が遅い | <ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが抜いている。 通信速度に適していない LAN ケーブルを使用している。 プリンタ、もしくはハブユニットの Ethernet タイプが一致していない。 | <ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが外れていないか確認してください。 通信速度に適した LAN ケーブルをご使用ください。 プリンタ、またはハブユニットの Ethernet タイプを変更してください。印刷速度が向上する場合があります。 Ethernet タイプには速度 (自動、100Mbps、10Mbps)、双方向モード (Full、Half) があります。 | 「LAN ケーブル接続の場合」(→ P.30) |

3 印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。

ここで説明する処置を行っても印刷品質が改善されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) にご連絡ください。

⚠ 警告

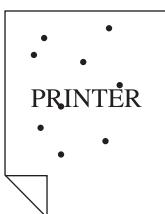


- ・プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

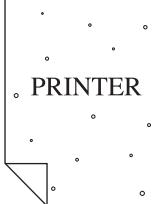
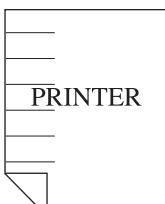
表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---|--|--|---|
| 印刷が薄い（かすれる、不鮮明）  | 印字濃度の設定が適正でない。 シールドガラスが汚れている。 用紙が湿気を含んでいる。 プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXカートリッジ シュンヒ | 印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニュー モードにして、「ソノタノセッティ」の「インジノウドチョウセイ」で設定してください。 シールドガラスを清掃してください。 新しい用紙に交換してください。 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 プロセスカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ、汚れ、かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月（開封後は1年間）の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。 | 「オペレータパネルの操作」(→ P.103) 「シールドガラスの清掃」(→ P.89) 「用紙をセットする」(→ P.62) 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月（開封後は1年間）の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。 | |
| | プリンタドライバで「ドット径を補正する」が☑になっている。 | プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「ドット径を補正する」を☑にすると、ドット径を小さくして印刷します。 「ドット径を補正する」を□にしてください。 | 『ソフトウェアガイド』 |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---|--|---|---|
| | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。また、普通紙／再生紙でこの現象が発生した場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 H」（トナーの定着温度を少し高くする設定）を選択することで改善される場合があります。 | 「使用できる用紙」（→ P.132） 『ソフトウェアガイド』 |
| | 解像度が 1200dpi の設定で 1dot/1line 線を印刷している。 | プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「写真をきれいに印刷する」を <input checked="" type="checkbox"/> にする、または解像度を落とすことで、改善される場合があります。 | 『ソフトウェアガイド』 |
| | 図形の網かけなど、パターンで塗りつぶした文書が薄い | プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「図形の中塗りパターンを拡大する」を <input checked="" type="checkbox"/> にする、または解像度を 300dpi にすると、改善される場合があります。 | 『ソフトウェアガイド』 |
| 黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される  | 使用している用紙が適切でない。 | 適切な用紙をセットしてください。 | ・「印刷確認済みの用紙」（→ P.204） ・「使用できる用紙」（→ P.132） ・「使用できない用紙」（→ P.138） ・「オペレータパネルの操作」（→ P.103） |
| | トナー残量が少なくなった。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.82） |
| | 定期交換キットの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。   | オペレータパネルに表示されている定期交換キット、または 600K 交換キットの交換を依頼してください。 | 「定期交換部品について」（→ P.202） |
| | 紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。 | オペレータパネルでプリンタをメニュー モードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 | ・「オペレータパネルの操作」（→ P.103） ・「プリンタ内部を清掃する」（→ P.89） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.142） |

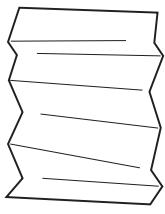
表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---|--|---|---|
| 新しいプロセスカートリッジに交換した後、小円「。」が用紙全体に印刷される | プロセスカートリッジの保管状態によっては、ごくまれに小円「。」が印刷される。 | オペレータパネルでプリンタをメニュー modeにして、小円「。」が印刷されなくなるまで(10枚程度)、テスト印刷を行ってください。 | 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(→ P.87) |
|  | | | |
| 黒線が印刷される | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
|  | | | |
| 等間隔に汚れる | プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 | 数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 | 「オペレータパネルの操作」(→ P.103) |
|  | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| 黒く塗りつぶされた部分に白点がある | 使用している用紙が適切でない。 | 適切な用紙をセットしてください。 | ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |
|  | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。また、普通紙／再生紙でこの現象が発生した場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 H」(トナーの定着温度を少し高くする設定)を選択することで改善される場合があります。 | 「使用できる用紙」(→ P.132) 『ソフトウェアガイド』 |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|------------------|--------------------------------------|---|--|
| PRINTER | 用紙が湿気を含んでいる。 | 新しい用紙に交換してください。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| | 定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。 | 定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。 | 「定着器」(→ P.23) |
| | 使用している用紙が適切でない。 一度印刷された用紙を使用している。 | 適切な用紙をセットしてください。 | ・「印刷確認済みの用紙」(→ P.204) ・「使用できる用紙」 (→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |
| | 裏紙を使用している。 | | |
| | 結露している。 | プリンタを室温に充分になじませてください。 | — |
| | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。また、普通紙／再生紙でこの現象が発生した場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 H」(トナーの定着温度を少し高くする設定)を選択することで改善される場合があります。 | 「使用できる用紙」(→ P.132) 『ソフトウェアガイド』 |
| 用紙全体に黒色が付いて印刷される | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。 | 「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。 | 「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) |
| | プロセスカートリッジが正しくセットされていない。 | プロセスカートリッジを正しくセットしてください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| 何も印刷されない | プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。 | トナーシールを引き抜きます。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | 一度に複数枚の用紙が搬送されている。 | 用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| | プロセスカートリッジが正しくセットされていない。 | プロセスカートリッジを正しくセットしてください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | プロセスカートリッジが寿命、劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) |
| | プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。 | 「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。 | 「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---|---|---|--|
|  PRINTER PRINTER | シールドガラスが汚れている。 | シールドガラスを清掃してください。 | 「シールドガラスの清掃」(→ P.89) |
| | 用紙が湿気を含んでいる。 | 新しい用紙に交換してください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| | 使用している用紙が適切でない。 | 適切な用紙をセットしてください。 | ・「印刷確認済みの用紙」(→ P.204) ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |
| | トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | プロセスカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXX XXXX XXXX XXXX カートリッジ シュンヒ | | |
|  用紙にシワが付く | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。また、普通紙／再生紙でこの現象が発生した場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 H」(トナーの定着温度を少し高くする設定)を選択することで改善される場合があります。 | 「使用できる用紙」(→ P.132) 『ソフトウェアガイド』 |
| | 用紙のセットが適切でない。 | 用紙を正しくセットしてください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| | 用紙が湿気を含んでいる。 | 新しい用紙に交換してください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| | 定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。 | 定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。 | 「定着器」(→ P.23) |
| | 使用している用紙が適切でない。 一度印刷された用紙を使用している。 | 適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。 | ・「印刷確認済みの用紙」(→ P.204) ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |
| | 裏紙を使用している。 | | |
| | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。「普通紙 L」に設定し、印刷してください。 | 「使用できる用紙」(→ P.132) 『ソフトウェアガイド』 |

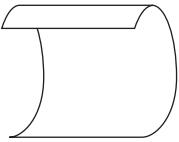
表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|----------|---|---|---|
| 文字がにじむ | 用紙が湿気を含んでいる。 使用している用紙が適切でない。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXX XXXX XXXX カートリッジ シュンヒ | 新しい用紙に交換してください。 適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) ・「印刷確認済みの用紙」(→ P.204) ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| 縦長に白抜けする | プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。 シールドガラスが汚れている。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXX XXXX XXXX カートリッジ シュンヒ | いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットしてください。 シールドガラスを清掃してください。 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) 『『ソフトウェアガイド』』 「シールドガラスの清掃」(→ P.89) 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。また、普通紙／再生紙でこの現象が発生した場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 H」(トナーの定着温度を少し高くする設定)を選択することで改善される場合があります。 | 「使用できる用紙」(→ P.132) 『『ソフトウェアガイド』』 |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|------------------------------|--|---|---|
| 不要なトナーが付く | 印字濃度の設定が適正でない。  | 印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリントをメニュー モードにして、「ソノタノセッティ」の「インジノウドチョウセイ」で設定してください。 | 「オペレータパネルの操作」(→ P.103) |
| | 使用している用紙が適切でない。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。 | 適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「印刷確認済みの用紙」(→ P.204) ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |
| | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。プロセスカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ、汚れ、かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月（開封後は1年間）の有効期限を設定していますので、有効期限内の使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| | 紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。 | オペレータパネルでプリントをメニュー モードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「オペレータパネルの操作」(→ P.103) ・「プリンタ内部を清掃する」(→ P.89) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.142) |
| 太い文字や図形に影が出る ^[注1] | 解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。  | プリンタドライバの「グラフィックス」タブで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。 | 『ソフトウェアガイド』 |
| | 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。 | 適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「印刷確認済みの用紙」(→ P.204) ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |
| | プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 | 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |

表：確認項目

| こんなとき | よくある例 | ここをお調べください | 参照先 |
|---|---------------------------------|---|-----------------------------------|
| 用紙がカールする  | 用紙のセットが適切でない。 | 用紙を正しくセットしてください。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| | 用紙の表裏を間違っている。 | 用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は、開封面が印刷面です。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| | 用紙が湿気を含んでいる。 | 新しい用紙に交換してください。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| | プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。「普通紙L」に設定し、印刷してください。 | 「使用できる用紙」(→ P.132) 『ソフトウェアガイド』 |

注1 : 横送り(LEF)の場合

4 メッセージ一覧

オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージと、「Printianavi2」または「Printianavi」、および「Printia LASER Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

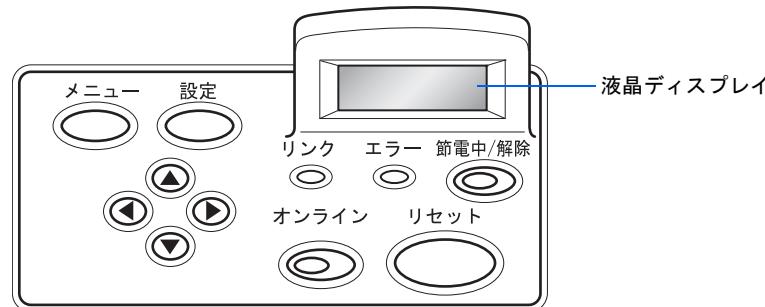
- ・「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.174)
- ・「Windows 画面に表示されるメッセージ一覧」(→ P.184)

オペレータパネルに表示されるメッセージ

プリンタでエラーなどが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。次の表に従って処置してください。

POINT

- ・ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、次をご覧ください。
 - ・「オンライン（印刷できる状態）時の表示内容」(→ P.108)
 - ・「エラーメッセージ一覧」(→ P.174)
 - ・「警告メッセージ一覧」(→ P.183)



[注]ここでは例として、XL-9440D/9440E/9380E のオペレータパネルのイラストを使用しています。
スイッチ名が一部異なりますが、XL-9440/9380 のオペレータパネルでも基本的な操作方法は同じです。

エラーメッセージ一覧

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|--------------------------------|---|--------------------|
| 0006 カバーオープン ウエ/ハイメンカバー | 上カバーまたは背面カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。 | - |
| 0023 カバーオープン リョウメンカバー | 両面ユニットのカバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。 | - |
| 1007 カセット ナシ カセット ヲ イレテクダサイ | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます(メニュー mode で給紙トレイの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|----------------------------------|---|--------------------|
| 1010 キュウシトレイ ナシ トレイ ヲ イレテクダサイ | 給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイがセットされていない場合に表示されます。 給紙トレイをセットしてください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1021 カセット ナシ カセット1 ヲ イレテクダサイ | 給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1022 カセット ナシ カセット2 ヲ イレテクダサイ | 表示された給紙カセット(1~4)に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると、印刷を開始します。 | |
| 1023 カセット ナシ カセット3 ヲ イレテクダサイ | | |
| 1024 カセット ナシ カセット4 ヲ イレテクダサイ | | |
| 1100 ヨウシナシ ccccccc → キュウシトレイ | 給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙では、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1101 ヨウシナシ ccccccc → カセット1 | 給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット1に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット1に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1102 ヨウシナシ ccccccc → カセット2 | 給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット2に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット2に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1103 ヨウシナシ ccccccc → カセット3 | 給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット3に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット3に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1104 ヨウシナシ ccccccc → カセット4 | 給紙カセット4を指定して印刷したときに、給紙カセット4に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット4に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1106 ヨウシナシ ccccccc → トレイ/カセット | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 自動給紙対象の給紙カセット(1~4)または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1107 ヨウシナシ ccccccc → カセット | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます(メニュー mode で給紙トレイの自動給紙設定を「ムコウ(無効)」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセット(1~4)に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|------------------------------------|--|--|
| 1220 サイズフィッチ ccccccc → キュウシトレイ | 給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1221 サイズフィッチ ccccccc → カセット1 | 給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット1の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット1に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1222 サイズフィッチ ccccccc → カセット2 | 給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット2の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット2に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1223 サイズフィッチ ccccccc → カセット3 | 給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット3の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット3に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1224 サイズフィッチ ccccccc → カセット4 | 給紙カセット4を指定して印刷したときに、給紙カセット4の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット4に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1226 サイズフィッチ ccccccc → トレイ／カセット | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット(1～4)または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの縦／横のガイドグリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦／横のガイドグリップが正しく設定されているか確認してください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1227 サイズフィッチ ccccccc → カセット | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 1320 サイズカクニン ccccccc → キュウシトレイ | <ul style="list-style-type: none"> ・給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「用紙をセットする」(→ P.62) ・「使用できる用紙」(→ P.132) ・「使用できない用紙」(→ P.138) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|----------------------------------|--|---|
| 1321 サイズカクニン ccccccc → カセット 1 | <ul style="list-style-type: none"> カセット1から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「用紙をセットする」 (→ P.62) 「使用できる用紙」(→ P.132) 「使用できない用紙」 (→ P.138) |
| 1322 サイズカクニン ccccccc → カセット 2 | <ul style="list-style-type: none"> カセット2から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「用紙をセットする」 (→ P.62) 「使用できる用紙」(→ P.132) 「使用できない用紙」 (→ P.138) |
| 1323 サイズカクニン ccccccc → カセット 3 | <ul style="list-style-type: none"> カセット3から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「用紙をセットする」 (→ P.62) 「使用できる用紙」(→ P.132) 「使用できない用紙」 (→ P.138) |
| 1324 サイズカクニン ccccccc → カセット 4 | <ul style="list-style-type: none"> カセット4から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「用紙をセットする」 (→ P.62) 「使用できる用紙」(→ P.132) 「使用できない用紙」 (→ P.138) |
| 1400 サイズフソク A4 LEF → キュウシトレイ | 「設定の印刷」時に給紙トレイにA4 LEF方向(横送り)より小さい用紙がセットされているときに表示されます。給紙トレイにA4をLEF(横送り)の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5以上の大きさで再度印刷してください。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |
| 2200 カミヅマリ キュウシトレイ | 紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、給紙トレイ、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット/給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。 | <ul style="list-style-type: none"> 「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」 (→ P.147) 「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」 (→ P.154) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|--|--|---|
| 2201 カミヅマリ カセット1 | 紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、給紙トレイ、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。 | ・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.145) ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2202 カミヅマリ カセット2 | | 「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2203 カミヅマリ カセット3 | | |
| 2204 カミヅマリ カセット4 | | |
| 2210 カミヅマリ プリンタナイブ | | |
| 2211 カミヅマリ プリンタナイブ | | ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) |
| 2212 カミヅマリ キュウシトレイ ヲ ヒキダス | | ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2213 カミヅマリ リョウメン ユニット | | ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」(→ P.147) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.160) |
| 2221 カミヅマリ ハイシグチ | | ・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.150) |
| 2222 カミヅマリ ハイシグチ | | ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2223 カミヅマリ ハイシグチ | | |
| 2232 カミヅマリ リョウメン ユニット | | ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |
| 2233 カミヅマリ リョウメン ユニット | | ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.160) |
| 2234 カミヅマリ リョウメン ユニット | | |
| 2312 ヨウシノコリ プリンタナイブ／リョウメン 〔注〕「／リョウメン」は両面ユニットを取り付けている場合 | | |
| 2321 ヨウシノコリ ハイシグチ | | ・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.150) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.154) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|-----------------------------------|--|--|
| 2333 ヨウシノヨリ リョウメン ユニット | 紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、給紙トレイ、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。 | ・「プリンタ内部に詰 まった用紙を取り除く」(→ P.154) ・「両面ユニットに詰 まった用紙を取り除く」(→ P.160) |
| 5003 トレイフル ハイストレイ カクニン | 排出用紙がトレイにたまりすぎている場合に表示されます。 排紙トレイのすべての用紙を取り除くと印刷を開始／再開します。 | — |
| 7002 メモリオーバー 1ブ インサツ→セッティ | メモリを増設しているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」または「Printianavi」使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると1部のみ印刷します。「Printianavi2」または「Printianavi」未使用時は、「設定」スイッチを押すと1部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが「Printianavi2」または「Printianavi」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。 | — |
| 7003 メモリフソク カタメン インサツ→セッティ | メモリを増設していない状態で A3、B4、Legal の用紙を 1200dpi で両面印刷するときに、次の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を <input checked="" type="checkbox"/> にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が <input type="checkbox"/> のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」または「Printianavi」使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると片面で印刷されます。「Printianavi2」または「Printianavi」未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷されます。 | 「プリンタRAMモジュー ルの取り付け」(→ P.42) |
| 7004 キュウシシティ エラー ジドウキュウシ ムコウ | すべての給紙口に対し、メニュー mode の自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニュー mode の自動給紙設定を「ユウコウ（有効）」にして、印刷をし直してください。 | 「基本的な操作方法」(→ P.112) |
| 7005 アンダーラン エラー インサツ セッティ カクニン | 印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。 | — |
| 7007 カイゾウドムコウ インサツ セッティ カクニン | プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。 | — |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|--------------------------------------|--|-----------------------|
| 7008 データ エラー インサツデータ カクニン | 印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」または「Printianavi」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。 | — |
| 7009 データ エラー インサツデータ カクニン | | |
| 7020 データ エラー インサツデータ カクニン | | |
| 9001 コントローラ エラー RAM エラー | ROM および RAM の異常を検出した場合に、「デングン ヲ OFF / ON シテクダサイ」というメッセージと交互に表示されます。 | — |
| 9002 コントローラ エラー フォント ROM エラー | いったん電源を切り、再度入れてください。 | |
| 9003 コントローラ エラー MAC アドレスエラー | それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | |
| 9004 コントローラ エラー Flash-ROM エラー | | |
| 9005 コントローラ エラー LSI アクセスエラー | | |
| 9006 コントローラ エラー EEPROM エラー | | |
| 9007 コントローラ エラー プログラム ROM エラー | | |
| 9008 コントローラ エラー USB デバイス エラー | | |
| 9101 カクチョウメモリエラー メモリ ヲ コウカン | | |
| 9102 メモリバス エラー カクチョウメモリ トリハズ シ | | |
| 9103 セッティメモリ エラー トウロク ショキカ シマス | | |
| 9104 ログメモリ エラー データ ショキカ シマス | | |
| 9105 プログラム エラー | | |
| 9106 コントローラ エラー FPGA アクセスエラー | | |
| 9107 コントローラ エラー FPGA ソフトエラー | | |
| H073 ユニット カクニン リョウメン ユニット | 両面ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | 「両面ユニットの取り付け」(→ P.47) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|--|---|---------------------------|
| H074 ユニット カクニン ティチャクキ | 定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、背面カバーを開けて定着器が正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | 「定着器」(→ P.23) |
| H075 ユニット カクニン カクチョウ キュウシ | 拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | 「拡張給紙ユニットの取り付け」(→ P.52) |
| K001 カートリッジカクニン カートリッジ ナシ | プロセスカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 プロセスカートリッジをセットしてください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| K003 カートリッジコウカン カートリッジ ジュミョウ | メニュー mode で「カートリッジ ジュンビ」→「ティシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）が近づくと表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10枚以下）の印刷は可能です。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| K004 カートリッジ エラー プロセスカートリッジ フ イッチ | セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジを交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| K013 カートリッジコウカン カートリッジ ジュミョウ | メニュー mode で「カートリッジ ジュンビ」→「ティシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に近い）が近づくと表示されます。特に、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあってもプロセスカートリッジの感光体（ドラム）が寿命に近づき、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10枚以下）の印刷は可能です。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| K014 カートリッジコウカン カートリッジ ジュミョウ | プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に達した）になると表示されます。特に、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあってもプロセスカートリッジの感光体（ドラム）が寿命に達し、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10枚以下）の印刷は可能です。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |

表：エラーメッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|---------------------------------|---|--------------------------|
| K023 カートリッジコウカン カートリッジ ジュミョウ | メニュー モードで「カートリッジ ジュンビ」→「ティシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に近い、かつトナー残量が少ない）が近づくと表示されます。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10枚以下）の印刷は可能です。 | 「プロセスカートリッジを交換する」（→P.82） |
| K024 カートリッジコウカン カートリッジ ジュミョウ | プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に達した、かつトナー残量が少ない）になると表示されます。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10枚以下）の印刷は可能です。 | 「プロセスカートリッジを交換する」（→P.82） |
| M001 ハード エラー ティチャクキ エラー | ハードウェアの異常を検出した場合に、「デングン ヲ OFF / ON シテクダサイ」というメッセージと交互に表示されます。 | — |
| M002 ハード エラー ROS モータ エラー | いったん電源を切り、再度入れてください。 | |
| M003 ハード エラー メイン モータ エラー | それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」（→P.209）へご連絡ください。 | |
| M004 ハード エラー ファン エラー | | |
| M005 ハード エラー メモリ エラー | | |
| M006 ハード エラー メモリ エラー | | |
| M007 ハード エラー メモリ エラー | | |
| M101 ハード エラー ツウシン エラー | | |
| M102 ハード エラー ツウシン エラー | | |
| M103 ハード エラー ツウシン エラー | | |
| M201 ハード エラー タイムアウト エラー | | |
| M202 ハード エラー タイムアウト エラー | | |

警告メッセージ一覧

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段に表示します。

警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

- ・警告メッセージの例

オンライン
カセットカクニン1

POINT

- ・警告が複数発生している場合は、次の表の該当する警告が、表の上から順番に交互に表示されます。

表：警告メッセージ一覧

| 表示メッセージ | 表示内容と処置 |
|-----------|---|
| データアリ | 未処理データがある状態です。 |
| カートリッジ | プロセスカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。新しいプロセスカートリッジをセットしてください。 なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。[注1] ・「カートリッジ コウカン」：プロセスカートリッジの交換時期 ・「カートリッジ ジュンビ」：プロセスカートリッジの交換準備 |
| ソウチジュミョウ | 本製品の寿命として規定している印刷ページ数に近づいた場合に表示されます。残り寿命が20%（消耗率80%）になると、20%、10%、0%と、10%単位で残り寿命が表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくとも、装置導入後5年を経過した場合は装置寿命となります。 詳しくは、「本体仕様」（→P.194）をご覧ください。 なお、オフライン中は、次の表示になります。 ・「ソウチジュミョウ ノコリ xx%（xx: 20, 10）」 |
| 600K コウカン | 600K交換キットの交換時期になると表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」（→P.209）へご連絡ください。 なお、オフライン中は、次の表示になります。 ・「600K コウカンキット」 |
| ティキコウカン | 定期交換キットの交換時期になると表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」（→P.209）へご連絡ください。 なお、オフライン中は、次の表示になります。 ・「ティキコウカンキット」 |
| カセットカクニンn | セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください（n: カセット番号）。 |

注1：プリンタのオペレータパネルから、「メニュー／モード」→「ショキセッティ」→「カートリッジ ジュンビ」（→P.117）の設定で、プロセスカートリッジの交換時期が近づくと印刷を停止させることができます。

Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

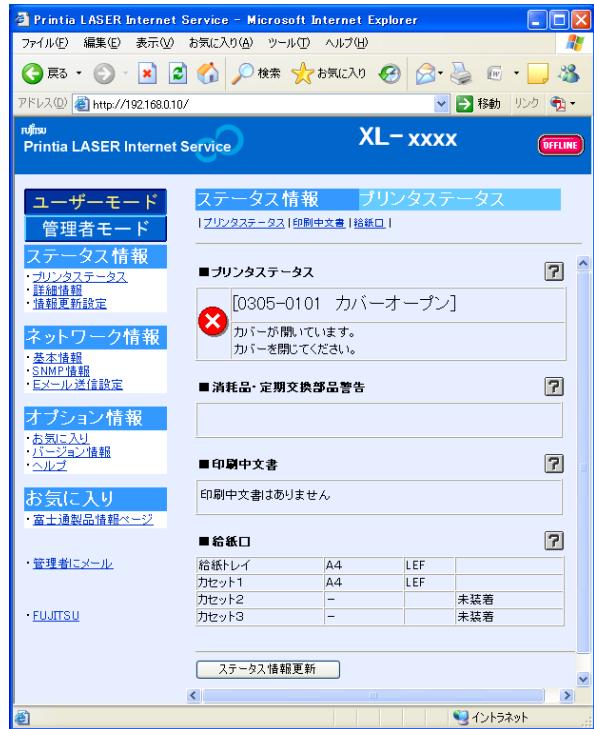
「Printianavi2」または「Printianavi」、および「Printia LASER Internet Service」を利用時に、Windows 画面に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

「Printianavi2」または「Printianavi」、および「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

■ 「Printianavi2」／「Printianavi」の場合



■ 「Printia LASER Internet Service」の場合



表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「*****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|-----------|---|--|------------------------|
| 0000 2000 | [情報取得中...] しばらくお待ちください。 | プリンタの状態情報を取得中に表示されます。 | — |
| 0000 2000 | 通信中 | プリンタと通信中に表示されます。 | — |
| 0300 0101 | [*****] プリンタリセット] プリンタがリセットされました。 | プリンタをオンラインにしてください。 | 「オペレータパネルの操作」(→ P.103) |
| 0300 0102 | [*****] オフライン] プリンタがオフラインとなっています。 | | |
| 0300 0103 | [*****] リモート設定中] プリンタがリモート設定中です。 | しばらくお待ちください。 | — |
| 0300 0104 | [*****] プリンタリセット] プリンタが初期化中です。 | | — |
| 0301 00** | [*****] 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます(メニュー モードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」(→ P.62) |

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****_****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|-----------|---|--|------------------------|
| 0301 01** | [****_**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット1に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット1に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0301 02** | [****_**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット2に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット2に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0301 03** | [****_**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット3に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット3に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0301 04** | [****_**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 給紙カセット4を指定して印刷したときに、給紙カセット4に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット4に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0301 10** | [****_**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます（メニュー モードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセット（1～4）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0301 80** | [****_**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。 | 給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙では、「ヨウシナシ」を検知するまでに数秒かかる場合があります。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 11** | [****_**** カセットなし] 給紙カセット1がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。 | 給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 カセット*で表示された給紙カセット（1～4）に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 12** | [****_**** カセットなし] 給紙カセット2がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。 | | |
| 0304 13** | [****_**** カセットなし] 給紙カセット3がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。 | | |
| 0304 14** | [****_**** カセットなし] 給紙カセット4がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。 | | |
| 0304 20** | [****_**** カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。 | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます（メニュー モードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「***-***」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|-----------|--|---|------------------------|
| 0304 30** | [***-*** 用紙サイズ不一致] プリンタにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット（1～4）または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの縦／横のガイドグリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦／横のガイドグリップが正しく設定されているか確認してください。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 31** | [***-*** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット1にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット1の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット1に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 32** | [***-*** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット2にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット2の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット2に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 33** | [***-*** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット3にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット3の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット3に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 34** | [***-*** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット4にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 給紙カセット4を指定して印刷したときに、給紙カセット4の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット4に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 40** | [***-*** 用紙サイズ不一致] 給紙カセットにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 41** | [***-*** 用紙サイズ確認] 給紙カセット1の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット1の用紙を正しくセットし直してください。 | カセット1から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |
| 0304 42** | [***-*** 用紙サイズ確認] 給紙カセット2の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット2の用紙を正しくセットし直してください。 | カセット2から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 （→ P.62） |

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「***-***」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|---|---|--|-------------------------------|
| 0304 43** | [***-*** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 3 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 3 の用紙を正しくセットし直してください。 | カセット 3 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 44** | [***-*** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 4 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 4 の用紙を正しくセットし直してください。 | カセット 4 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 a60c | [***-*** 用紙サイズ不足] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイに A4 を LEF 方向（横置き）にセットし、プリンタ側の用紙サイズ設定スイッチを A4 に合わせると印刷を続行します。 | 「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 LEF 方向（横送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を LEF（横送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大ささで再度印刷してください。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 b0** | [***-*** 用紙サイズ不一致] 給紙トレイにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。 | 給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 c0** | [***-*** 用紙サイズ確認] 給紙トレイの設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙を正しくセットし直してください。 | 給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0304 e000 | [***-*** 紙詰まりなし] 給紙トレイがセットされていない為、印刷が行えません。 給紙トレイをセットしてください。 | 給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイがセットされていない場合に表示されます。 給紙トレイをセットしてください。 | 「用紙をセットする」 (→ P.62) |
| 0305 0003 | [***-*** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。 | 両面ユニットのカバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。 | — |
| 0305 0101 | [***-*** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。 | 上カバーまたは背面カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。 | — |
| 0313 1002 | [***-*** カートリッジ寿命] プロセスカートリッジの交換時期です。 | プロセスカートリッジを交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」 (→ P.82) |
| 0314 2200 2201 2202 2203 2204 2210 2211 2212 2213 2221 2222 2223 2232 2233 2234 | [***-*** 紙詰まり] 紙詰まりが発生しました。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニットに詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。 | 紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、給紙トレイ、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。 また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。 | 「紙詰まりになったとき」 (→ P.142) |

表 : Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注 : 実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|------------------------------|--|---|---------------------------|
| 0315 2312 2321 2333 | [****-**** 用紙残り] 用紙が装置内に残っています。 カバーを開け、カセット/プリンタ内/排紙口/両面ユニットに詰まつた紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。 | 紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外してプリンタ内部を確認してください。 | 「紙詰まりになったとき」(→ P.142) |
| 0319 0000 | [****-**** カートリッジなし] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットしてください。 | プロセスカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 プロセスカートリッジをセットしてください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| 0320 0001 | [****-**** トレイフル] 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 すべての用紙を取り除いてください。 | 排出用紙がトレイにたまりすぎている場合に表示されます。 排紙トレイのすべての用紙を取り除くと印刷を開始/再開します。 | — |
| 0330 0104 | [****-**** ユニット確認] ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、ユニットを正しく装着してください。 | 両面ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | 「両面ユニットの取り付け」(→ P.47) |
| 0330 0108 | [****-**** ユニット確認] 定着器が外れています。 プリンタの電源を切り、定着器を正しく装着してください。 | 定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、背面カバーを開けて定着器が正しく取り付けられているか確認し(定着器は高温になっており、直接触るとやけどすることがありますので、充分に注意してください)、背面カバーを閉じて、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | 「定着器」(→ P.23) |
| 0330 0707 | [****-**** ユニット確認] ユニットが正しく接続されていないか、故障しているため認識できません。 プリンタの電源を切り、ユニットの接続を確認してください。 | 拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | 「拡張給紙ユニットの取り付け」(→ P.52) |
| 0350 0601 | [****-**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 (ESC/Page) プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 処理を続行します。 | メモリオーバー(ESC/page コマンド受信中に登録領域が不足)が発生した場合に表示されます。 オペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 | — |
| 0350 0703 | [****-**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 (部単位印刷) プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 一部のみ印刷します。 | メモリを増設しているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」または「Printianavi」使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると1部のみ印刷します。「Printianavi2」または「Printianavi」未使用時、「設定」スイッチを押すと1部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが「Printianavi2」または「Printianavi」を使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。 | — |

表 : Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注: 実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「***-***」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|---|--|--|-------------------------------|
| 0350 0704 | [***-***] 論理エラー プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。 プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 片面印刷で続行します。 | メモリを増設していない状態でA3、B4、Legalの用紙を1200dpiで両面印刷するときに、次の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を <input checked="" type="checkbox"/> にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が <input type="checkbox"/> のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」または「Printianavi」使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」または「Printianavi」未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷されます。 | 「プリンタ RAM モジュールの取り付け」(→ P.42) |
| 0350 0706 | [***-***] 論理エラー 印刷中にアンダーランエラーが発生しました。 「プロテクトモードで印刷する」にチェックを付けるか、プリンタドライバの解像度を低く設定し直して、再度印刷してください。 | 印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切つてから行ってください。 | — |
| 0350 0708 | [***-***] 論理エラー 印刷できない解像度が指定されました。 印刷先のプリンタ装置に合ったプリンタドライバをインストールしてください。 | プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。 | — |
| 0350 070b 070c 070d | [***-***] 印刷データエラー 印刷処理中の印刷データにエラーがあります。 ケーブルが正しく接続されていることを確認し、再度印刷を行ってください。 | 印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」または「Printianavi」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。 | — |
| 0350 0712 | [***-***] 論理エラー プリンタの給紙口が全て自動給紙無効となっているため、自動給紙が行えません。 プリンタドライバで給紙口を指定するか、プリンタの自動給紙設定を有効にして、再度印刷してください。 | すべての給紙口に対し、メニュー モードの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニュー モードの自動給紙設定を「ユコウ（有効）」にして、印刷をし直してください。 | — |
| 0362 0000 0100 0200 0400 1000 2000 4000 8000 | [***-***] 未サポートプリンタ プリンタドライバが未サポートのプリンタに接続されています。 | 印刷先のプリンタに適合したプリンタドライバをインストールしてください。 | 『ソフトウェアガイド』 |
| 0420 0001 | [***-***] カートリッジ不一致 装着されたプロセスカートリッジは使えません。 プロセスカートリッジを交換してください。 | セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジを交換してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |
| 0420 1002 1003 2001 2002 | [***-***] カートリッジ寿命 プロセスカートリッジの交換時期です。 プロセスカートリッジを交換してください。 | プロセスカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のプロセスカートリッジを準備してください。 | 「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.82) |

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「***-***」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|---|--|---|-------------|
| 0500 d300 | [***-*** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | プリンタの電源を入れ直してください。 | — |
| 0520 d001 d002 d003 d004 d005 d006 d100 d201 d202 d203 d204 d211 d212 d213 d220 | [***-*** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | プリンタの電源を入れ直してください。 | — |
| 0700 0001 0002 0003 0004 000a 000b 000c 2001 2002 2003 2101 2102 | [***-*** ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。 | ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | — |
| 1500 0000 | [***-*** 応答なし] プリンタからの応答がありません。 | プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。 | — |
| 1520 ~ 1572 1574 ~ 1599 | [***-*** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | プリンタの電源を入れ直してください。 | — |
| 1573 0000 | [***-*** メモリ不足] メモリ不足が発生しました。 | プリンタが接続されているパソコンで、使用していないアプリケーションを終了してください。 | — |
| 1900 0000 | [***-*** システムエラー] システムエラーが発生しました。 | プリンタドライバ、「Printianavi ネットワークソフトウェア2」をインストールし直してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | — |
| 1901 ~ 1999 2900 ~ 2999 | [***-*** システムエラー] システムエラーが発生しました。 | プリンタドライバ、「Printianavi ネットワークソフトウェア2」をインストールし直してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) へご連絡ください。 | — |
| 5900 5901 | [***-*** システムエラー] システムエラーが発生しました。 | プリンタの電源を入れ直してください。 | — |
| 5500 5501 5502 5503 5504 5505 | [***-*** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | ネットワーク管理者に連絡し、プロキシサーバで処理できるHTTPリクエストのデータサイズを大きくするよう依頼してください。 | — |
| 5510 0000 | [***-*** 通信エラー] プロキシサーバとの通信でエラーが発生しました。 | ネットワーク管理者に連絡し、プロキシサーバで処理できるHTTPリクエストのデータサイズを大きくするよう依頼してください。 | — |
| 5511 0000 | [***-*** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | ポートの設定画面で、接続先のプリンタのURLを確認してください。 | 『ソフトウェアガイド』 |
| 5512 5520 | [***-*** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | プリンタの電源を入れ直してください。 | — |

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

| エラー番号 | 表示メッセージ | 表示内容と処置 | 参照先 |
|------------------------------|--|------------------------------------|---|
| 5521 | 0000 [****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。 |  『ソフトウェアガイド』 |
| 5522 5530 5531 5532 | 0000 [****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 | プリンタの電源を入れ直してください。 | — |
| 7510 | **** [****-**** 情報取得失敗] プリンタからの情報取得ができません。 | 環境を確認してください。 | — |

Memo

8

第8章

付録

この章では、本製品を使用するときに補助的に必要となること
がらについて説明します。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 1 仕様 | 194 |
| 2 オプション品一覧 | 200 |
| 3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24時間運用について | 201 |
| 4 サプライ品一覧 | 203 |
| 5 印刷確認済みの用紙 | 204 |
| 6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について | 206 |
| 7 アフターサービスについて | 209 |
| 8 安全データシート | 211 |

1 仕様

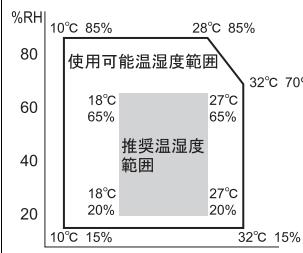
本製品の本体仕様とインターフェース仕様は、次のとおりです。

本体仕様

表：本体仕様

| 型名 | | XL-9440D/9440E/9380E/9440/9380 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|------|---------|------|-----------------|------|---------|------|--|--|--|--|--|--|
| 印刷方式 | 電子写真方式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 印刷速度 (コピー動作 による連続印 刷時) 単位：ページ/ 分 | 型名 | XL-9440D/9440E/9440 | | | | XL-9380E/9380 | | | | | | | | | |
| | 解像度 (dpi) | 300dpi / 600dpi | | 1200dpi | | 300dpi / 600dpi | | 1200dpi | | | | | | | |
| | 片面/両面 | 片面 | 両面 | 片面 | 両面 | 片面 | 両面 | 片面 | 両面 | | | | | | |
| | A4 LEF | 44.0 | 30.8 | 32.0 | 22.4 | 38.0 | 26.6 | 32.0 | 22.4 | | | | | | |
| | A4 SEF | 33.0 | 19.8 | 23.0 | 15.5 | 28.0 | 16.8 | 23.0 | 15.5 | | | | | | |
| | A3 | 25.0 | 15.0 | 18.0 | 12.2 | 21.0 | 12.6 | 18.0 | 12.2 | | | | | | |
| | A5 | 44.0 | 30.8 | 32.0 | 22.4 | 38.0 | 26.6 | 32.0 | 22.4 | | | | | | |
| | B4 | 28.0 | 16.8 | 20.0 | 13.6 | 24.0 | 14.4 | 20.0 | 13.6 | | | | | | |
| | B5 | 44.0 | 30.8 | 32.0 | 22.4 | 38.0 | 26.6 | 32.0 | 22.4 | | | | | | |
| | ユーザ定義サ イズの用紙 | [注 5] | — | [注 5] | — | [注 5] | — | [注 5] | — | | | | | | |
| | 長尺紙 | 1.7 ~ 3.6 | — | 1.0 | — | 1.7 ~ 3.6 | — | 1.0 | — | | | | | | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none">両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。ユーザ定義サイズの用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。大量に印刷すると、クールダウンのため、一時的に印刷速度が遅くなる場合があります。用紙幅の広い用紙から用紙幅の狭い用紙に切り替わった場合、クールダウンのため、一時的に印刷速度が遅くなる場合があります。 | | | | | | | | | | | | | |
| ウォームアップ時間 | 18 秒以下 (22 °C、電源電圧 100V 時) | | | | | | | | | | | | | | |
| エンジン解像度 | 600dpi / 1200dpi | | | | | | | | | | | | | | |
| データ処理解像度 | 300dpi×300dpi 600dpi×600dpi 1200dpi×1200dpi | | | | | | | | | | | | | | |
| スマージング処理 | Super FEIT (1200dpi 以外) [注] FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology | | | | | | | | | | | | | | |
| 用紙種類 | <ul style="list-style-type: none">給紙トレイ (標準) 普通紙／再生紙 (60g/ m² ~ 90g/ m²)、厚紙 1 (91g/ m² ~ 157g/ m²)、厚紙 2 (158g/ m² ~ 216g/ m²)、OHP フィルム、ラベル紙 1 (60g/ m² ~ 90g/ m²)、ラベル紙 2 (91g/ m² ~ 135g/ m²)、はがき、長尺紙給紙カセット (標準) 普通紙／再生紙、厚紙 1 (91g/ m² ~ 157g/ m²)、厚紙 2 (158g/ m² ~ 216g/ m²)、OHP フィルム拡張給紙ユニット (オプション) 普通紙／再生紙、厚紙 1 (91g/ m² ~ 157g/ m²)、厚紙 2 (158g/ m² ~ 216g/ m²) | | | | | | | | | | | | | | |
| 用紙サイズ | <ul style="list-style-type: none">給紙トレイ (標準) A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、郵便はがき、長尺紙 (幅 297 mm 固定、長さ 420.1 mm ~ 900.0 mm)、ユーザ定義サイズ (幅 90 ~ 297 mm、長さ 148 mm ~ 432 mm)給紙カセット (標準) / 拡張給紙ユニット (オプション) A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ (幅 90 ~ 297 mm、長さ 148 mm ~ 432 mm) | | | | | | | | | | | | | | |
| 給紙方式 [注 1] | 給紙カセットによる自動給紙 (収容枚数：550 枚、拡張給紙ユニット使用時：2400 枚) 給紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 200 枚 (はがき 60 枚)) | | | | | | | | | | | | | | |
| 両面印刷 (オプション) [注 8] | 用紙種類：普通紙 (60g/ m ² ~ 90g/ m ²) 用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル | | | | | | | | | | | | | | |
| 排紙方法 [注 7] | フェースダウンスタッカ (スタック枚数：500 枚) | | | | | | | | | | | | | | |

表：本体仕様

| 型名 | | XL-9440D/9440E/9380E/9440/9380 | | | | | | | |
|---------------------------------|-------------------|--|--|------------|----------|----------|--|--|--|
| 使用環境条件 | | 温度：10～32°C、湿度：15～85%RH（推奨紙使用時） 温度32°C以上のときは湿度70%RH以下、湿度が85%RH前後のときは温度28°C以下で使用してください（ただし、結露しないこと）。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、充分にプリンタの性能を発揮できない場合があります。 冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。  <p>推奨使用温湿度は、温度：18～27°C、湿度：20～65%RHです。</p> | | | | | | | |
| 電源・電源周波数 | | AC100V±10%、50/60Hz±2%～4%（安定した正弦波であること） [注]：矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。また、本製品は、突入電流がありますので、UPSに接続しないでください。 | | | | | | | |
| 消費電力 | 型名 | XL-9440D | XL-9440E | XL-9380E | XL-9440 | XL-9380 | | | |
| | 動作時 | 本体のみ：1200W以下、フルオプション時：1350W以下 | | | | | | | |
| | 節電時 | 5W以下【注9】 | 5W以下【注10】 | 20W以下【注11】 | | | | | |
| | 平均消費電力 (片面印刷時) | 845W以下 | 845W以下 | 805W以下 | 845W以下 | 805W以下 | | | |
| | 電源オフ時 | 0W【注6】 | | | | | | | |
| TEC 値 | | 3.383kWh | 3.415kWh | 3.160kWh | 4.235kWh | 4.031kWh | | | |
| 省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (2017年度基準) | 区分名 | C | | | | | | | |
| | 印刷速度 | モノクロ：44枚/分 | モノクロ：38枚/分 | | | | | | |
| | 年間消費電力 | 176kWh/年 | 178kWh/年 | 164kWh/年 | | | | | |
| 突入電流 | | 最大突入電流120A以下（定着器ヒーターON時突入時間：10m秒以下） | | | | | | | |
| 騒音 | | 動作時58dB(A)（フルオプション61dB(A)）、待機時34dB(A)（XL-9440D:37dB(A)） | | | | | | | |
| 外形寸法 | | 幅518mm、奥行き518(705)mm、高さ390mm ()：カセット延長時 | 幅518mm、奥行き429(628.5)mm、高さ390mm ()：カセット延長時 | | | | | | |
| 質量 | | 約26.0kg (消耗品、オプションを除く) | 約23.0kg (消耗品、オプションを除く) | | | | | | |
| インターフェース | | IEEE1284双方向パラレルポート USB2.0準拠USBインターフェース 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T LANポート | | | | | | | |
| 対応ネットワーク | | TCP/IP (IPP,HTTP,BPP,LPR,DHCP,SNMP,SMB,DNS,RAW (Port9100)) | | | | | | | |
| プリンターサイケンス【注2】 | | XLプリンタドライバ、ESC/P | | | | | | | |
| 文字・書体 | | ESC/P用：ANK、明朝体、ゴシック体 | | | | | | | |
| 耐用期間【注3】【注4】 | | 5年（8時間/日）または120万ページ印刷（A4サイズ横送り（□LEF））のいずれか早いほう | | | | | | | |

注1：収容枚数は64g/m²で換算

注2：データ処理解像度

- XLプリンタドライバ：1200dpi/600dpi/300dpi（スーパーFEIT：2400dpi×600dpi相当）
- ESC/P:180dpi

注3：耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源ON・OFFによる初期化動作の頻度などにより異なります。

推奨日間印刷ページ数は平均1000ページ、推奨月間印刷ページ数は20,000ページ以下です（A4サイズ横送り（□LEF）の場合）。

また、本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24時間運用について」（→P.201）をご覧ください。

注4：600K交換キット（定期交換部品）を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が60万ページ印刷になります。

注5：ユーザ定義サイズの用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義サイズの普通紙を印刷する場合の印刷速度」（→P.196）に記載の速度で印刷します。

- 注 6 : 本製品の電源プラグをコンセントから抜くことで、電源オフの状態でのエネルギー消費を避けることができます。
- 注 7 : 排紙枚数は 64g/ m²換算です。センサーで排出した用紙の高さを検知しているため、スタッカ枚数は約 500 枚 ±50 枚の誤差があります。
- 注 8 : XL-9440D は、両面ユニットを標準搭載しています。
- 注 9 : LAN/100BASE-T 時の値。1000BASE-T では 6W 以下となります。
- 注 10 : 節電モードへ移行後、最長で 20 分間は、5W 以上になる場合があります。
- 注 11 : FAN 停止後は 10W 以下（節電モードへ移行後、FAN 停止までは最長で 20 分かかります）

ユーザ定義サイズの普通紙を印刷する場合の印刷速度

表：ユーザ定義サイズの普通紙を印刷する場合の印刷速度（単位：ページ/分）

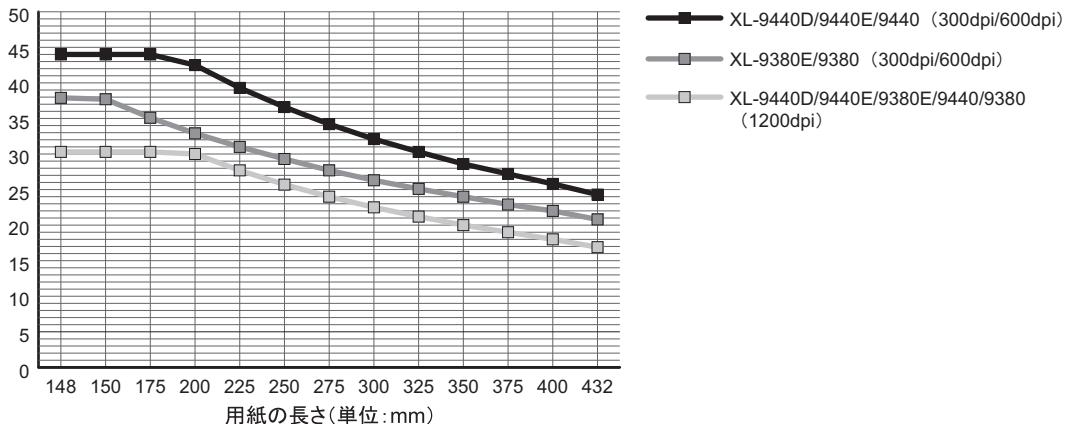
| ユーザ定義サイズ | XL-9440D XL-9440E XL-9440 | | XL-9380E XL-9380 | |
|-----------------------|---------------------------------|-------------|---------------------|-------------|
| | 300dpi/600dpi | 1200dpi | 300dpi/600dpi | 1200dpi |
| | 24.3 ~ 44.0 | 16.9 ~ 30.3 | 20.8 ~ 37.9 | 16.9 ~ 30.3 |
| 297 mm ≥ 用紙幅 > 280 mm | 24.3 ~ 44.0 | 16.9 ~ 30.3 | 20.8 ~ 37.9 | 16.9 ~ 30.3 |
| 280 mm ≥ 用紙幅 > 216 mm | 18.3 ~ 44.0 | 11.4 ~ 30.3 | 16.8 ~ 37.9 | 11.4 ~ 30.3 |
| 216 mm ≥ 用紙幅 > 200 mm | 18.3 ~ 44.0 | 8.3 ~ 24.3 | 16.8 ~ 37.9 | 8.3 ~ 24.3 |
| 200 mm ≥ 用紙幅 ≥ 90 mm | 11.6 ~ 33.8 | 5.8 ~ 17.0 | 10.0 ~ 29.4 | 5.8 ~ 17.0 |

POINT

- ここでは、普通紙モードにおける印刷速度について記述しています。厚紙モードの場合は、用紙にトナーを確実に定着させるため、上記より印刷速度は遅くなります。
- 用紙の長さにより、印刷速度は変化します。用紙の長さが短いほど、印刷速度は速くなります。用紙の長さと印刷速度の関係については、以降のグラフをご覧ください。

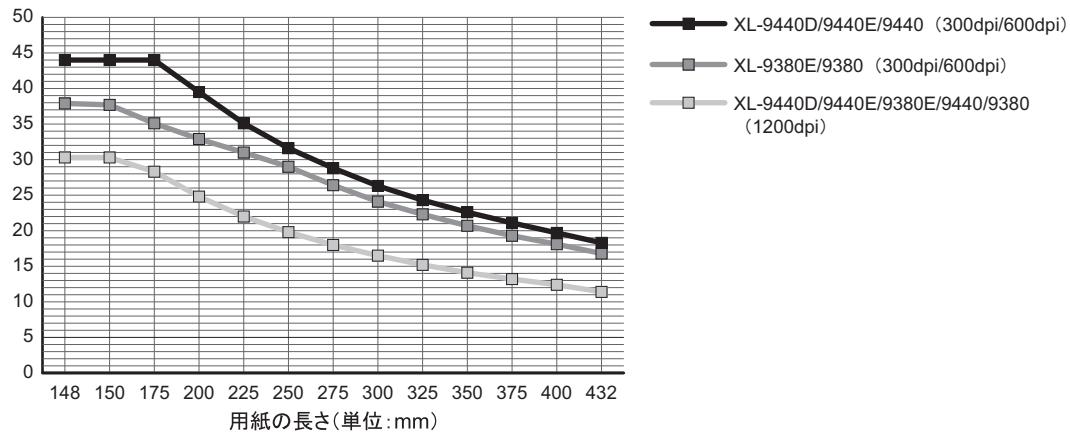
■ 297 mm ≥ 用紙幅 > 280 mm の場合

印刷速度(単位:ページ/分)



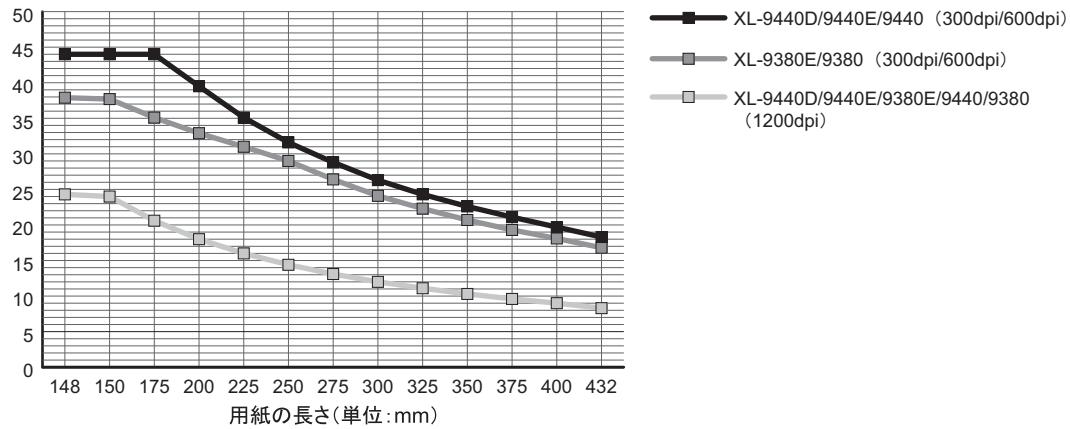
■ 280 mm ≥ 用紙幅 > 216 mm の場合

印刷速度(単位:ページ/分)



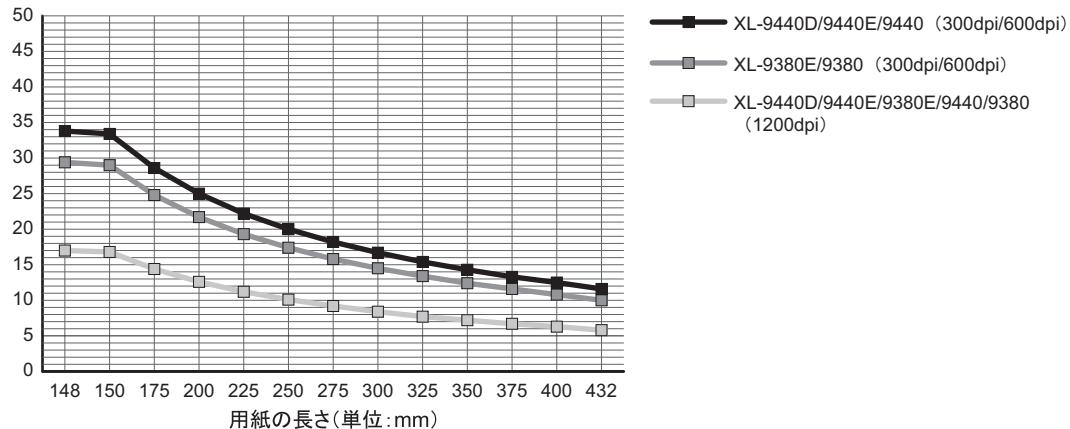
■ 216 mm ≥ 用紙幅 > 200 mm の場合

印刷速度(単位:ページ/分)



■ 200 mm ≥ 用紙幅 ≥ 90 mm の場合

印刷速度(単位:ページ/分)

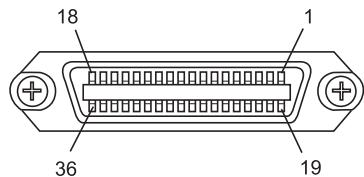


インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよびUSBインターフェースを採用しています。

パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

- ・ 基本仕様
IEEE 1284に準拠した双方向パラレルインターフェース
- ・ インターフェースコネクタ
プリンタ側：36極コネクタ（メス）アンフェノール 57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ（オス）アンフェノール 57-30360相当品
- ・ ケーブル
1.5m以下のケーブルを使用してください（外部ノイズの干渉を受けにくいツイストペア線を使用し、シールドされていること）。
- ・ 信号レベル
LOW: 0.0V ~ +0.4V HIGH: +2.4V ~ +5.0V
- ・ データ転送方式
8ビットパラレル
- ・ コネクタピン配列



インターフェースコネクタ（36ピン）

表：コネクタピン仕様

| ピン番号 | 信号名称 | 発信元 |
|------|-----------|------|
| 1 | * Strobe | パソコン |
| 2 | Data 1 | パソコン |
| 3 | Data 2 | パソコン |
| 4 | Data 3 | パソコン |
| 5 | Data 4 | パソコン |
| 6 | Data 5 | パソコン |
| 7 | Data 6 | パソコン |
| 8 | Data 7 | パソコン |
| 9 | Data 8 | パソコン |
| 10 | * Ack | プリンタ |
| 11 | Busy | プリンタ |
| 12 | Perror | プリンタ |
| 13 | Select | プリンタ |
| 14 | * AutoFd | パソコン |
| 15 | — | — |
| 16 | SG | — |
| 17 | FG | — |
| 18 | +5Vsignal | プリンタ |
| 19 | -RET | — |
| 20 | -RET | — |
| 21 | -RET | — |

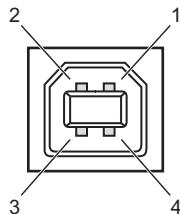
表：コネクタピン仕様

| ピン番号 | 信号名称 | 発信元 |
|------|------------|------|
| 22 | -RET | — |
| 23 | -RET | — |
| 24 | -RET | — |
| 25 | -RET | — |
| 26 | -RET | — |
| 27 | -RET | — |
| 28 | -RET | — |
| 29 | -RET | — |
| 30 | -RET | — |
| 31 | * Init | パソコン |
| 32 | * Fault | プリンタ |
| 33 | -RET | — |
| 34 | — | — |
| 35 | — | — |
| 36 | * SelectIn | パソコン |

「*」は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

- ・ 基本仕様
USB 仕様の Revision2.0 準拠
- ・ インターフェースコネクタ
プリンタ側：B レセプタクル（メス）
- ・ ケーブル
XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
- ・ 伝送モード
High Speed (最大 480Mbps)、Full Speed (最大 12Mbps)
- ・ 電力制御
セルフパワーデバイス
- ・ USB ピン配列



表：コネクタピン仕様

| ピン番号 | 信号名称 | 機能 |
|------|------|----------|
| 1 | vbus | 電源 (+5v) |
| 2 | D- | データ転送用 |
| 3 | D+ | データ転送用 |
| 4 | GND | 信号グランド |

2 オプション品一覧

本製品で使用できるオプション品の一覧は次のとおりです。

なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。最新情報は富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>) でご確認ください。

拡張給紙ユニット

表：拡張給紙ユニット

| 品名 | 型名 | 内容 |
|----------|-----------|--|
| 拡張給紙ユニット | XL-EF55MC | 2段目、3段目、4段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約550枚(64g/m ² の用紙の場合)です。 LB315給紙カセット(550枚)A3U添付 |

両面ユニット

表：両面ユニット

| 品名 | 型名 | 内容 |
|--------|----------|--------------------------------|
| 両面ユニット | XL-DUPMC | 両面印刷用のユニットです(XL-9440Dは搭載済みです)。 |

プリンタ RAM モジュール

表：プリンタ RAM モジュール

| 品名 | 型名 | 内容 |
|----------------------|------------|--------------------------|
| プリンタ RAM モジュール-256MB | XL-EM256MC | RAMを256MB搭載したメモリモジュールです。 |

プリンタケーブル

■パラレルケーブル

表：パラレルケーブル

| 品名 | 型名 | 内容 |
|----------|------------|----------------------------------|
| プリンタケーブル | FMV-CBL716 | FMVシリーズ、各社PC/AT互換機に接続できます。(1.5m) |

■プリンタ USB ケーブル

表：プリンタ USB ケーブル

| 品名 | 型名 | 内容 |
|-------------|-----------|-----------------------------|
| プリンタUSBケーブル | XL-CBLU2G | 本ケーブルはUSB2.0に対応しています。(1.5m) |

3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品 ／24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合があります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境 (22 °C / 55%RH) において 1 日 8 時間のご使用で約 5 年、または 120 万ページ印刷 (A4 サイズ横送り (□LEF)) のいずれか早いほうです (A4 LEF より長い用紙を使用した場合は A4 LEF 印刷時の半分程度)。これが、「本体仕様」(→ P.194) に記載している装置の耐用期間 (装置寿命) です。120 万ページ (A4LEF 換算) に達すると、ソウチジュミョウが表示されます (約 5 年という期間での寿命表示はありません)。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品寿命に達します。
- ・600K 交換キット (定期交換部品) を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が 60 万ページ印刷になります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) にご連絡ください。
- ・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
- ・本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

光学ユニット、制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

プロセスカートリッジなどの消耗品 (サプライ品) は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、保証期間の内外を問わずプロセスカートリッジは、お客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、「サプライ品一覧」(→ P.203) をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、ご購入元または「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.209) にご連絡ください。なお定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています(ご契約内容によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください)。なお、保守運用支援サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守運用支援サービスについて詳しくは、弊社ホームページ「製品サポート(法人のお客様向け) 製品別サービスメニュー」(<http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/products/>) のコーナーをご覧ください。補修用性能部品(保守部品)、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後5年間です。

表：定期交換部品の交換時期の目安

| 定期交換部品 | 交換時期の目安 |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 定着器 | 10万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット」で交換 |
| 用紙搬送ロールキット (給紙トレイ・給紙カセット用) | |
| 転写ロール | |
| ROS ASSY | 60万ページ印刷を目安に「600K 交換キット」で交換 |
| ドライブギア ASSY | |
| レジシート ASSY | |
| MSI フィーダ ASSY | |
| リアカバーシート UPPER | |

[注] 上記は、A4 サイズ横送り (□LEF) / 片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期が早まることがあります。

A4 LEF より長い用紙を使用した場合、寿命は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

24時間以上の連続運用について

本製品は、24時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。

24時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

4 サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。

なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。最新情報は富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>) でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコにご相談ください。

- 富士通コワーコお客様総合センター

通話料無料 : 0120-505-279

受付時間 : 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休日を除く)

URL:<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>

△ 注意



- プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。指定外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になります。

◀ 重要

- プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 30ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ、汚れ、かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

表 : サプライ品一覧

| 商品名 | 商品番号 | 備考 |
|--------------------------|---------|--|
| 長尺用紙 297mm×900mm | 0421015 | プリンタ ドライバの「用紙種類」の設定を「厚紙 2」にしてください。 |
| プロセスカートリッジ LB318A | 0892110 | 印刷量の目安は、約 6000 ページ [注 1] です (JIS X 6931 (ISO/IEC19752) に基づく)。 |
| プロセスカートリッジ LB318B | 0892120 | 印刷量の目安は、約 15000 ページ [注 1] です (JIS X 6931 (ISO/IEC19752) に基づく)。 |
| LB315 給紙カセット (550 枚) A3U | 0805330 | サイズ : A3～A5、ユーザ定義サイズ 枚数 : 550 枚 (推奨用紙) 拡張給紙ユニット (XL-EF55MC) 添付のカセットと同一品です。 |
| レーザプリンタ置台 | 0530580 | デスクサイド専用置台 外形寸法 : 600 (W) × 610 (D) × 440 (H) mm |

注 1 : 上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。

また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「カートリッジ ジュンピ」または「カートリッジ コウカン」の警告表示が出る前に、黒筋、薄黒い汚れやかすれが発生する場合があります。

プロセスカートリッジの寿命ですので、新しいプロセスカートリッジに交換してください。

POINT

- プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。他社製サプライ品を使用すると、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

5 印刷確認済みの用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度 22 °C、湿度 55 ~ 60% 環境下に 12 時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

POINT

安定した搬送性・印字品質を確保するために、推奨紙の使用をお勧めします。

表：確認済み用紙一覧 [注 1]

| メーカー名 | 用紙種類 | 品名 | サイズ | 商品番号 [注 2] | 備考 |
|------------|---------|--------------------|-----|---------------|-----------------------------------|
| 富士通コワーコ(株) | 普通紙 | オフィス用紙 W | A3 | 0411650 | 推奨用紙 |
| | | オフィス用紙 W | B4 | 0411620 | 推奨用紙 |
| | | オフィス用紙 W | A4 | 0411610 | 推奨用紙 [注 3] |
| | | オフィス用紙 W | A4Y | 0411612 | 推奨用紙 [注 4] |
| | | オフィス用紙 W | B5Y | 0411645 | 推奨用紙 |
| | | オフィス用紙 W | A5Y | 0411635 | 推奨用紙 |
| | 普通紙 | コピー用紙 N | A3 | 0416390 | |
| | | コピー用紙 N | A4 | 0416361 | |
| | 再生紙 | 再生オフィス用紙 EC | A3 | 0416440 | 古紙 35% 再生紙、FSC 認証用紙 |
| | | 再生オフィス用紙 EC | A4 | 0416410 | 古紙 35% 再生紙、FSC 認証用紙 |
| | | 再生オフィス用紙 EC | B4 | 0416420 | 古紙 35% 再生紙、FSC 認証用紙 |
| | | 再生オフィス用紙 EC | B5 | 0416430 | 古紙 35% 再生紙、FSC 認証用紙 |
| | 長尺用紙 | 長尺用紙 297mm×900mm | | 0421015 | プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「厚紙 2」にしてください。 |
| | 偽造防止用紙 | 汎用偽造防止用紙 | A4 | 0415210 | |
| | ラベル紙 | OA ラベル A4(單票用紙) II | A4 | 0412270 | |
| 富士ゼロックス(株) | 普通紙 | P 紙 | A3 | ZGAA1302 | |
| | | P 紙 | A4 | ZGAA1299 | |
| | 普通紙 | C2 | A3 | Z628 | |
| | | C2 | A4 | Z625 | |
| | | C2 | A5 | ZGAA0326 | |
| | | C2 | B4 | Z626 | |
| | | C2 | B5 | Z627 | |
| | 普通紙 | 省資源対応用紙 SP | A4 | ZGAA0893 | 60g/cm ² 用紙 |
| | 再生紙 | 環境バランス用紙 FR | A4 | ZGAA0507 | 古紙 50%、グリーン購入法適合 |
| | | リサイクル用紙 GR70 | A4 | ZGAA0838 | 古紙 70%、グリーン購入法適合 |
| | OHP シート | OHP シート | A4 | GAAA5224 | |
| | ラベル紙 | ラベル紙 | A4 | V860 | 20 面カット (100 枚) |
| | | ラベル紙 | A4 | V776 | 20 面カット (100 枚 × 5 冊) |
| | | ラベル紙 | B4 | V965 | 24 面カット (100 枚) |
| | | ラベル紙 | B4 | Z798 | 24 面カット (100 枚 × 5 冊) |
| (株)リコー | 普通紙 | マイペーパー | A4 | — | |
| | | タイプ 6200 | A4 | — | |

表：確認済み用紙一覧 [注1]

| メーカー名 | 用紙種類 | 品名 | サイズ | 商品番号 [注2] | 備考 |
|---------------------|--------|--------|-----|--------------|------------|
| エーワン（株） | 再生ラベル紙 | 再生ラベル紙 | A4 | 31362 | 再生紙、12面カット |
| | ラベル紙 | ラベル紙 | A4 | 28362 | 24面カット |
| | | ラベル紙 | B4 | 28436 | 24面カット |
| 郵便事業（株） 郵便局などで発売 | はがき | 郵便はがき | はがき | — | 多色刷りはがきは除く |

注1：湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。
高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。
プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。

注2：各商品で梱包単位（枚数）が異なりますので、購入時は事前に確認をお願いします。

注3：用紙をセットする向き（搬送方向）がA4縦（SEF）の場合。

注4：用紙をセットする向き（搬送方向）がA4横（LEF）の場合。

POINT

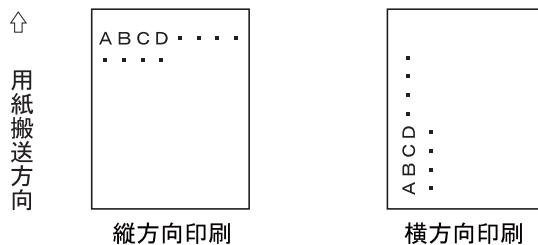
- 古紙含有率の高い再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
A4サイズであれば、LEF（横送り方向）とSEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEFに変更すると、LEFに比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
- A4LEF、B5、A5など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙を推奨します。
A4SEF、B4、A3など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙を推奨します。

6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について

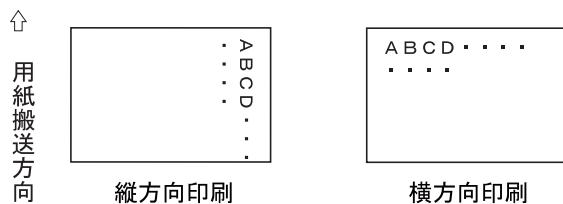
本製品は、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

A4 縦送り (SEF) 、 A3、 B4、 リーガル、 長尺紙サイズの用紙の場合

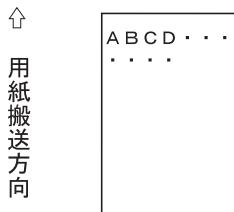


A4 横送り (LEF) 、 A5、 B5、 レター、 はがきサイズの用紙の場合

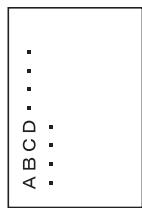


ユーザ定義サイズの用紙の場合

■縦長（幅<長さ）の用紙の場合



縦方向印刷

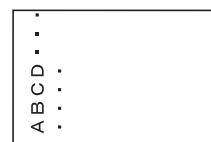


横方向印刷

■横長（幅>長さ）の用紙の場合

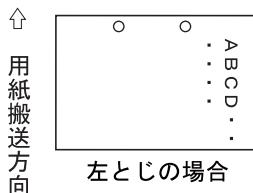


縦方向印刷

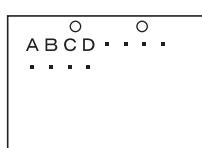


横方向印刷

とじ穴のある A4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせて、とじ穴の位置が正しくなるようにセットします。



左とじの場合



上とじの場合

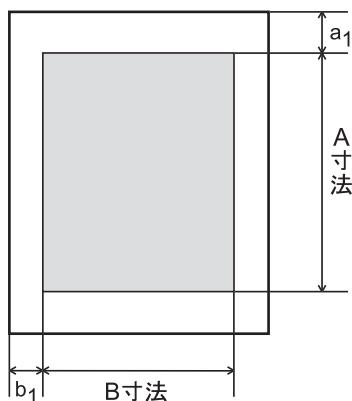
POINT

- 用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプか、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

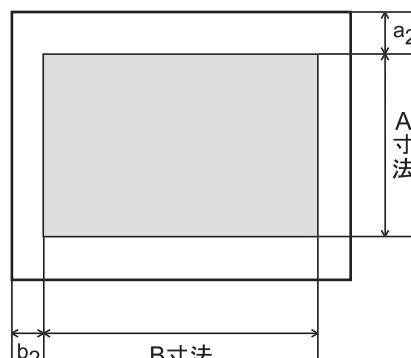
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[印刷方向：縦]



[印刷方向：横]



(単位 : mm)

Printia XL ドライバ使用時

a1=a2=5 mm、b1=b2=5 mm

表：印刷可能領域（Printia XL ドライバ使用時）

| 用紙方向 | 用紙サイズ | A3 | B4 | A4 | B5 | A5 | リーガル | レター | はがき |
|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| 縦方向 | A 寸法 | 410 | 354 | 287 | 247 | 200 | 346 | 270 | 138 |
| | B 寸法 | 287 | 247 | 200 | 172 | 138 | 206 | 206 | 90 |
| 横方向 | A 寸法 | 287 | 247 | 200 | 172 | 138 | 206 | 206 | 90 |
| | B 寸法 | 410 | 354 | 287 | 247 | 200 | 346 | 270 | 138 |

ESC/P モード使用時

a1=a2=8.5 mm または 22 mm（はがき：10 mm）、b1=b2=5 mm

表：印刷可能領域（ESC/P モード使用時）

| 用紙方向 | 用紙サイズ | | A3 | B4 | A4 | B5 | A5 | リーガル | レター | はがき |
|------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 縦方向 | A 寸法 | 8.5 mm時 | 399.5 | 343.5 | 276.5 | 236.5 | 189.5 | 335 | 259 | 128 |
| | | 22 mm時 | 386 | 330 | 263 | 223 | 176 | 321.5 | 245.5 | 128 |
| | B 寸法 | | 287 | 247 | 200 | 172 | 138 | 206 | 206 | 90 |
| 横方向 | A 寸法 | 8.5 mm時 | 276.5 | 236.5 | 189.5 | 161.5 | 127.5 | 195 | 195 | 78.5 |
| | | 22 mm時 | 263 | 223 | 176 | 148 | 114 | 182 | 182 | 78.5 |
| | B 寸法 | | 410 | 345 | 287 | 247 | 200 | 345 | 269 | 138 |

7 アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ・ご購入時に本製品に添付されている保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後5年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・故障時は下記にご連絡ください。
富士通ハードウェア修理相談センター
通話料無料：0120-422-297
受付時間：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）
- ・本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／SEにお問い合わせください。なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。

回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。

当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

- ・エコ受付センター
通話料無料：0120-300-693
受付時間：月曜日～金曜日 8:40～12:00、13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休日を除く）
- ・プリンタ消耗品無償回収サービス
<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備～お客様へ～

「富士通ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

1 オペレータパネルから設定の一覧を印刷し、設定を復元するときに必要な情報を控えます。

詳しくは「設定の一覧印刷」(→ P.122)をご覧ください。

2 両面ユニット、拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、取り外します。

詳しくは両面ユニットの「取り外し」(→ P.50)、および拡張給紙ユニットの「取り外し」(→ P.59)をご覧ください。

POINT

XL-9440D は、両面ユニットを標準搭載しているため、取り外さないでください。

3 「梱包して運搬する」(→ P.100)の手順に従って、本製品の梱包を行います。

本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>)をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、次のとおりです。

- ・富士通製品情報
<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>
- ・富士通コワーコお客様総合センター
<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>
- ・プリンタ消耗品無償回収サービス
<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>
- ・製品サポート（法人のお客様向け）製品別サービスメニュー
<http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/products/>
- ・ICT 製品の処分・リサイクル方法
<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>

8 安全データシート

LB318 シリーズ 感光体 (トナー・現像剤)

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 : LB318 シリーズ 感光体 (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX 番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR8-M002 (全 3 頁)

作成・改定: 2016.3.7

2 危険有害性の要約

GHS 分類

本製品は、成型品である。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別 : 本製品は成型品である。

成分および含有量 : 有機感光材料

4 応急措置

吸入した場合 : 該当せず。

皮膚に付着した場合 : 石鹼を使って水でよく洗い流す。

目に入った場合 : 該当せず。

飲み込んだ場合 : 該当せず。

8

5 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、二酸化炭素、粉末消火薬剤。

ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

特定の消火方法：供給源を遮断し、消火剤を使用して消火する。

6 漏出時の措置

当社指定機器で通常取り扱う場合は特になし。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 感光体が高温条件にさらされることを避ける。
カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
- 保管 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。
子供の手の届くところに保管しない。

8 ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH 設定されていない
- 保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9 物理的及び化学的性質

- 外観 : 固体
- 臭い : 無臭
- 沸点、初留点と沸騰範囲 : 測定対象外
- 引火点 : 引火性なし
- 自然発火温度 : 発火性なし
- 燃焼又は爆発範囲の上限 / 下限 : データなし
- 蒸気圧 : 適用外
- 蒸気密度 : データなし
- 比重 : データなし
- 溶解性 : 不溶 (水)

10 安定性及び反応性

- 安定性 / 反応性 : 安定

11 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似品の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50% 致死量)

- 経口→ LD50 (ラット) : データなし
- 経皮→ LD50 (-) : データなし
- 皮膚刺創性 (ラビット) : データなし
- 皮膚腐食性 : データなし
- 眼に対する重篤な損傷又は刺激性 (ラビット) : データなし
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 (モルモット) : データなし
- 生殖細胞変異原性 : AMES 試験 隆陰性
- 発がん性 : 発がん物質 (文献 1) を含有せず
- 生殖毒性 : 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。
- 特定標的臓器毒性 (単回曝露) : データなし
- 特定標的臓器毒性 (反復曝露) : データなし
- 吸引性呼吸器有害性 : データなし
- その他 : データなし

12 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似品の試験結果からの予測である。

生態毒性

| | | |
|-----------|------------------|---------|
| 急性毒性 | 魚類 96 時間 LC50(-) | : データなし |
| | ミジンコ類 48 時間 | : データなし |
| | EC50(オオミジンコ) | |
| | 藻類 72 時間 EC50(-) | : データなし |
| 残留性 / 分解性 | | : データなし |
| 生体蓄積性 | | : データなし |
| 土壤中の移動性 | | : データなし |
| 他の有害影響 | | : データなし |

13 廃棄上の注意

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。

当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。

トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14 輸送上の注意

国際規制

| | |
|-----------------------------|----------|
| 海上規制情報 | : 非危険物 |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 海洋汚染物質 | : 適用されない |
| MARPOL 73/78 附属書II及びIBC コード | : 適用されない |
| によるばら積み輸送される液体物質 | |
| IBC コード | : 適用されない |

国内規制

| | |
|--------|------------|
| 海上規制情報 | : 非危険物 |
| 航空規制情報 | : 非危険物 |
| その他の情報 | : 規制されていない |

15 適用法令

| | |
|-----------------------|-------|
| 化審法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） | : 非該当 |

16 その他の情報

本安全データシートは現時点での入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- 文献1: ◆IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機関)
◆National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
◆TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
◆物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008(CLP 規則)
◆日本産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- 文献2: ◆物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008(CLP 規則)

LB318 シリーズ トナー (ブラック) (トナー・現像剤)

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 LB318 シリーズ トナー (ブラック) (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX 番号 : 045-479-0141

整理番号 TR8-M001 (全 4 頁)

作成・改定: 2016.5.27

2 危険有害性の要約

GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別 : 混合物

成分および含有量 :

| 化学名 | 含有量 (重量 %) | 官報公示整理番号 (化審法 / 安衛法) | CAS Registry No. |
|------------------------------|------------|-------------------------|------------------|
| マグネタイト | 40-50% | 1-357 | 1309-38-2 |
| ポリエステル樹脂 | 40-50% | 非開示 | 非開示 |
| エチレン / プロピレン樹脂 | <10% | 非開示 | 非開示 |
| スチレン / アクリル系樹脂及びオレフィン系樹脂の混合物 | <10% | 非開示 | 非開示 |
| 無定形シリカ | <10% | 1-548 | 7631-86-9 |
| 二酸化チタン | <1% | 1-558 | 13463-67-7 |

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類 (PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE 類)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル (DEHP))、ブチルベンジルフタレート (BBP)、ジブチルフタレート (DBP)、およびジイソブチルフタレート (DIBP) を含有しない

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。

皮膚に付着した場合 : 石鹼を使って水でよく洗い流

目に入った場合 : 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。

ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

使ってはならない消火剤: 情報なし

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 塵ができるだけ吸入しないで下さい。

環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防いで下さい。

除去方法 : 細かい粒子は空気と爆発性混合物を形成する事がありますので、周囲に火種のないことを確認して下さい。火種があれば、それを取り除いた後、できるだけトナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭き取って下さい。やむを得ず、掃除機を使用する場合は必ず粉塵防爆安全対策仕様の掃除機を使用して下さい。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

局所排気・全体換気 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

安全取り扱い注意事項: 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

保管

技術的対策 : 必要なし

適切な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。
子供の手の届くところに保管しない。

安全な容器包装材料 : 当社の容器包装材料を使用すること。

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 日本産業衛生学会（2015年版） 第3種粉塵 8 mg /m³ (総粉塵)
ACGIH（2015年版） 粒子状物質 2 mg /m³ (吸入性粉塵)
10 mg /m³ (総粉塵)
3 mg /m³ (吸入性粉塵)

保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9 物理的及び化学的性質

外観 : 粉体
色 : 黒色
臭い : 微かなプラスティック臭
pH : 適用外
沸点 / 凝固点 : データなし
沸点、初留点と沸騰範囲 : 適用外
引火点 : 適用外
自然発火温度 : 発火性なし
燃焼及び爆発範囲の上限 / 下限 : データなし
蒸気圧 : 適用外
蒸気密度 : 適用外
比重 : データなし
溶解性 : 不溶 (水)
オクタノール / 水分配係数 : 適用外
分解温度 : データなし
粘度 : 適用外

10 安定性及び反応性

安定性 / 反応性 : 安定
危険有害反応可能性 : 可能性なし
避けるべき条件 : 特になし
混触危険物質 : 特になし
危険有害な分解生成物 : 情報なし

11 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似品の試験結果からの予測である。

急性毒性（50% 致死量）

| | |
|----------------------------|---|
| 経口→ LD50 (ラット) | : > 5000mg/ kg (実質上無毒) |
| 経皮→ LD50 (ラビット) | : > 5000mg/ kg (実質上無毒) |
| 皮膚刺創性 (ラビット) | : 刺激性なし |
| 皮膚腐食性 | : 腐食性なし |
| 眼に対する重篤な損傷 又は刺激性 (ラビット) | : 刺激性なし |
| 呼吸器感作性 | : 皮膚感作性なし |
| 又は皮膚感作性 (モルモット) | |
| 生殖細胞変異原性 | : AMES 試験 隆陰性 |
| 発がん性 | : 二酸化チタンは IARC の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷 (オーバーロード現象) によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疾学調査で認められなかった。なお、二酸化チタン以外の構成成分は発がん物質 (文献 1) に該当しない。 |
| 生殖毒性 | : 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回曝露) | : データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復曝露) | : ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量 (4mg/m ³) もしくは高用量 (16mg/m ³) の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量 (1mg/m ³) の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり 1mg/m ³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 対象外 |
| その他 | : データなし |

12 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似品の試験結果からの予測である。

生態毒性

| | | |
|-----------|----------------------------|--------------------|
| 急性毒性 | 魚類 96 時間 LC50(ヒメダカ) | : >500mg/L (実質上無毒) |
| | ミジンコ類 48 時間 | : データなし |
| | EC50(オオミジンコ) | |
| | 藻類 72 時間 EC50 (ムレミカヅキモ) | : データなし |
| 残留性 / 分解性 | | : データなし |
| 生体蓄積性 | | : データなし |

| | |
|---------|---------|
| 土壤中の移動性 | : データなし |
| 他の有害影響 | : データなし |

13 廃棄上の注意

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。

当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。

トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14 輸送上の注意

国際規制

| | |
|-----------------------------|----------|
| 海上規制情報 | : 非危険物 |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 海洋汚染物質 | : 適用されない |
| MARPOL 73/78 附属書II及びIBC コード | : 適用されない |
| によるばら積み輸送される液体物質 | |
| IBC コード | : 適用されない |

国内規制

| | |
|--------|------------|
| 海上規制情報 | : 非危険物 |
| 航空規制情報 | : 非危険物 |
| その他の情報 | : 規制されていない |

15 適用法令

| | |
|----------------------|--|
| 化審法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） 酸化チタン（I V）（政令番号：191）(<10%) 酸化鉄（政令番号：192）(40~50%) シリカ（政令番号：312）(<10%) |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） | : 非該当 |

16 その他の情報

本安全データシートは現時点入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- 文献1: ◆IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC : 国際癌研究機関)
◆National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP : 米国・国家毒性プログラム)
◆TLVs and BEIs (ACGIH : 米国・政府産業衛生専門家会議)
◆物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008(CLP 規則)
◆日本産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- 文献2: ◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008(CLP 規則)

索引

E

EP モード設定 120

H

HEX ダンプ印刷 114

L

LAN

ケーブルコネクタ 21
ステータス 127
接続 30

LEF 62

O

OHP フィルム 136

S

SEF 62

U

USB

インターフェース仕様 199
ケーブルコネクタ 21
接続 36

W

Windows 画面のメッセージ一覧 184

あ行

アフターサービス 209
移動 97
印刷 76
 中止 79
印刷確認済みの用紙 204
印刷可能領域 207
印刷品質が低下したとき 166
 新しいプロセスカートリッジに交換後、
 用紙全体に小円が印刷される 168
 印刷が薄い 166
 黒く塗りつぶされた部分に白点がある 168
 黒線が印刷される 168
 黒点や黒い小円が印刷される 167
 白抜けが起こる 170
 縦長に白抜けする 171
 等間隔に汚れる 168
 何も印刷されない 169
 太い文字や図形に影が出る 172
 不要なトナーが付く 172

文字がにじむ 171
指でこすると、印字がはがれる 169
用紙がカールする 173
用紙全体に黒色が付いて印刷される 169
用紙にシワが付く 170
印刷方向 206
ウォームアップ時間 194
液晶ディスプレイ 20, 105, 106
 表示内容 108
エコ受付センター 209
エラーランプ 105, 106
オプション
 拡張給紙ユニットの取り付け 52
 取り付け可能なオプション 38
 取り付け時のご注意 41
 プリンタ RAM モジュールの取り付け 42
 両面ユニットの取り付け 47
オペレータパネル 20, 104
 設定 112
 メッセージ一覧 174
オンラインランプ／
オンラインスイッチ 105, 107

か行

カーソルスイッチ 105, 107
回収サービス
 (使用済みプロセスカートリッジ) 86
解除スイッチ 105
拡張給紙ユニット 39, 200
 取り付け 52
紙送りローラ 91
紙詰まり
 給紙カセット付近で詰まった用紙を
 取り除く 145
 給紙トレイで詰まった用紙を取り除く 147
 定着器付近で詰まった用紙を取り除く 150
 発生時の状態と発生場所 142
 プリンタ内部に詰まった用紙を
 取り除く 154
 予防方法 143
 両面ユニットに詰まった用紙を
 取り除く 160
カラー紙 134
吸気口 20, 22
給紙カセット 20
給紙トレイ 20
給紙トレイダイヤル 22
 パネルで設定 75
給紙トレイ引き抜き用取っ手 20
給紙方法と用紙のサイズ 132
警告メッセージ 183

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 故障かなと思ったとき | 162 |
| 異常音がする | 163 |
| 印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される | 164 |
| 印刷されない | 162 |
| 印刷中にクールダウンと表示される | 164 |
| 裏面が汚れる | 164 |
| 液晶ディスプレイの表示が判読できない | 164 |
| エラーメッセージが表示され、印刷されない | 164 |
| オペレータパネルのスイッチが機能しない | 162 |
| オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない | 162 |
| 紙詰まりが発生した | 163 |
| 給紙カセットの出し入れができない | 164 |
| 正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される | 162 |
| 電源が入らない | 162 |
| 電源を入れてもすぐに切れる | 162 |
| ネットワーク経由での印刷速度が遅い | 165 |
| ネットワークに接続できない | 165 |
| ハングアップする | 164 |
| プリンタの動作が安定しない | 164 |
| プロセスカートリッジを取り付けても、カートリッジなしとエラーが表示される | 164 |
| 用紙が傾く、外れる、破れる、詰まる | 163 |
| 用紙がないのにブザーが鳴らない | 164 |
| 用紙が二重送りされる | 163 |
| 連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い | 165 |
| コネクタピン配列 | 198, 199 |

さ行

| | |
|-------------|----------|
| サイズ | |
| 給紙方法と用紙のサイズ | 132 |
| プリンタ本体のサイズ | 26 |
| シールドガラス | 89 |
| 仕様 | |
| インターフェース仕様 | 198 |
| 本体仕様 | 194 |
| 上部カバー | 20, 22 |
| スイッチ | |
| オンラインスイッチ | 105, 107 |
| カーソルスイッチ | 105, 107 |
| 解除スイッチ | 105 |
| 電源スイッチ | 20 |
| 排出スイッチ | 106 |
| メニュー斯イッチ | 104, 106 |
| リセットスイッチ | 105, 107 |
| 漏電ブレーカースイッチ | 21 |
| 清掃 | 88 |
| 設置上のお願い | 27 |
| 節電 | 111 |
| 節電中ランプ | 105 |

た行

| | |
|--------|-----|
| 耐用期間 | 195 |
| 中止（印刷） | 79 |
| 長尺紙 | 135 |
| データランプ | 106 |
| 定着器 | 23 |
| 電源コネクタ | 21 |
| 電源スイッチ | 20 |

は行

| | |
|-----------------------|---------|
| 排気口 | 21 |
| 排紙延長トレイ | 20, 22 |
| 排紙口 | 20 |
| 排紙トレイ | 20, 22 |
| 排出スイッチ | 106 |
| 背面カバー | 23 |
| 背面カバーを開くレバー | 23 |
| はがき | 136 |
| パラレル | |
| インターフェース仕様 | 198 |
| ケーブルコネクタ | 21 |
| 接続 | 33 |
| 普通紙 | 134 |
| 富士通ハードウェア修理相談センター | 209 |
| プリンタ RAM モジュール | 40, 200 |
| 取り付け | 42 |
| プリンタケーブル | 40, 200 |
| プレプリント紙 | 134 |
| プロセスカートリッジ | 22 |
| 交換 | 82 |
| 交換時のお願い | 83 |
| 使用済みプロセスカートリッジの回収サービス | 86 |
| 取り扱いと保管 | 87 |
| 取り付け | 82 |
| 本体仕様 | 194 |

ま行

| | |
|----------|----------|
| メッセージ一覧 | 174 |
| ニューススイッチ | 104, 106 |
| メニュー モード | 112 |
| 項目一覧 | 114 |

や行

| | |
|-----------|-----|
| 用紙 | |
| 印刷確認済みの用紙 | 204 |
| 使用できない用紙 | 138 |
| 使用できる用紙 | 132 |
| セット | 62 |
| 用紙サイズカード | 20 |

ら行

| | |
|--------|----------|
| ラベル紙 | 137 |
| ランプ | |
| エラーランプ | 105, 106 |

| | |
|----------|----------|
| オンラインランプ | 105, 107 |
| 節電中ランプ | 105 |
| データランプ | 106 |
| リンクランプ | 104, 106 |
| リセットスイッチ | 105, 107 |
| 両面ユニット | 39, 200 |
| 取り付け | 47 |
| リンクランプ | 104, 106 |
| 漏電ブレーカー | 21 |

**ページプリンタ XL-9440D/9440E/9380E/9440/9380
ハードウェアガイド**

B5WY-1441-04-00

発行日 2016年8月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。